

広島市日本語教育実態調査 結果報告書

令和2年2月

広島市

目 次

1 章 アンケート調査	1
I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象者	1
3 調査期間	1
4 配布・回収方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の見方等	1
II 調査結果（外国人市民）	2
1 あなた自身について	2
2 日本語学習について	5
3 日本語の使用状況について	17
III 調査結果（外国人市民以外）	29
1 企業	29
2 日本語学校	43
3 日本語教師養成機関	51
4 日本語教室	52
2 章 ヒアリング調査	67
I 調査概要	67
1 調査目的	67
2 調査対象者	67
3 調査期間	67
4 調査方法	67
5 回収状況	67
II 企業ヒアリング調査	68
1 実施概要	68
III 日本語教室ヒアリング調査	69
1 実施概要	69
参考資料	70

1 章 アンケート調査

I 調査概要

1 調査目的

本市における日本語教育に係る実態調査を行い実態や課題等を把握し、今後の対応方針を明確化して、本市としての日本語教育に係る具体的な計画を策定することを目的とします。

2 調査対象者

- ①外国人調査：広島市の住民基本台帳に記載されている満 18 歳以上の外国人市民（特別永住者を除く）
- ②外国人以外の調査：広島市内の企業，日本語学校，日本語教師養成機関，日本語教室

3 調査期間

- ①外国人調査：令和元年 9 月 19 日（木）～令和元年 10 月 7 日（月）
- ②外国人以外の調査：令和元年 9 月 10 日（火）～令和元年 9 月 24 日（火）

4 配布・回収方法

郵送配布・郵送回収によるアンケート調査

5 回収状況

①外国人調査（調査票言語別）

調査区分	発送数	回収数	回収率
外国人調査	1,000 件	369 件	36.9%

②外国人以外の調査

調査区分	発送数	回収数	回収率
外国人雇用企業	84 件	48 件	57.1%
日本語学校	4 件	4 件	100.0%
日本語教師養成機関	1 件	1 件	100.0%
日本語教室	19 件	17 件	89.5%

6 調査結果の見方等

- ・報告書中の「n=」とあるのはパーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。
- ・算出されたパーセントは小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合もあります。また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。
- ・自由記述は、原則として原文のままとしています。判読不明な文字は●で表記しています。

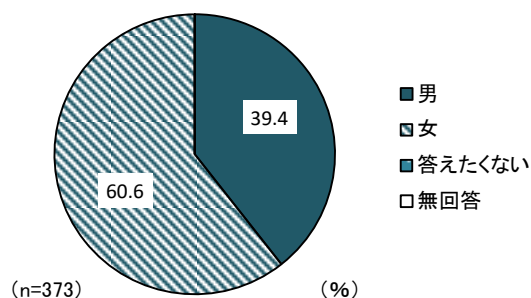
Ⅱ 調査結果（外国人市民）

1. あなた自身について

問1 あなたの性別は次のどれですか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

性別について、「女性」が60.6%、「男性」が39.4%となっています。

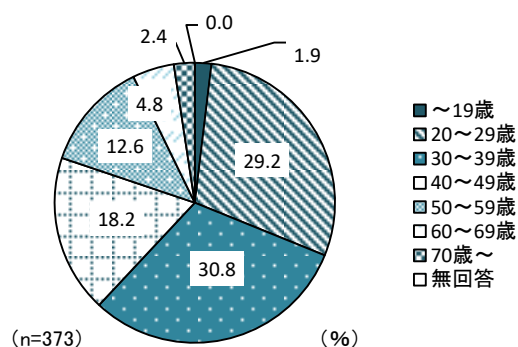
【全体 図】



問2 あなたの年代は次のどれですか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

年代について、「30～39歳」が30.8%と最も高くなっています。ついで、「20～29歳」が29.2%、「40～49歳」が18.2%となっています。

【全体 図】



問3 あなたの出身は次のどれですか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

出身地について、「中国」が34.6%と最も高くなっています。ついで、「ベトナム」が17.4%、「フィリピン」が13.9%となっています。

【全体 表】

単位：%

サンプル数	中国	ベトナム	フィリピン	韓国・朝鮮	タイ	ブラジル	米国（アメリカ）	台湾	ネパール	ベルー	その他	無回答
回答者数(n=373)	34.6	17.4	13.9	7.8	4.8	3.2	3.2	1.3	1.1	0.8	11.3	0.5

問4 あなたの在留資格は次のどれですか。

【あてはまる数字1つに○をつけてください】

在留資格について、「永住者」が41.3%と最も高くなっています。ついで、「技能実習」が19.6%、「日本人の配偶者等」が9.9%となっています。

【全体 表】

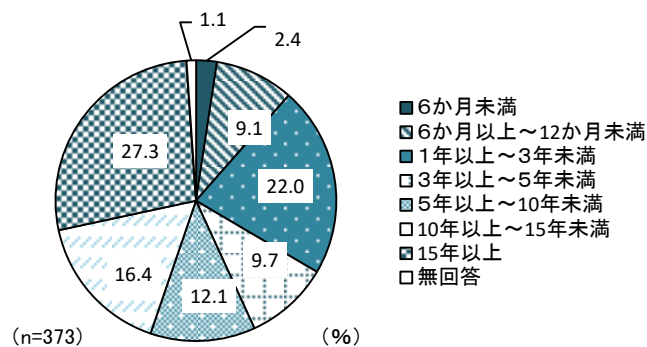
単位：％

サ ン プ ル 数	永 住 者	技 能 実 習	日 本 人 の 配 偶 者 等	留 学	人 文 知 識 ・ 国 際 業 務	家 族 滞 在	技 術
回答者数(n=373)	41.3	19.6	9.9	5.4	4.3	4.0	3.8
サ ン プ ル 数	定 住 者	永 住 者 の 配 偶 者 等	技 能	特 定 活 動	特 別 永 住 者	そ の 他	無 回 答
回答者数(n=373)	2.4	1.9	1.3	1.1	0.5	2.9	1.6

問5 あなたはどのくらい日本で生活していますか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

日本での居住年数について、「15年以上」が27.3%と最も高くなっています。ついで、「1年以上～3年未満」が22.0%、「10年以上～15年未満」が16.4%となっています。

【全体 図】

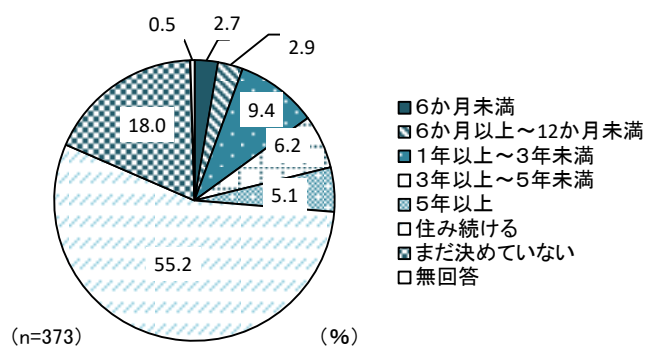


問6 あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。

【あてはまる数字1つに○をつけてください】

日本での生活予定期間について、「住み続ける」が55.2%と最も高くなっています。ついで、「まだ決めていない」が18.0%、「1年以上～3年未満」が9.4%となっています。

【全体 図】

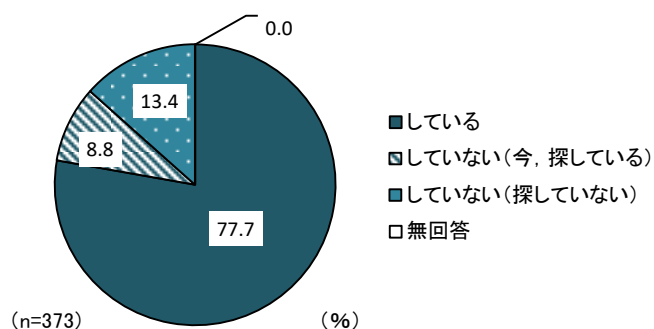


問7 仕事をしていますか。

【あてはまる数字1つに○をつけてください】

就労状況について、「している」が77.7%と最も高くなっています。ついで、「していない（探していない）」が13.4%、「していない（今、探している）」が8.8%となっています。

【全体 図】

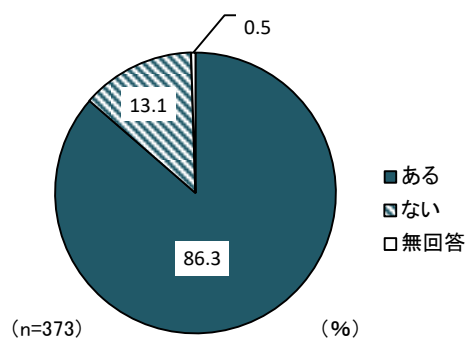


2. 日本語学習について

問8 あなたは日本語を学んだことがありますか。 【あてはまる数字1つに○をつけてください】

日本語学習の有無について、「ある」が86.3%、「ない」が13.1%となっています。

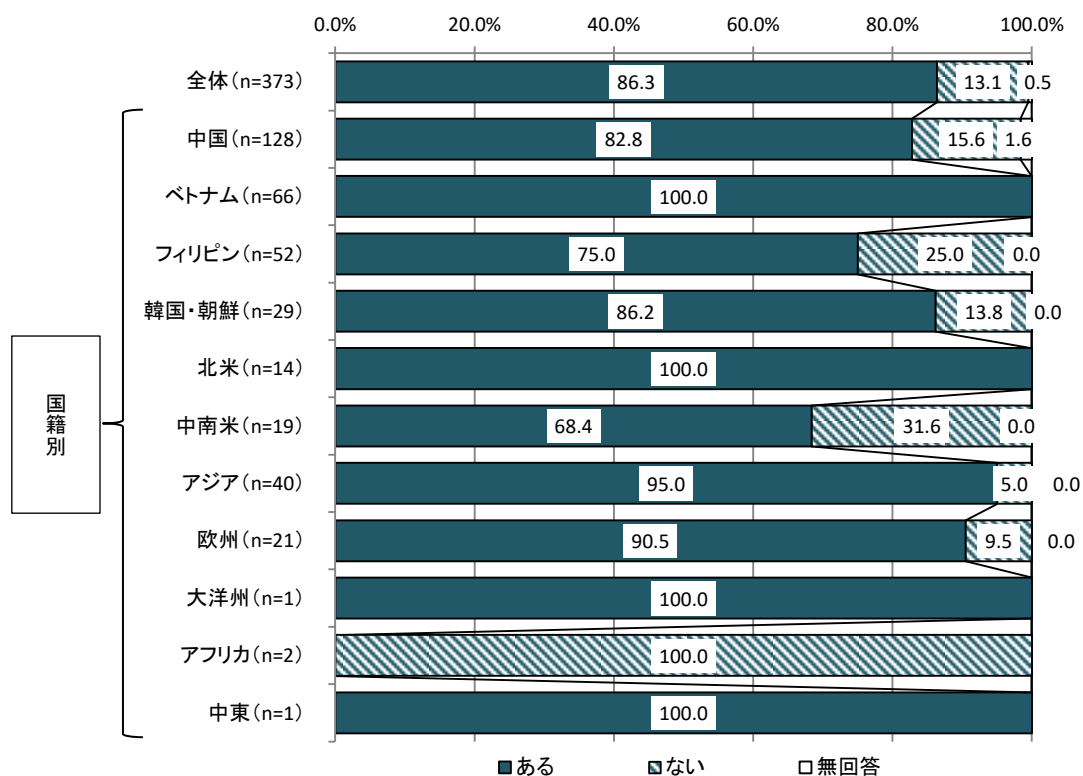
【全体 図】



【国籍別】

国籍別でみると、ほぼすべての国籍で学んだことが「ある」が高くなっています。また、『フィリピン』と『中南米』は、他の国籍と比べて学んだことが「ない」という回答割合が高くなっています。

【国籍別 図】

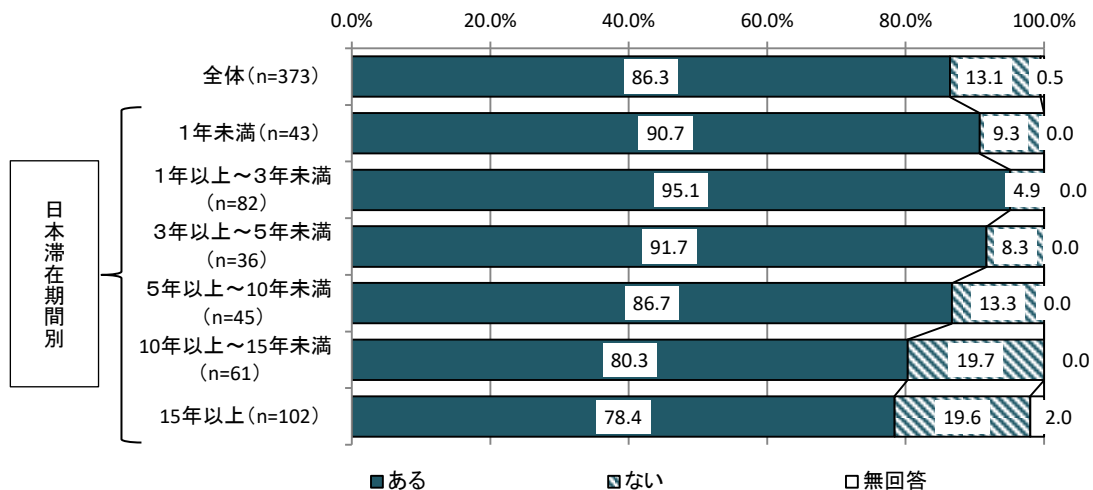


※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【日本滞在期間別】

日本滞在期間別でみると、『1年以上～3年未満』から『15年以上』にかけて滞在期間が長くなるにつれて、学んだことが「ある」が低くなっています。また、日本滞在期間が5年以上は、5年未満と比べて学んだことが「ない」が高くなっています。

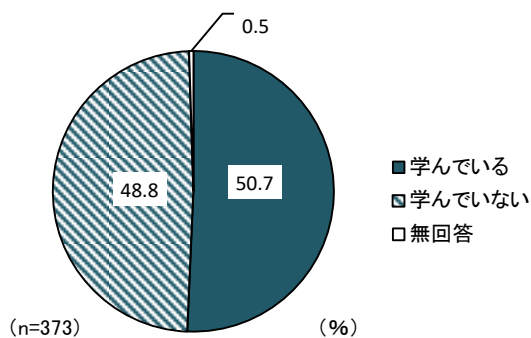
【日本滞在期間別 図】



問9 あなたは、今、日本語を学んでいますか。 【あてはまる数字1つに○をつけてください】

現在の日本語学習状況について、「学んでいる」が 50.7%、「学んでいない」が 48.8%となっています。

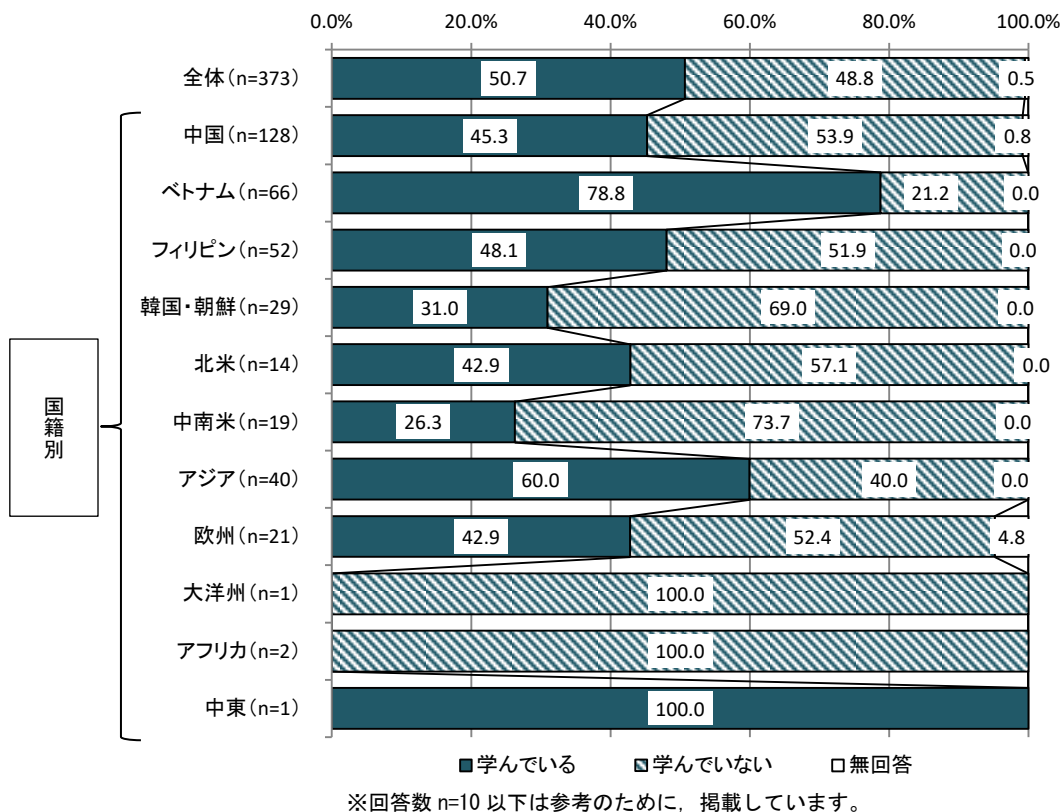
【全体 図】



【国籍別】

国籍別でみると、『ベトナム』と『アジア』は、他の国籍と比べて「学んでいる」が高くなっています。

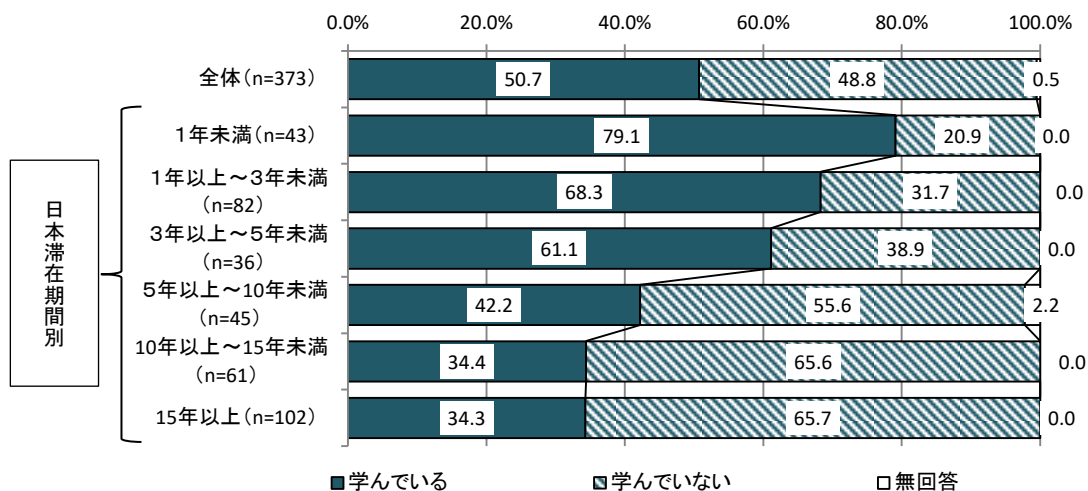
【国籍別 図】



【日本滞在期間別】

日本滞在期間別でみると、滞在期間が長くなるにつれて、「学んでいる」が低くなっています。また、日本滞在期間が5年未満は、5年以上と比べて「学んでいる」が高くなっています。

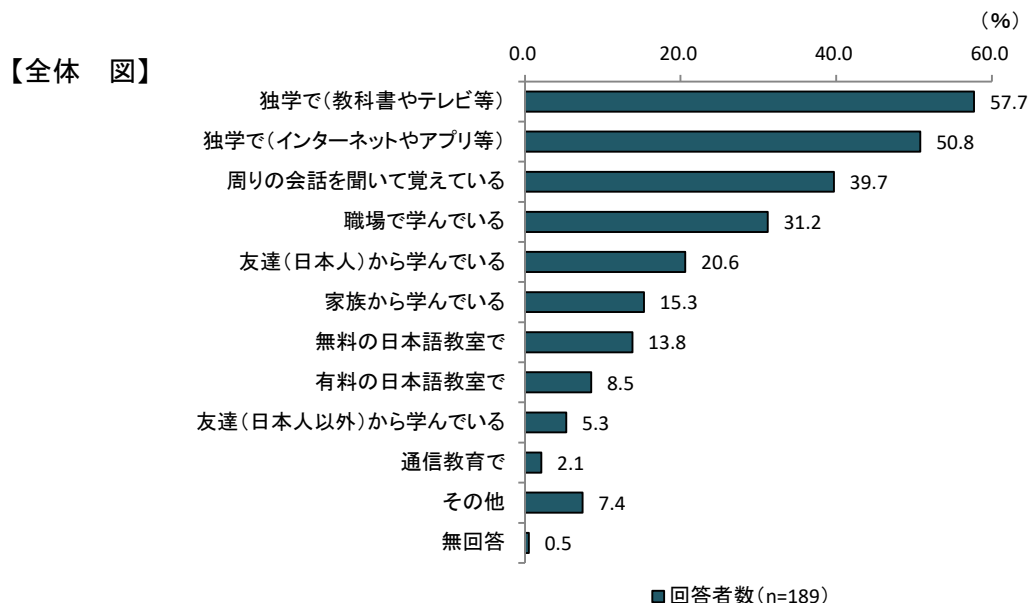
【日本滞在期間別 図】



《問 10～11 は問 9 で「1. 学んでいる」を選んだ人（現在、日本語を学んでいる人）にお聞きします。》

問10 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

日本語の学習方法について、「独学で（教科書やテレビ等）」が 57.7%と最も高くなっています。次いで、「独学で（インターネットやアプリ等）」が 50.8%、「周りの会話を聞いて覚えている」が 39.7%となっています。



【国籍別】

国籍別でみると、『ベトナム』(69.2%)は「独学で（インターネットやアプリ等）」で学んでいる割合が高くなっています。それ以外の国籍は、「独学で（教科書やテレビ等）」で学んでいる割合が高くなっています。また、『中国』は他の国籍と比べて、「無料の日本語教室で」学ぶ割合が高くなっており、『中南米』は「有料の日本語教室で」学ぶ割合が高くなっています。

【国籍別 表】

単位：%

	サンプル数	独学で（教科書やテレビ等）	独学で（インターネットやアプリ等）	周りの会話を聞いて覚えている	職場で学んでいる	友達（日本人）から学んでいる	家族から学んでいる	無料の日本語教室で	有料の日本語教室で	友達（日本人以外）から学んでいる	通信教育で	その他	無回答
全体	189	57.7	50.8	39.7	31.2	20.6	15.3	13.8	8.5	5.3	2.1	7.4	0.5
中国	58	56.9	29.3	39.7	20.7	27.6	19.0	22.4	5.2	5.2	0.0	10.3	0.0
ベトナム	52	50.0	69.2	34.6	26.9	17.3	7.7	7.7	9.6	9.6	5.8	5.8	1.9
フィリピン	25	68.0	52.0	44.0	48.0	12.0	24.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	0.0
韓国・朝鮮	9	66.7	44.4	55.6	44.4	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0
北米	6	100.0	100.0	66.7	66.7	50.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中南米	5	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アジア	24	54.2	50.0	45.8	41.7	29.2	4.2	12.5	16.7	4.2	0.0	4.2	0.0
欧州	9	55.6	66.7	33.3	22.2	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
大洋州	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アフリカ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中東	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【日本滞在期間別】

日本滞在期間別でみると、『1年以上～3年未満』から『10年以上～15年未満』にかけて滞在期間が長くなるにつれて、「家族から学んでいる」が高くなっています。また、日本滞在期間が『1年未満』は、1年未満と比べて「有料の日本語教室で」が高くなっています。

【日本滞在期間別 表】

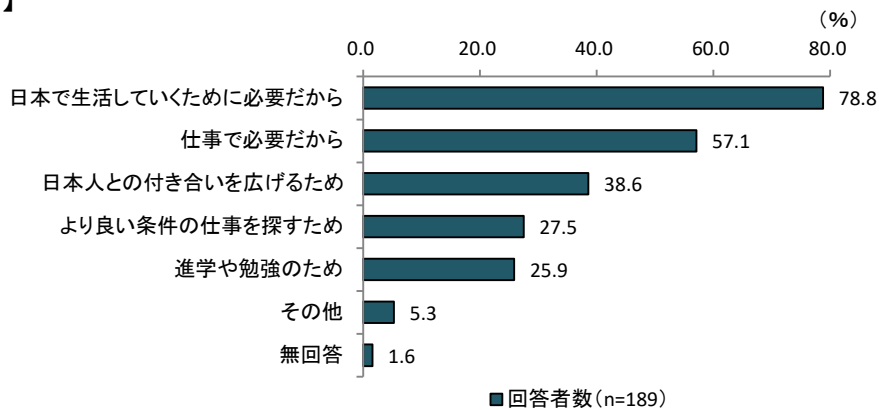
単位：％

	サンプル数	独学で（教科書やテレビ等）	独学で（インターネットやアプリ等）	周りの会話を聞いて覚えている	職場で学んでいる	友達（日本人）から学んでいる	家族から学んでいる	無料の日本語教室で	有料の日本語教室で	友達（日本人以外）から学んでいる	通信教育で	その他	無回答
全体	189	57.7	50.8	39.7	31.2	20.6	15.3	13.8	8.5	5.3	2.1	7.4	0.5
日本滞在期間別	1年未満	34	61.8	52.9	29.4	14.7	0.0	11.8	14.7	2.9	2.9	2.9	2.9
	1年以上～3年未満	56	55.4	58.9	37.5	33.9	8.9	16.1	5.4	5.4	1.8	10.7	0.0
	3年以上～5年未満	22	63.6	54.5	63.6	36.4	27.3	18.2	13.6	9.1	9.1	4.5	4.5
	5年以上～10年未満	19	63.2	68.4	47.4	36.8	31.6	26.3	21.1	5.3	5.3	5.3	0.0
	10年以上～15年未満	21	57.1	47.6	52.4	19.0	14.3	33.3	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0
	15年以上	35	54.3	28.6	28.6	42.9	17.1	22.9	11.4	8.6	5.7	0.0	14.3

問11 あなたは何のために日本語を学んでいますか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

日本語を学ぶ理由について、「日本で生活していくために必要だから」が78.8%と最も高くなっています。ついで、「仕事で必要だから」が57.1%、「日本人との付き合いを広げるため」が38.6%となっています。

【全体 図】



【国籍別】

国籍別でみると、すべての国籍で「日本で生活していくために必要だから」が高くなっています。また、『ベトナム』は、他の国籍と比べて「進学や勉強のため」が高くなっています。

【国籍別 表】

単位：％

	サンプル数	日本に必要だからいく	仕事で必要だから	日本人との付き合いを広げるため	より良い条件の仕事を探すため	進学や勉強のため	その他	無回答
全体	189	78.8	57.1	38.6	27.5	25.9	5.3	1.6
国籍別	中国	58	79.3	58.6	34.5	32.8	27.6	6.9
	ベトナム	52	65.4	65.4	26.9	25.0	44.2	1.9
	フィリピン	25	92.0	40.0	52.0	24.0	12.0	0.0
	韓国・朝鮮	9	88.9	55.6	44.4	33.3	22.2	0.0
	北米	6	100.0	66.7	100.0	50.0	0.0	16.7
	中南米	5	80.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	アジア	24	79.2	58.3	41.7	12.5	16.7	12.5
	欧州	9	88.9	44.4	55.6	55.6	0.0	11.1
	大洋州	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	アフリカ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中東	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

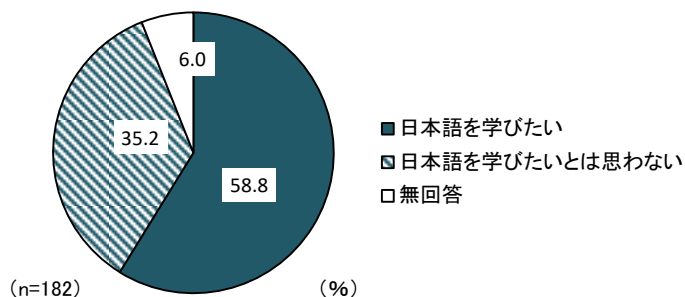
《問 12～14 は問 9 で「2. 学んでいない」を選んだ人（現在、日本語を学んでいない人）にお聞きます。》

問12 日本語を学びたいですか。

【あてはまる数字1つに○をつけてください】

日本語の学習意向について、「日本語を学びたい」が 58.8%、「日本語を学びたいとは思わない」が 35.2%となっています。

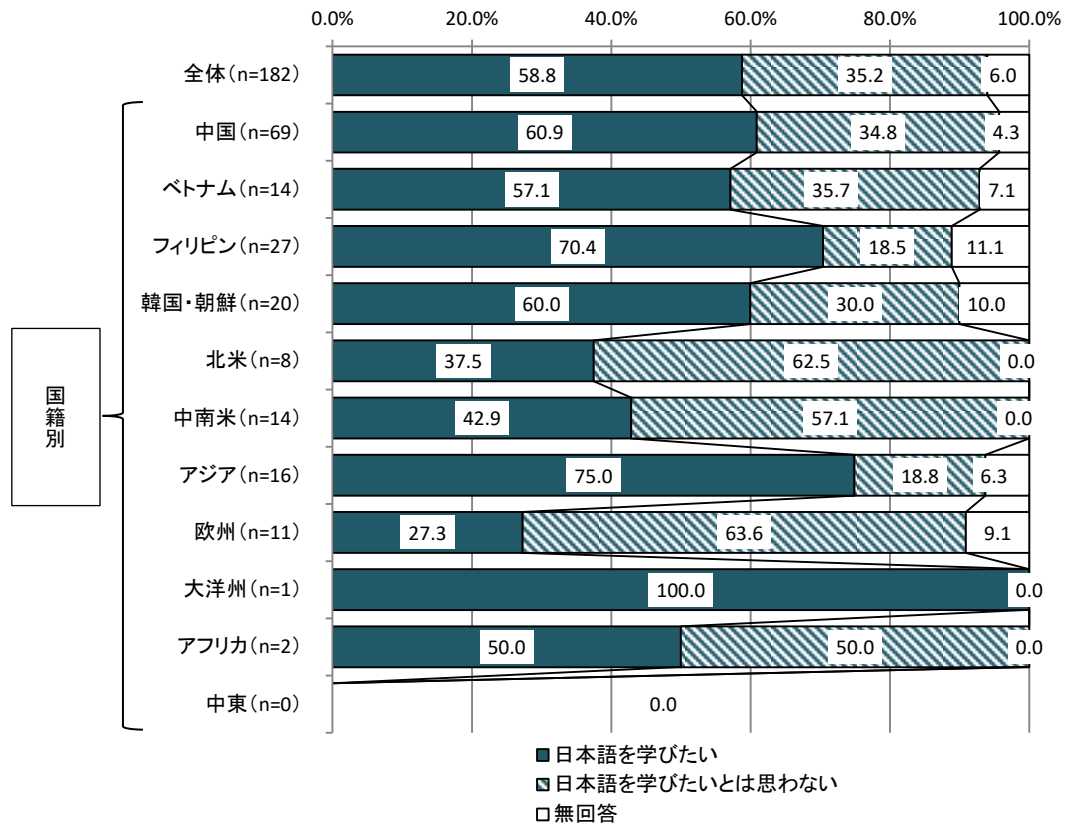
【全体 図】



【国籍別】

国籍別でみると、『中南米』（57.1%）と『欧州』（63.6%）は「日本語を学びたいとは思わない」が高くなっています。それ以外の国籍は、「日本語を学びたい」が高くなっています。

【国籍別 図】



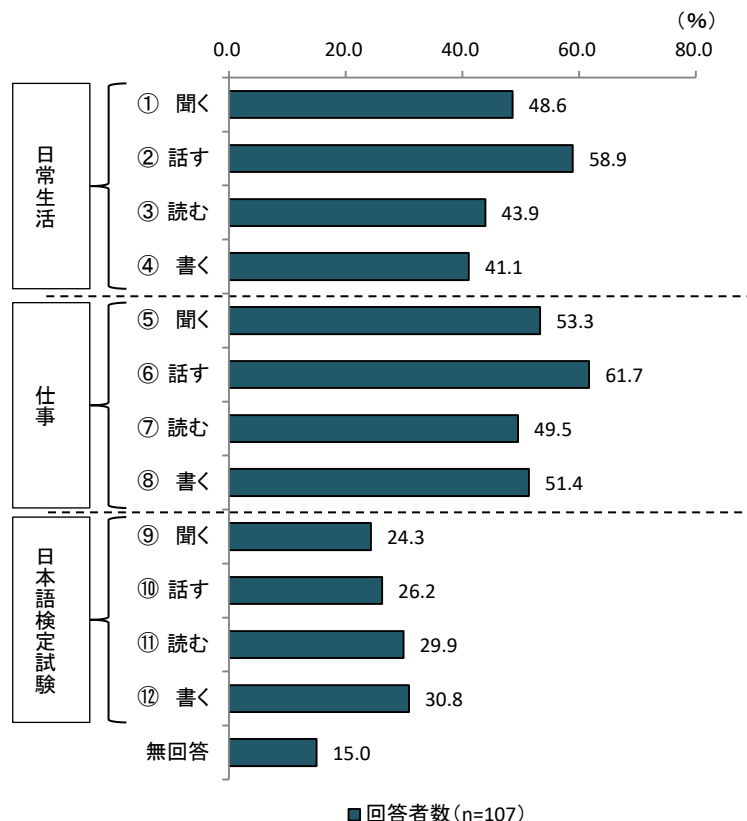
※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

《問12で「1. 日本語を学びたい」を選んだ人にお聞きします。》

問12-1 学びたい日本語は次の①～⑫のどの内容ですか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

学びたい日本語について、「仕事（話す）」が61.7%と最も高くなっています。ついで、「日常生活（話す）」が58.9%、「仕事（聞く）」が53.3%となっています。

【全体 図】



【国籍別】

国籍別でみると、『中国』（ともに61.9%）は「日常生活（話す）」と「仕事（聞く）」が高くなっています。『フィリピン』（ともに78.9%）は「日常生活（話す）」と「日常生活（読む）」が高くなっています。『韓国・朝鮮』（ともに58.3%）は「仕事（読む）」と「仕事（書く）」が高くなっています。『アジア』（ともに58.3%）は「仕事（聞く）」と「仕事（話す）」が高くなっています。

【国籍別 表】

単位：%

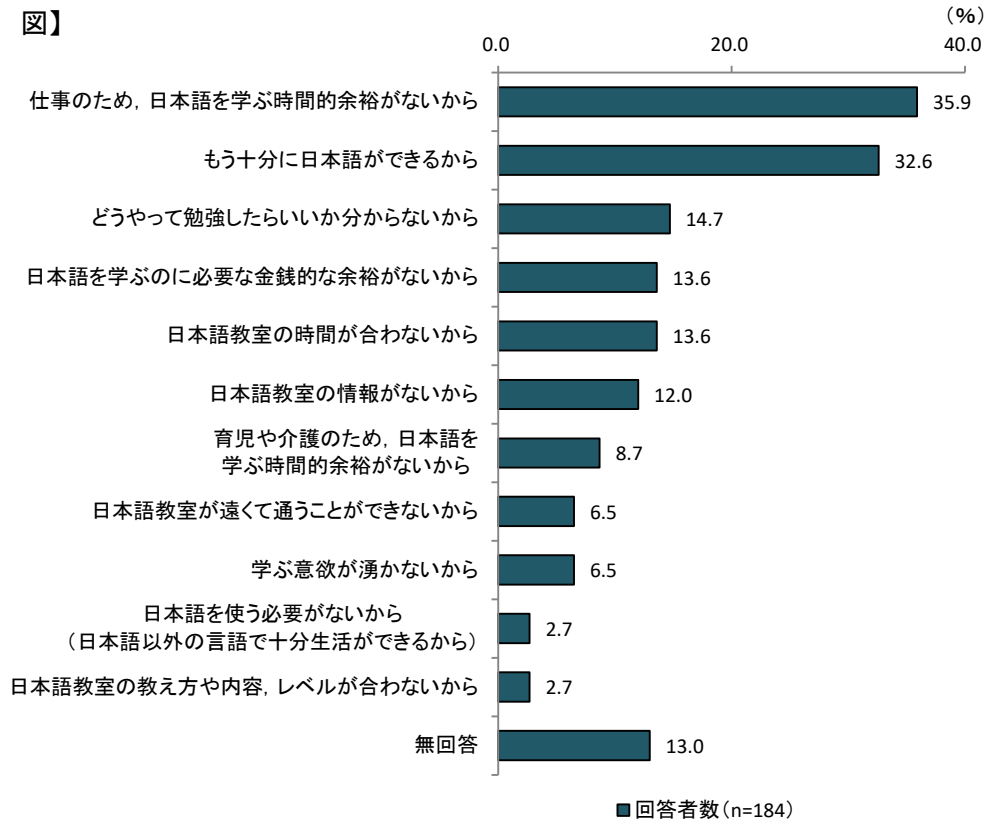
	サンプル数	日常生活（聞く）	日常生活（話す）	日常生活（読む）	日常生活（書く）	仕事（聞く）	仕事（話す）	仕事（読む）	仕事（書く）	日本語検定試験（聞く）	日本語検定試験（話す）	日本語検定試験（読む）	日本語検定試験（書く）	無回答
全体	107	48.6	58.9	43.9	41.1	53.3	61.7	49.5	51.4	24.3	26.2	29.9	30.8	15.0
中国	42	57.1	61.9	35.7	35.7	61.9	69.0	45.2	45.2	23.8	23.8	23.8	26.2	16.7
ベトナム	8	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	62.5	37.5	50.0	12.5	12.5	25.0	25.0	25.0
フィリピン	19	57.9	78.9	78.9	63.2	57.9	73.7	68.4	68.4	36.8	47.4	57.9	63.2	5.3
韓国・朝鮮	12	25.0	33.3	16.7	33.3	25.0	41.7	58.3	58.3	25.0	25.0	33.3	25.0	8.3
北米	3	66.7	100.0	66.7	66.7	100.0	100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0
中南米	6	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
アジア	12	50.0	50.0	50.0	41.7	58.3	58.3	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	16.7
欧州	3	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大洋州	1	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
アフリカ	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中東	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

問13 現在、日本語を学んでいないのはなぜですか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

現在日本語を学んでいない理由について、「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから」が35.9%と最も高くなっています。ついで、「もう十分に日本語ができるから」が32.6%、「どうやって勉強したらいいか分からないから」が14.7%となっています。

【全体 図】



【年齢別】

年齢別でみると、『20～29 歳』から『40～49 歳』にかけて年齢が上がるにつれて、「日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから」「育児や介護のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから」「日本語教室が遠くて通うことができないから」が高くなっています。また、『20～29 歳』と『40～49 歳』は他の年齢に比べて「日本語教室の情報がないから」が高くなっています。

【年齢別 表】

		単位：%											
	サンプル数	仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	もう十分に日本語ができるから	どうやって勉強したらいいか分からないから	日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから	日本語教室の時間が合わないから	日本語教室の情報がないから	日本語教室の時間が合わないから	育児や介護のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	日本語教室が遠くて通うことができないから	学ぶ意欲が湧かないから	日本語を使う必要がないから (日本語以外の言語で十分生活ができるから)	日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから
全体	184	35.9	32.6	14.7	13.6	13.6	12.0	8.7	6.5	6.5	2.7	2.7	13.0
年齢別	～19歳	2	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	34	35.3	23.5	20.6	11.8	14.7	20.6	8.8	2.9	11.8	2.9	17.6
	30～39歳	57	35.1	33.3	12.3	14.0	10.5	7.0	12.3	5.3	5.3	1.8	15.8
	40～49歳	37	54.1	27.0	24.3	21.6	18.9	16.2	13.5	13.5	2.7	2.7	8.1
	50～59歳	32	31.3	37.5	6.3	9.4	15.6	9.4	3.1	9.4	3.1	6.3	9.4
	60～69歳	14	21.4	57.1	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1
	70歳～	8	0.0	37.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【国籍別】

国籍別でみると、『中国』(34.3%)と『韓国・朝鮮』(60.0%)と『欧州』(66.7%)は「もう十分に日本語ができるから」が高くなっています。『フィリピン』(40.7%)と『中南米』(50.0%)と『アジア』(50.0%)は「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから」が高くなっています。『ベトナム』(42.9%)は「どうやって勉強したらいいかわからないから」が高くなっています。

【国籍別 表】

単位：％

	サンプル数	仕事の時間的余裕がないから日本語を学ぶ	もう十分に日本語ができる	どうやって勉強したらいい	金銭的な余裕がないから必要な金	日本語教室の時間が合わないから	日本語教室の情報がないから	育児や介護のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	日本語教室が遠くて通うことができないから	学ぶ意欲が湧かないから	日常生活で日本語を使う必要がないから	日本語教室の教えないから	無回答
全体	184	35.9	32.6	14.7	13.6	13.6	12.0	8.7	6.5	6.5	2.7	2.7	13.0
中国	70	27.1	34.3	17.1	14.3	15.7	14.3	8.6	8.6	5.7	2.9	2.9	14.3
ベトナム	14	28.6	7.1	42.9	21.4	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
フィリピン	27	40.7	14.8	3.7	22.2	22.2	11.1	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	29.6
韓国・朝鮮	20	30.0	60.0	10.0	5.0	0.0	5.0	10.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0
北米	8	50.0	62.5	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
中南米	14	50.0	21.4	21.4	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1
アジア	16	50.0	18.8	12.5	18.8	18.8	12.5	6.3	18.8	6.3	0.0	6.3	18.8
欧州	12	33.3	66.7	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3
大洋州	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
アフリカ	2	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
中東	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【就労状況別】

就労状況別でみると、仕事を『していない(今、探している)』と回答した人は、他の就労状況と比べて「育児や介護のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから」「日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから」「日本語教室が遠くて通うことができないから」が高くなっています。

【就労状況別 表】

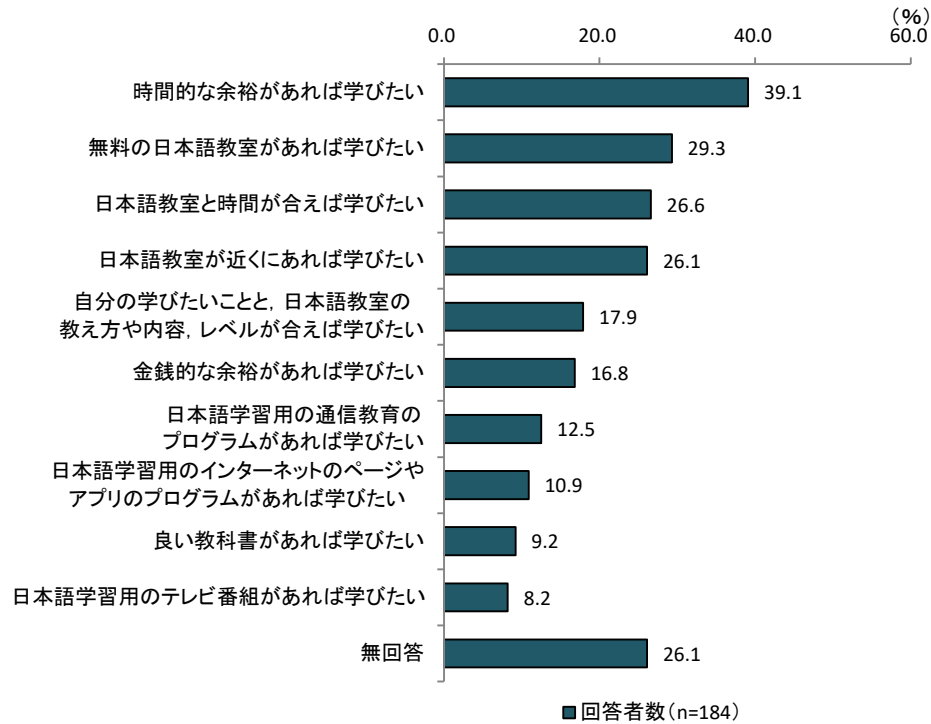
単位：％

	サンプル数	仕事の時間的余裕がないから日本語を学ぶ	もう十分に日本語ができる	どうやって勉強したらいい	金銭的な余裕がないから必要な金	日本語教室の時間が合わないから	日本語教室の情報がないから	育児や介護のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	日本語教室が遠くて通うことができないから	学ぶ意欲が湧かないから	日常生活で日本語を使う必要がないから	日本語教室の教えないから	無回答
全体	184	35.9	32.6	14.7	13.6	13.6	12.0	8.7	6.5	6.5	2.7	2.7	13.0
就労状況別	142	46.5	31.0	15.5	12.7	14.8	11.3	6.3	4.9	6.3	1.4	2.8	12.7
している	12	0.0	33.3	25.0	25.0	8.3	8.3	25.0	25.0	0.0	0.0	8.3	16.7
していない(今、探している)	30	0.0	40.0	6.7	13.3	10.0	16.7	13.3	6.7	10.0	10.0	0.0	13.3
していない(探していない)													

問14 どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

日本語を学びたいと思う環境について、「時間的な余裕があれば学びたい」が 39.1%と最も高くなっています。ついで、「無料の日本語教室があれば学びたい」が 29.3%、「日本語教室と時間が合えば学びたい」が 26.6%となっています。

【全体 図】



【国籍別】

国籍別でみると、『中国』(40.0%)と『ベトナム』(42.9%)は「無料の日本語教室があれば学びたい」が高くなっています。『フィリピン』(48.1%)は「日本語教室と時間が合えば学びたい」が高くなっています。『韓国・朝鮮』(35.0%)『中南米』(42.9%)『アジア』(43.8%)『欧州』(50.0%)は「時間的な余裕があれば学びたい」が高くなっています。

また、『ベトナム』は、他の国籍と比べて「日本語学習用の通信教育のプログラムがあれば学びたい」と「良い教科書があれば学びたい」が高くなっています。

【国籍別 表】

単位：%

	サンプル数	時間的な余裕があれば学びたい	無料の日本語教室があれば学びたい	日本語教室と時間が合えば学びたい	日本語教室が近くにあれば学びたい	内容、レベルが合えば学びたい	自分の学びたいことや、日本語教室の教え方と、	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語学習用の通信教育があれば学びたい	日本語学習用の教材があれば学びたい	良い教科書があれば学びたい	日本語学習用のテレビ番組があれば学びたい	無回答
全体	184	39.1	29.3	26.6	26.1	17.9	16.8	12.5	10.9	9.2	8.2	26.1	
国籍別	中国	70	35.7	40.0	24.3	27.1	18.6	22.9	8.6	10.0	5.7	8.6	27.1
	ベトナム	14	21.4	42.9	35.7	35.7	35.7	35.7	21.4	28.6	7.1	7.1	
	フィリピン	27	44.4	22.2	48.1	29.6	11.1	11.1	18.5	11.1	18.5	14.8	40.7
	韓国・朝鮮	20	35.0	10.0	20.0	15.0	15.0	5.0	5.0	5.0	5.0	10.0	20.0
	北米	8	50.0	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	37.5
	中南米	14	42.9	21.4	14.3	28.6	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	21.4
	アジア	16	43.8	37.5	18.8	31.3	18.8	18.8	25.0	25.0	6.3	12.5	25.0
	欧州	12	50.0	16.7	25.0	25.0	25.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0
	大洋州	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	アフリカ	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中東	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【就労状況別】

就労状況別でみると、仕事を『していない(今、探している)』人は、他の就労状況と比べて「金銭的な余裕があれば学びたい」が高くなっています。『していない(探していない)』人は、他の就労状況と比べて「日本語学習用のテレビ番組があれば学びたい」が高くなっています。

【就労状況別 表】

単位：%

	サンプル数	時間的な余裕があれば学びたい	無料の日本語教室があれば学びたい	日本語教室と時間が合えば学びたい	日本語教室が近くにあれば学びたい	内容、レベルが合えば学びたい	自分の学びたいことや、日本語教室の教え方と、	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語学習用の通信教育があれば学びたい	日本語学習用の教材があれば学びたい	良い教科書があれば学びたい	日本語学習用のテレビ番組があれば学びたい	無回答
全体	184	39.1	29.3	26.6	26.1	17.9	16.8	12.5	10.9	9.2	8.2	26.1	
就労状況別	している	142	42.3	26.8	29.6	25.4	16.9	16.2	12.0	8.5	7.0	5.6	24.6
	していない(今、探している)	12	33.3	41.7	16.7	25.0	25.0	33.3	16.7	25.0	25.0	8.3	41.7
	していない(探していない)	30	26.7	36.7	16.7	30.0	20.0	13.3	13.3	16.7	13.3	20.0	26.7

3. 日本語の使用状況について

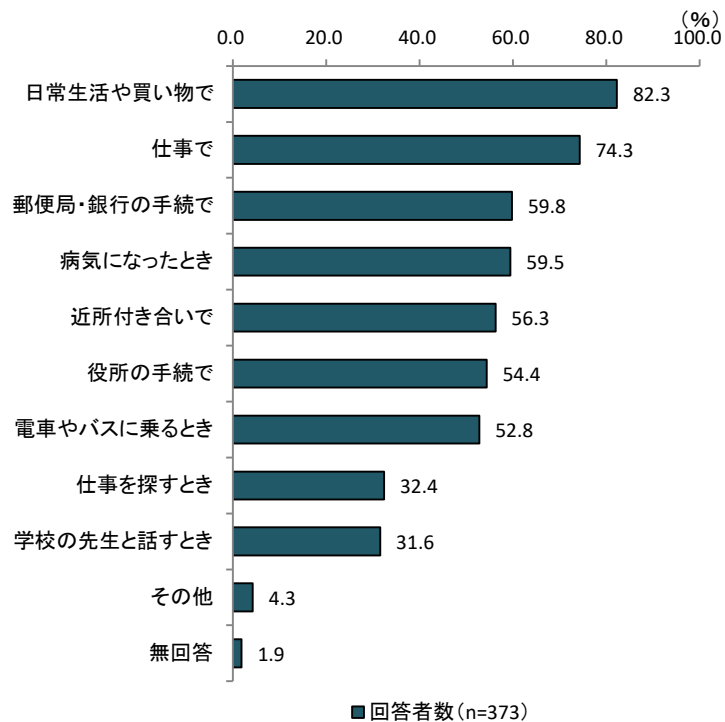
《みなさんにお聞きます。》

問15 あなたが、今、日本語を使っている場面を次から選んでください。

【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

日本語を使っている場面について、「日常生活や買い物で」が 82.3%と最も高くなっています。ついで、「仕事で」が 74.3%、「郵便局・銀行の手続で」が 59.8%となっています。

【全体 図】



【年齢別】

年齢別でみると、『30～39 歳』から『60～69 歳』にかけて年齢が上がるにつれて、「仕事で」「役所の手続で」「学校の先生と話すとき」が低くなっています。また、『30～39 歳』は他の年齢に比べて「病気になったとき」が高くなっています。

【年齢別 表】

単位：%

	サンプル数	日常生活や買い物で	仕事で	郵便局・銀行の手続で	病気になったとき	近所付き合いで	役所の手続で	電車やバスに乗るとき	仕事を探すとき	学校の先生と話すとき	その他	無回答
全体	373	82.3	74.3	59.8	59.5	56.3	54.4	52.8	32.4	31.6	4.3	1.9
年齢別												
～19歳	7	85.7	42.9	42.9	14.3	42.9	28.6	57.1	28.6	71.4	14.3	0.0
20～29歳	109	78.0	77.1	54.1	46.8	46.8	36.7	54.1	27.5	27.5	4.6	1.8
30～39歳	115	87.8	80.9	64.3	73.0	59.1	69.6	57.4	38.3	41.7	4.3	0.0
40～49歳	68	88.2	77.9	63.2	66.2	66.2	60.3	51.5	42.6	33.8	1.5	0.0
50～59歳	47	74.5	72.3	63.8	53.2	53.2	57.4	42.6	27.7	21.3	4.3	4.3
60～69歳	18	72.2	50.0	55.6	66.7	66.7	50.0	44.4	16.7	5.6	5.6	5.6
70歳～	9	77.8	11.1	44.4	44.4	66.7	44.4	55.6	0.0	11.1	11.1	22.2

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【国籍別】

国籍別でみると、『ベトナム』(86.4%)は、「仕事で」が高くなっており、『フィリピン』(ともに71.2%)は、「日常生活や買い物で」と「仕事で」が高くなっています。それ以外の国籍は、「日常生活や買い物で」が高くなっています。

また、『ベトナム』は、他の国籍と比べて「役所の手続で」、『アジア』は、「郵便局・銀行の手続で」が低くなっています。『韓国・朝鮮』は、「近所付き合いで」が高くなっています。

【国籍別 表】

単位：％

		サンプル数	日常生活や買い物で	仕事で	郵便局・銀行の手続で	病気になったとき	近所付き合いで	役所の手続で	電車やバスに乗るとき	仕事を探するとき	学校の先生と話するとき	その他	無回答
全体		373	82.3	74.3	59.8	59.5	56.3	54.4	52.8	32.4	31.6	4.3	1.9
国籍別	中国	128	86.7	77.3	73.4	74.2	62.5	73.4	53.9	49.2	47.7	2.3	1.6
	ベトナム	66	72.7	86.4	51.5	48.5	51.5	25.8	51.5	15.2	25.8	4.5	3.0
	フィリピン	52	71.2	71.2	53.8	59.6	46.2	61.5	40.4	46.2	30.8	1.9	0.0
	韓国・朝鮮	29	89.7	72.4	69.0	55.2	82.8	69.0	65.5	27.6	17.2	3.4	0.0
	北米	14	100.0	64.3	64.3	78.6	78.6	64.3	78.6	14.3	14.3	21.4	0.0
	中南米	19	63.2	52.6	52.6	57.9	47.4	42.1	36.8	15.8	10.5	10.5	10.5
	アジア	40	90.0	70.0	37.5	35.0	35.0	30.0	57.5	10.0	17.5	2.5	0.0
	欧州	21	95.2	57.1	52.4	47.6	61.9	47.6	61.9	28.6	33.3	9.5	4.8
	大洋州	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	アフリカ	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
中東	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【日本滞在期間別】

日本滞在期間別でみると、『1年未満』から『3年以上～5年未満』にかけて滞在期間が長くなるにつれて、「日常生活や買い物で」「病気になったとき」「電車やバスに乗るとき」が高くなっています。また、日本滞在期間が『10年以上～15年未満』は、他の滞在期間と比べて「病気になったとき」が高くなっています。

【日本滞在期間別 表】

単位：％

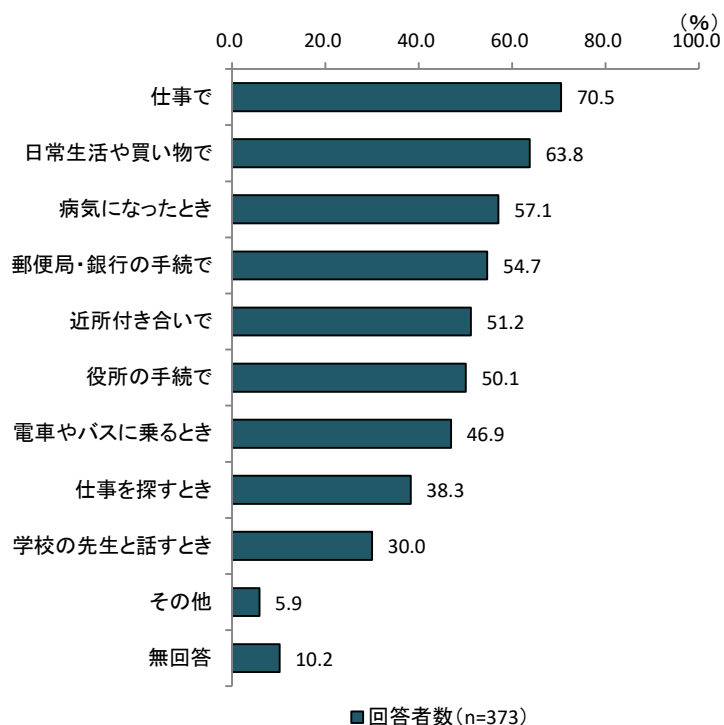
		サンプル数	日常生活や買い物で	仕事で	郵便局・銀行の手続で	病気になったとき	近所付き合いで	役所の手続で	電車やバスに乗るとき	仕事を探するとき	学校の先生と話するとき	その他	無回答
全体		373	82.3	74.3	59.8	59.5	56.3	54.4	52.8	32.4	31.6	4.3	1.9
日本滞在期間別	1年未満	43	79.1	74.4	41.9	32.6	41.9	23.3	51.2	11.6	27.9	0.0	0.0
	1年以上～3年未満	82	84.1	79.3	52.4	47.6	50.0	43.9	56.1	23.2	28.0	6.1	1.2
	3年以上～5年未満	36	91.7	69.4	66.7	69.4	52.8	61.1	63.9	38.9	38.9	8.3	2.8
	5年以上～10年未満	45	71.1	73.3	53.3	55.6	46.7	48.9	35.6	26.7	28.9	2.2	0.0
	10年以上～15年未満	61	86.9	78.7	68.9	80.3	77.0	75.4	60.7	49.2	45.9	8.2	1.6
	15年以上	102	82.4	72.5	69.6	67.6	62.7	64.7	52.0	39.2	26.5	2.0	2.0

問16 あなたが日本語を使いたい場面を次から選んでください。

【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

日本語を使いたい場面について、「仕事で」が70.5%と最も高くなっています。ついで、「日常生活や買い物で」が63.8%、「病気になったとき」が57.1%となっています。

【全体 図】



【年齢別】

年齢別でみると、『20～29 歳』から『50～59 歳』にかけて年齢が上がるにつれて、「仕事で」と「電車やバスに乗るとき」が低くなっており、『30～39 歳』から『60～69 歳』にかけて年齢が上がるにつれて、「仕事を探すとき」と「学校の先生と話すとき」が低くなっています。

【年齢別 表】

単位：%

	サンプル数	仕事で	日常生活や買い物で	病気になったとき	郵便局・銀行の手続で	近所付き合いで	役所の手続で	電車やバスに乗るとき	仕事を探すとき	学校の先生と話すとき	その他	無回答
全体	373	70.5	63.8	57.1	54.7	51.2	50.1	46.9	38.3	30.0	5.9	10.2
年齢別												
～19歳	7	71.4	71.4	28.6	28.6	42.9	28.6	14.3	14.3	57.1	0.0	0.0
20～29歳	109	83.5	65.1	56.0	58.7	49.5	44.0	52.3	39.4	30.3	5.5	3.7
30～39歳	115	74.8	67.8	61.7	57.4	54.8	58.3	51.3	46.1	35.7	6.1	7.0
40～49歳	68	73.5	69.1	58.8	58.8	63.2	60.3	50.0	45.6	30.9	5.9	11.8
50～59歳	47	46.8	51.1	53.2	44.7	34.0	38.3	29.8	23.4	23.4	4.3	25.5
60～69歳	18	50.0	50.0	61.1	44.4	50.0	44.4	38.9	16.7	5.6	16.7	11.1
70歳～	9	0.0	44.4	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	11.1	11.1	0.0	44.4

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【国籍別】

国籍別でみると、『中国』(84.4%)と『ベトナム』(92.4%)と『フィリピン』(59.6%)は「仕事で」が高くなっています。『韓国・朝鮮』(ともに51.7%)は「仕事で」と「近所付き合いで」が高くなっています。『北米』(すべて42.9%)は「仕事で」「日常生活や買い物で」「仕事を探すとき」が高くなっています。『中南米』(57.9%)は「病気になったとき」が高くなっています。『アジア』(75.0%)と『欧州』(52.4%)は「日常生活や買い物で」が高くなっています。

また、『中南米』は、他の国籍と比べて「仕事を探すとき」と「学校の先生と話すとき」が低くなっています。

【国籍別 表】

単位：％

【国籍別】		サンプル数	仕事で	日常生活や買い物で	病気になったとき	郵便局・銀行の手続で	近所付き合いで	役所の手続で	電車やバスに乗るとき	仕事を探すとき	学校の先生と話すとき	その他	無回答
全体		373	70.5	63.8	57.1	54.7	51.2	50.1	46.9	38.3	30.0	5.9	10.2
国籍別	中国	128	84.4	75.0	75.0	67.2	64.1	66.4	57.0	53.1	44.5	5.5	4.7
	ベトナム	66	92.4	69.7	59.1	57.6	60.6	40.9	51.5	36.4	27.3	6.1	3.0
	フィリピン	52	59.6	53.8	50.0	50.0	38.5	57.7	40.4	38.5	25.0	3.8	15.4
	韓国・朝鮮	29	51.7	37.9	37.9	37.9	51.7	31.0	31.0	20.7	17.2	6.9	24.1
	北米	14	42.9	42.9	35.7	28.6	35.7	35.7	35.7	42.9	21.4	0.0	35.7
	中南米	19	36.8	36.8	57.9	42.1	26.3	42.1	31.6	5.3	5.3	10.5	15.8
	アジア	40	60.0	75.0	40.0	50.0	40.0	35.0	50.0	20.0	22.5	7.5	2.5
	欧州	21	38.1	52.4	38.1	42.9	33.3	38.1	28.6	38.1	28.6	9.5	28.6
	大洋州	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	アフリカ	2	100.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
中東	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【日本滞在期間別】

日本滞在期間別でみると、『1年未満』から『10年以上～15年未満』にかけて滞在期間が長くなるにつれて、「仕事を探すとき」が高くなっています。

【日本滞在期間別 表】

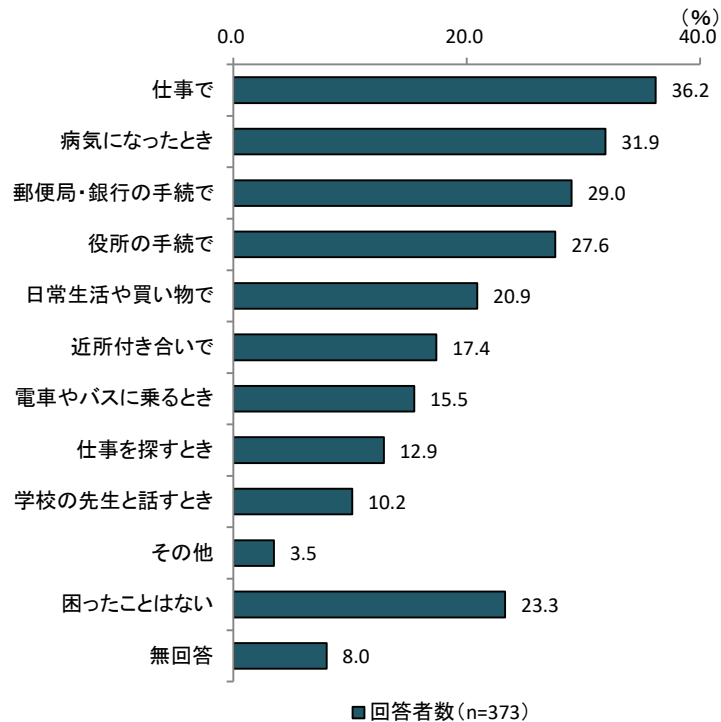
単位：％

		サンプル数	仕事で	日常生活や買い物で	病気になったとき	郵便局・銀行の手続で	近所付き合いで	役所の手続で	電車やバスに乗るとき	仕事を探すとき	学校の先生と話すとき	その他	無回答
全体		373	70.5	63.8	57.1	54.7	51.2	50.1	46.9	38.3	30.0	5.9	10.2
日本滞在期間別	1年未満	43	88.4	69.8	51.2	46.5	51.2	37.2	48.8	25.6	32.6	0.0	0.0
	1年以上～3年未満	82	79.3	69.5	51.2	61.0	53.7	42.7	51.2	35.4	23.2	6.1	4.9
	3年以上～5年未満	36	72.2	77.8	69.4	58.3	44.4	58.3	50.0	47.2	38.9	5.6	2.8
	5年以上～10年未満	45	71.1	48.9	60.0	48.9	51.1	57.8	40.0	48.9	26.7	4.4	8.9
	10年以上～15年未満	61	72.1	72.1	67.2	63.9	67.2	65.6	62.3	50.8	44.3	13.1	9.8
	15年以上	102	55.9	53.9	53.9	50.0	43.1	47.1	36.3	31.4	24.5	4.9	20.6

問17 次のようなとき、あなたは日本語が使えなくて、困ったことがありますか。最近1年間に困った経験があるものを選んでください。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

日本語が使えず困った場面について、「仕事で」が36.2%と最も高くなっています。ついで、「病気になったとき」が31.9%、「郵便局・銀行の手続で」が29.0%となっています。

【全体 図】



【年齢別】

年齢別でみると、『20～29歳』から『60～69歳』にかけて年齢が上がるにつれて、「仕事で」「日常生活や買い物で」「電車やバスに乗るとき」が低くなっています。また、『20～29歳』は他の年齢に比べて「郵便局・銀行の手続で」が高くなっています。

【年齢別 表】

単位：%

	サンプル数	仕事で	病気になったとき	郵便局・銀行の手続で	役所の手続で	日常生活や買い物で	近所付き合いで	電車やバスに乗るとき	仕事を探すとき	学校の先生と話するとき	その他	困ったことはない	無回答
全体	373	36.2	31.9	29.0	27.6	20.9	17.4	15.5	12.9	10.2	3.5	23.3	8.0
年齢別	～19歳	7	14.3	14.3	14.3	57.1	14.3	28.6	14.3	42.9	0.0	14.3	0.0
	20～29歳	109	50.5	39.4	43.1	36.7	33.0	22.9	13.8	9.2	0.9	17.4	4.6
	30～39歳	115	36.5	34.8	29.6	23.5	17.4	14.8	13.0	10.4	4.3	22.6	6.1
	40～49歳	68	33.8	22.1	22.1	26.5	14.7	16.2	19.1	11.8	4.4	27.9	10.3
	50～59歳	47	25.5	31.9	14.9	21.3	12.8	10.6	6.4	8.5	4.3	23.4	17.0
	60～69歳	18	11.1	16.7	16.7	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	50.0	11.1
	70歳～	9	0.0	22.2	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【国籍別】

国籍別でみると、『中国』(37.5%)は「病気になったとき」が高くなっています。『ベトナム』(59.1%)と『アジア』(37.5%)は「仕事で」が高くなっています。『フィリピン』(すべて34.6%)と『北米』(すべて28.6%)は「仕事で」「郵便局・銀行の手続で」「役所の手続で」が高くなっています。『韓国・朝鮮』(55.2%),『中南米』(36.8%),『欧州』(28.6%)は「困ったことはない」が高くなっています。

【国籍別 表】

単位：％

		サンプル数	仕事で	病気になったとき	郵便局・銀行の手続で	役所の手続で	日常生活や買い物で	近所付き合いで	電車やバスに乗るとき	仕事を探すとき	学校の先生と話すとき	その他	困ったことはない	無回答
全体		373	36.2	31.9	29.0	27.6	20.9	17.4	15.5	12.9	10.2	3.5	23.3	8.0
国籍別	中国	128	35.2	37.5	25.8	26.6	19.5	21.1	14.8	19.5	15.6	3.9	23.4	5.5
	ベトナム	66	59.1	47.0	43.9	39.4	34.8	31.8	31.8	15.2	10.6	3.0	9.1	4.5
	フィリピン	52	34.6	32.7	34.6	34.6	23.1	9.6	21.2	13.5	13.5	3.8	21.2	9.6
	韓国・朝鮮	29	20.7	10.3	6.9	10.3	0.0	6.9	0.0	0.0	3.4	6.9	55.2	6.9
	北米	14	28.6	7.1	28.6	28.6	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	7.1
	中南米	19	15.8	31.6	15.8	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.8	15.8
	アジア	40	37.5	25.0	30.0	20.0	27.5	17.5	15.0	7.5	7.5	5.0	17.5	10.0
	欧州	21	14.3	4.8	23.8	23.8	9.5	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0	28.6	23.8
	大洋州	1	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	アフリカ	2	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中東	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【日本滞在期間別】

日本滞在期間別でみると、滞在期間が長くなるにつれて、「役所の手続で」「日常生活や買い物で」「電車やバスに乗るとき」が低くなっています。

【日本滞在期間別 表】

単位：％

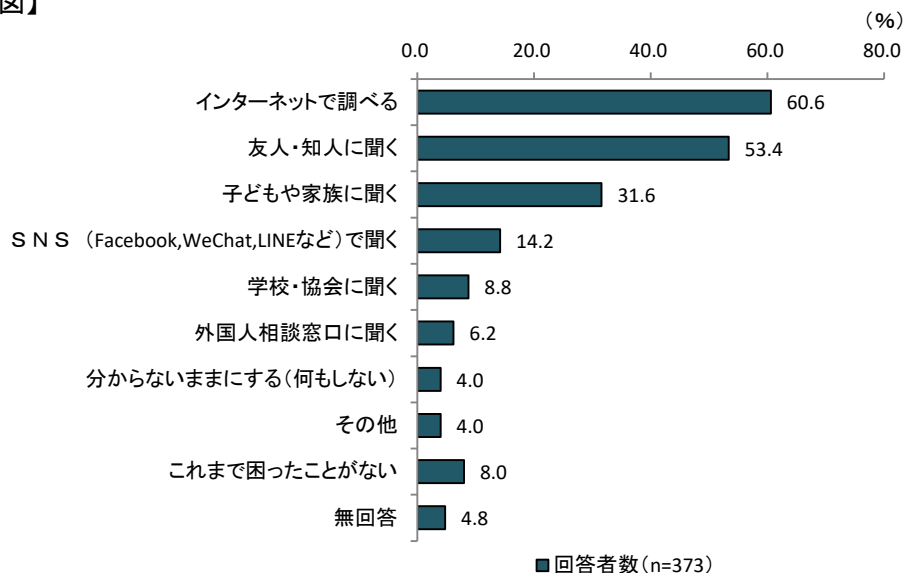
		サンプル数	仕事で	病気になったとき	郵便局・銀行の手続で	役所の手続で	日常生活や買い物で	近所付き合いいで	電車やバスに乗るとき	仕事を探すとき	学校の先生と話すとき	その他	困ったことはない	無回答
全体		373	36.2	31.9	29.0	27.6	20.9	17.4	15.5	12.9	10.2	3.5	23.3	8.0
日本滞在期間別	1年未満	43	65.1	30.2	37.2	37.2	41.9	30.2	37.2	7.0	14.0	0.0	7.0	2.3
	1年以上～3年未満	82	46.3	45.1	48.8	34.1	35.4	30.5	28.0	12.2	9.8	2.4	15.9	4.9
	3年以上～5年未満	36	47.2	41.7	41.7	33.3	27.8	19.4	19.4	27.8	13.9	8.3	13.9	0.0
	5年以上～10年未満	45	26.7	40.0	24.4	31.1	13.3	11.1	8.9	22.2	11.1	2.2	15.6	6.7
	10年以上～15年未満	61	31.1	26.2	18.0	19.7	9.8	14.8	6.6	14.8	9.8	4.9	27.9	8.2
	15年以上	102	20.6	18.6	13.7	19.6	7.8	5.9	2.9	4.9	6.9	3.9	40.2	14.7

問18 あなたは日本語が使えるなくて困ったとき、どうしていますか。

【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

日本語が使えるなくて困った場合の対処方法について、「インターネットで調べる」が 60.6%と最も高くなっています。ついで、「友人・知人に聞く」が 53.4%、「子どもや家族に聞く」が 31.6%となっています。

【全体 図】



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて、「インターネットで調べる」と「友人・知人に聞く」が低くなっています。また、『40～49歳』は他の年齢に比べて「子どもや家族に聞く」が高くなっています。

【年齢別 表】

単位：%

	サンプル数	インターネットで調べる	友人・知人に聞く	子どもや家族に聞く	など(Check, Look, etc.)	SNS (Facebook, WeChat, LINE)	学校・協会に聞く	外国人相談窓口聞く	(分からないままにする)	その他	これまで困ったことがない	無回答
全体	373	60.6	53.4	31.6		14.2	8.8	6.2	4.0	4.0	8.0	4.8
年齢別												
～19歳	7	85.7	57.1	28.6		14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
20～29歳	109	81.7	62.4	5.5		18.3	10.1	11.0	5.5	3.7	6.4	3.7
30～39歳	115	69.6	58.3	27.0		19.1	13.0	4.3	3.5	2.6	10.4	1.7
40～49歳	68	50.0	48.5	60.3		8.8	7.4	5.9	2.9	2.9	8.8	2.9
50～59歳	47	29.8	40.4	53.2		8.5	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	17.0
60～69歳	18	11.1	33.3	50.0		0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	16.7	5.6
70歳～	9	11.1	22.2	44.4		0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1

※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

【日本滞在期間別】

日本滞在期間別でみると、『1年未満』から『10年以上～15年未満』にかけて滞在期間が長くなるにつれて、「子どもや家族に聞く」が高くなっており、『1年以上～3年未満』から『15年以上』にかけて滞在期間が長くなるにつれて、「友人・知人に聞く」が低くなっています。また、『1年未満』と『15年以上』は他の年齢に比べて「SNS（Facebook, WeChat, LINE など）で聞く」が低くなっています。

【日本滞在期間別 表】

単位：％

		サンプル数	インターネットで調べる	友人・知人に聞く	子どもや家族に聞く	（Facebook、LINEなど）で聞く	SNS 学校・協会に聞く	外国人相談窓口 に聞く	分からないままにする （何もしない）	その他	これまで困ったことがない	無回答
全体		373	60.6	53.4	31.6	14.2	8.8	6.2	4.0	4.0	8.0	4.8
日本滞在 期間別	1年未満	43	83.7	67.4	7.0	9.3	14.0	11.6	2.3	2.3	0.0	0.0
	1年以上～3年未満	82	81.7	72.0	12.2	23.2	13.4	12.2	7.3	3.7	4.9	1.2
	3年以上～5年未満	36	88.9	61.1	22.2	25.0	16.7	2.8	8.3	8.3	2.8	0.0
	5年以上～10年未満	45	60.0	53.3	44.4	24.4	6.7	2.2	2.2	2.2	11.1	4.4
	10年以上～15年未満	61	52.5	42.6	54.1	11.5	11.5	4.9	4.9	3.3	9.8	4.9
	15年以上	102	30.4	36.3	43.1	2.9	0.0	2.9	1.0	4.9	13.7	9.8

【国籍別】

国籍別でみると、『中国』(57.8%),『ベトナム』(86.4%),『韓国・朝鮮』(58.6%),『北米』(57.1%),『アジア』(77.5%)は「インターネットで調べる」が高くなっています。『ベトナム』(68.2%),『フィリピン』(53.8%)は「友人・知人に聞く」が高くなっています。『中南米』(ともに47.4%)は「友人・知人に聞く」と「子どもや家族に聞く」が高くなっています。『欧州』(52.4%)は「子どもや家族に聞く」が高くなっています。

また、『ベトナム』は、他の国籍と比べて「子どもや家族に聞く」が低くなっています。

【国籍別 表】

単位：％

		サンプル数	インターネットで調べる	友人・知人に聞く	子どもや家族に聞く	LINEなど）で聞く	SNS（Facebook、WhatsApp、LINEなど）で聞く	学校・協会に聞く	外国人相談窓口聞く	（何もしないままにする	その他	これまで困ったことがない	無回答
全体		373	60.6	53.4	31.6	14.2	8.8	6.2	4.0	4.0	8.0	4.8	
国籍別	中国	128	57.8	50.8	36.7	10.9	6.3	0.8	2.3	3.1	10.9	3.1	
	ベトナム	66	86.4	68.2	9.1	24.2	10.6	10.6	7.6	3.0	4.5	3.0	
	フィリピン	52	51.9	53.8	46.2	26.9	15.4	17.3	1.9	1.9	5.8	9.6	
	韓国・朝鮮	29	58.6	41.4	24.1	6.9	0.0	0.0	10.3	0.0	10.3	6.9	
	北米	14	57.1	35.7	28.6	21.4	21.4	0.0	0.0	21.4	21.4	7.1	
	中南米	19	21.1	47.4	47.4	5.3	0.0	10.5	0.0	10.5	5.3	5.3	
	アジア	40	77.5	57.5	17.5	7.5	12.5	10.0	5.0	0.0	0.0	5.0	
	欧州	21	38.1	42.9	52.4	0.0	9.5	0.0	4.8	14.3	14.3	4.8	
	大洋州	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	アフリカ	2	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	中東	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

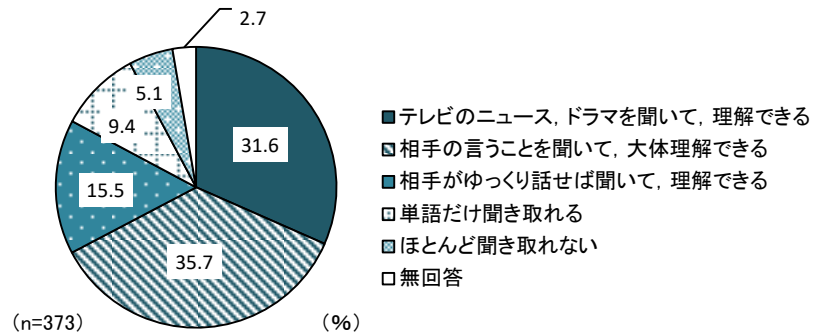
※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

問19 あなたは日本語がどのくらいできますか。 【あてはまる数字1つに○をつけてください】

日本語能力（自己評価）について、『聞く』では「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」が35.7%と最も高くなっています。ついで、「テレビのニュース，ドラマを聞いて、理解できる」が31.6%，「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」が15.5%となっています。

◇聞く

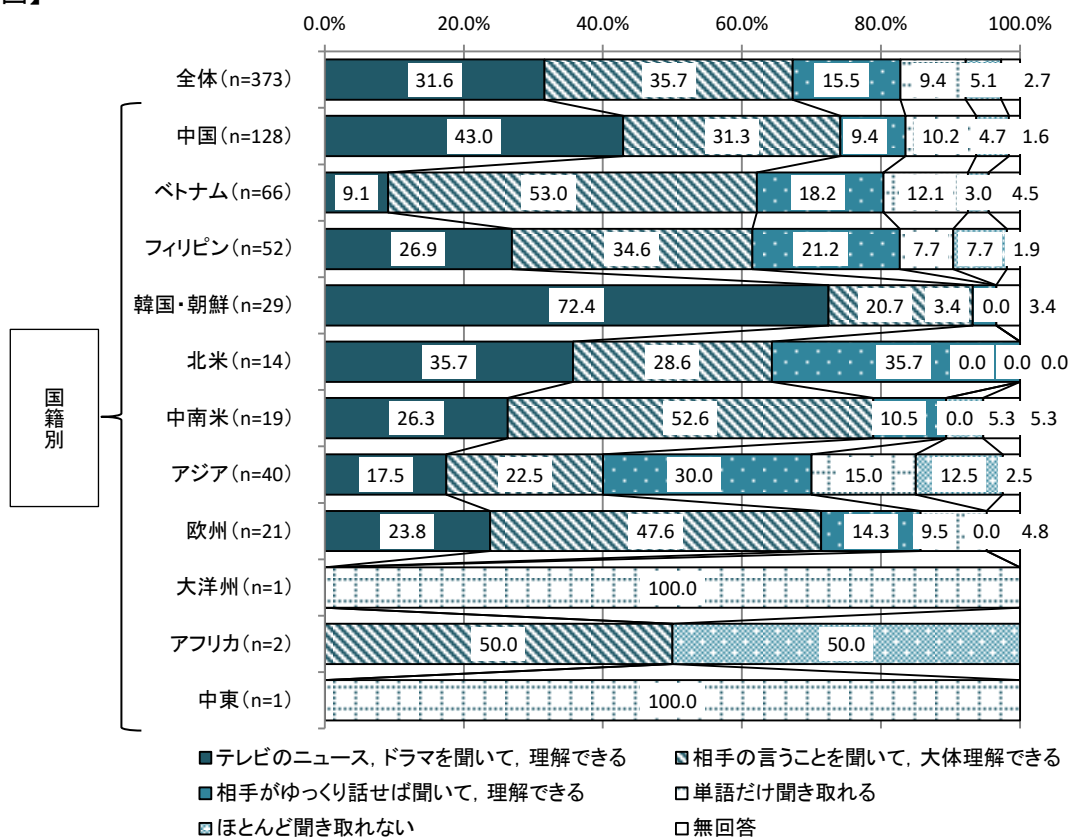
【全体 図】



国籍別でみると、最も高い回答数は下記の通りとなっています。

選択肢	国籍名
1. テレビのニュース，ドラマを聞いて、理解できる	中国，韓国・朝鮮，北米（同率）
2. 相手の言うことを聞いて、大体理解できる	ベトナム，フィリピン，中南米，欧州，
3. 相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる	北米（同率），アジア
4. 単語だけ聞き取れる	
5. ほとんど聞き取れない	

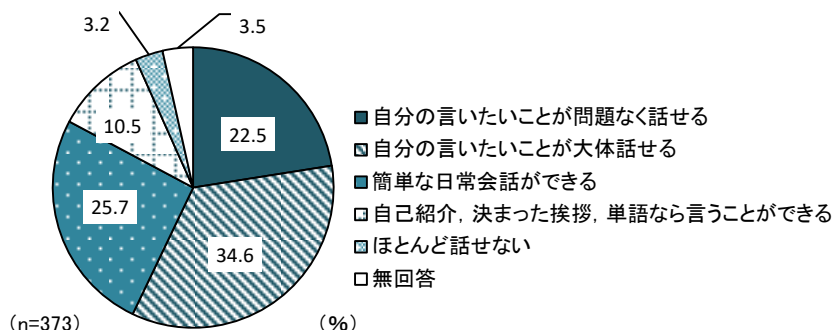
【国籍別 図】



日本語能力（自己評価）について、『話す』では「自分の言いたいことが大体話せる」が 34.6%と最も高くなっています。ついで、「簡単な日常会話ができる」が 25.7%、「自分の言いたいことが問題なく話せる」が 22.5%となっています。

◇話す

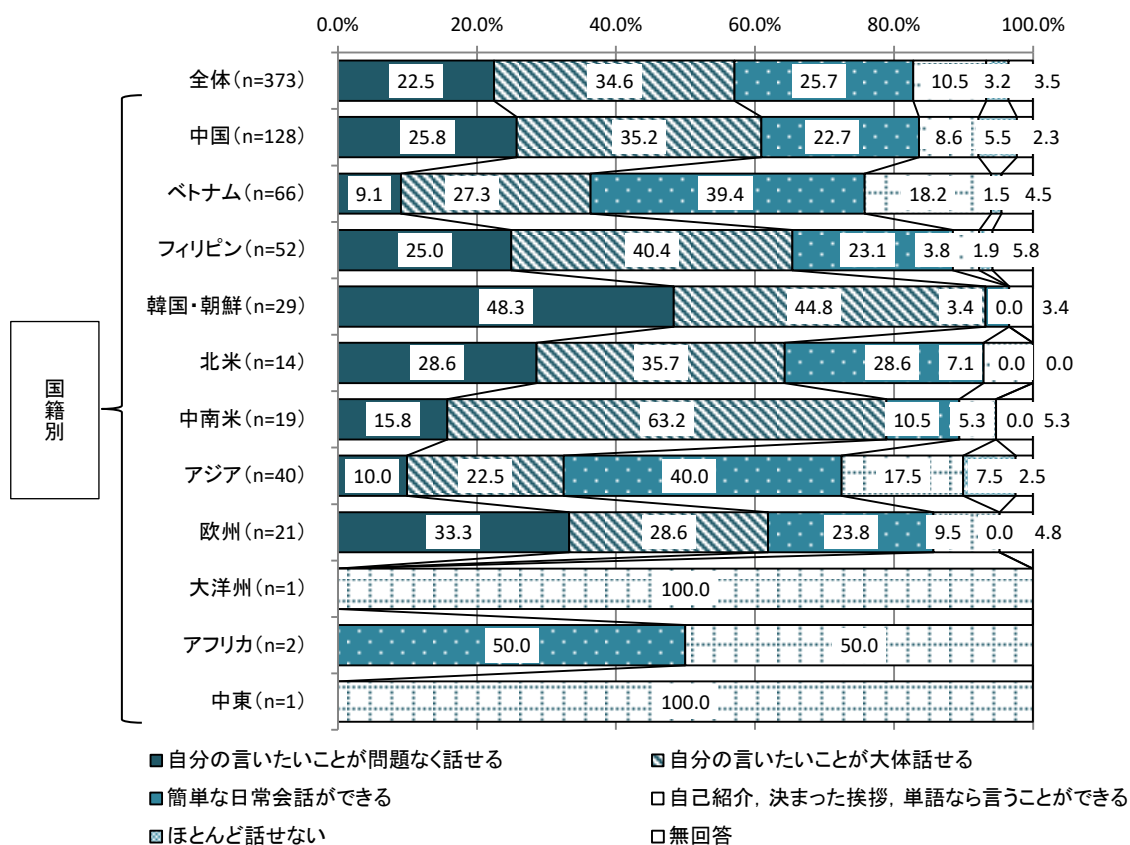
【全体 図】



国籍別でみると、最も高い回答数は下記の通りとなっています。

選択肢	国籍名
1. 自分の言いたいことが問題なく話せる	韓国・朝鮮, 欧州
2. 自分の言いたいことが大体話せる	中国, フィリピン, 北米, 中南米
3. 簡単な日常会話ができる	ベトナム, アジア
4. 自己紹介, 決まった挨拶, 単語なら言うことができる	
5. ほとんど話せない	

【国籍別 図】

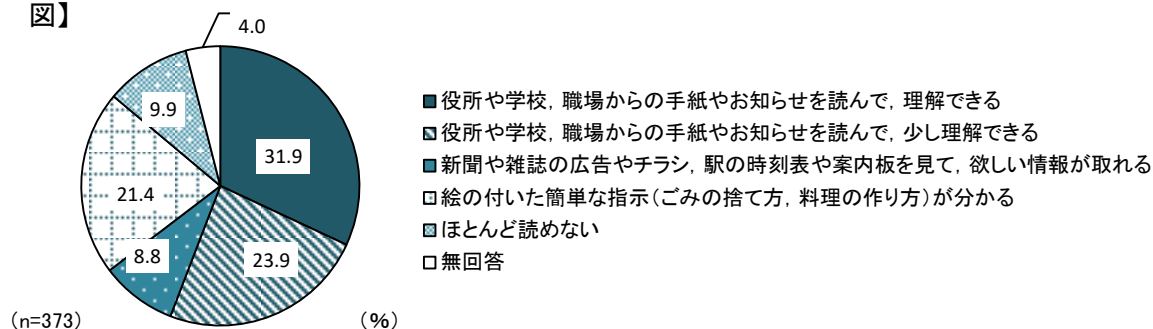


※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

日本語能力（自己評価）について、『読む』では「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」が 31.9%と最も高くなっています。ついで、「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる」が 23.9%、「絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる」が 21.4%となっています。

◇読む

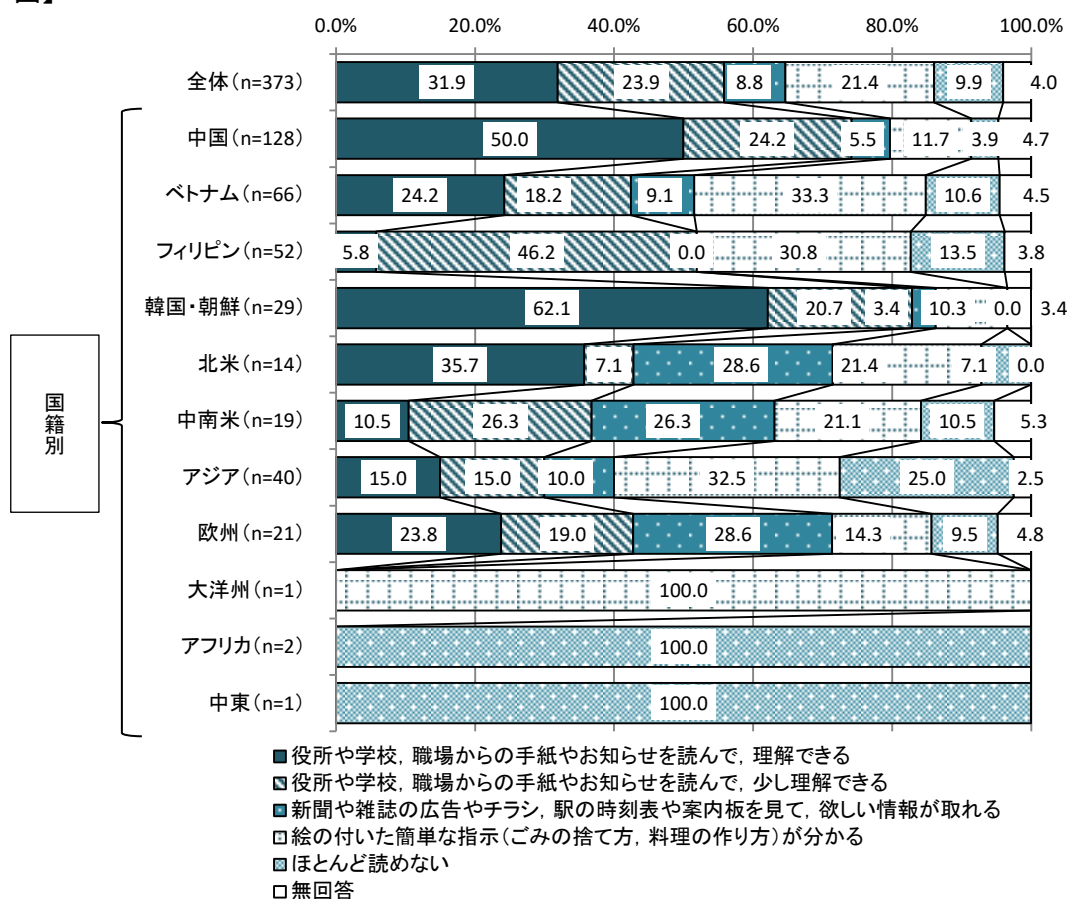
【全体 図】



国籍別でみると、最も高い回答数は下記の通りとなっています。

選択肢	国籍名
1. 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる	中国、韓国・朝鮮、北米
2. 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる	フィリピン、中南米（同率）
3. 新聞や雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる	中南米（同率）、欧州
4. 絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる	ベトナム、アジア
5. ほとんど読めない	

【国籍別 図】

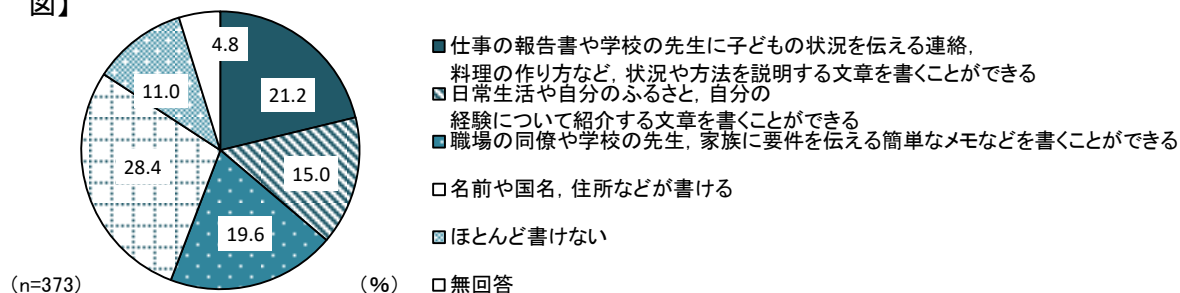


※回答数 n=10 以下は参考のために、掲載しています。

日本語能力（自己評価）について、『書く』では「名前や国名、住所などが書ける」が 28.4%と最も高くなっています。ついで、「仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡，料理の作り方など，状況や方法を説明する文章を書くことができる」が 21.2%，「職場の同僚や学校の先生，家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる」が 19.6%となっています。

◇書く

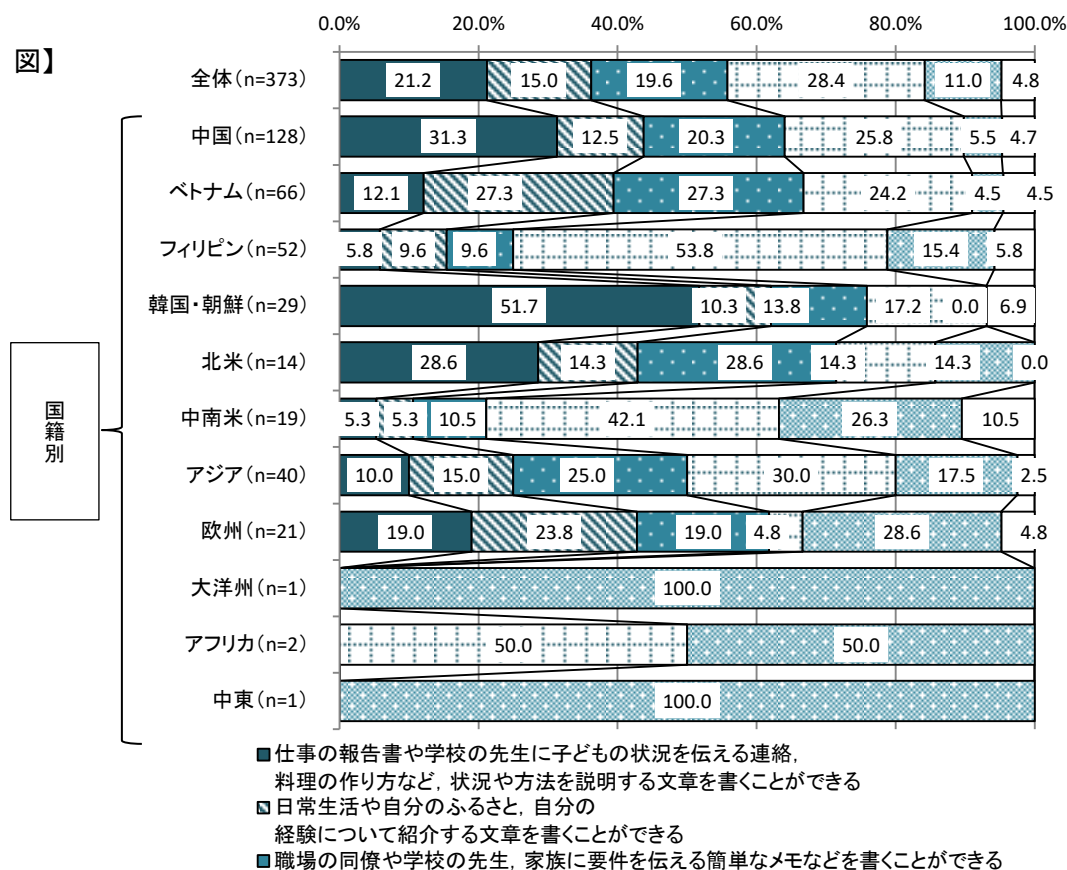
【全体 図】



国籍別でみると，最も高い回答数は下記の通りとなっています。

選択肢	国籍名
1. 仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡，料理の作り方など，状況や方法を説明する文章を書くことができる	中国，韓国・朝鮮，北米（同率）
2. 日常生活や自分のふるさと，自分の経験について紹介する文章を書くことができる	ベトナム（同率）
3. 職場の同僚や学校の先生，家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる	ベトナム（同率），北米（同率）
4. 名前や国名，住所などが書ける	フィリピン，中南米，アジア
5. ほとんど書けない	欧州

【国籍別 図】



※回答数 n=10 以下は参考のために，掲載しています。

Ⅲ 調査結果（外国人市民以外）

1. 企業

（1）御社の外国人就業者について

問1 御社で働く外国人就業者の国籍とその人数をお聞かせください。

【数字を記入】

就業者の国籍別人口について、「中国（1～19人）」が22件となっています。ついで、「ベトナム（1～19人）」が16件となっています。

【全体 表】

単位：件

	サ ン プ ル 数	0 人	1 ～ 19 人	20 ～ 39 人	40 ～ 59 人	60 ～ 79 人	80 ～ 99 人	100 人 以 上
中国	30	3	22	3	1	0	0	1
韓国	12	3	9	0	0	0	0	0
朝鮮	5	3	2	0	0	0	0	0
ベトナム	24	3	16	2	0	1	2	0
フィリピン	11	3	7	0	1	0	0	0
ブラジル	8	3	5	0	0	0	0	0
アメリカ	3	3	0	0	0	0	0	0
タイ	9	3	4	1	0	0	0	1
インド	5	3	2	0	0	0	0	0
インドネシア	5	3	1	0	1	0	0	0
ネパール	7	3	4	0	0	0	0	0
ペルー	7	3	4	0	0	0	0	0
台湾	6	3	3	0	0	0	0	0
イギリス	4	3	1	0	0	0	0	0
その他	23	3	19	1	0	0	0	0
不明	3	3	0	0	0	0	0	0

問2 外国人就業者の在留資格とその人数をお聞かせください。

【数字を記入】

就業者の在留資格について、「永住者（1～19人）」が18件となっています。ついで、「日本人の配偶者（1～19人）」が15件、「技能実習（1～19人）」が13件となっています。

【全体 表】

単位：件

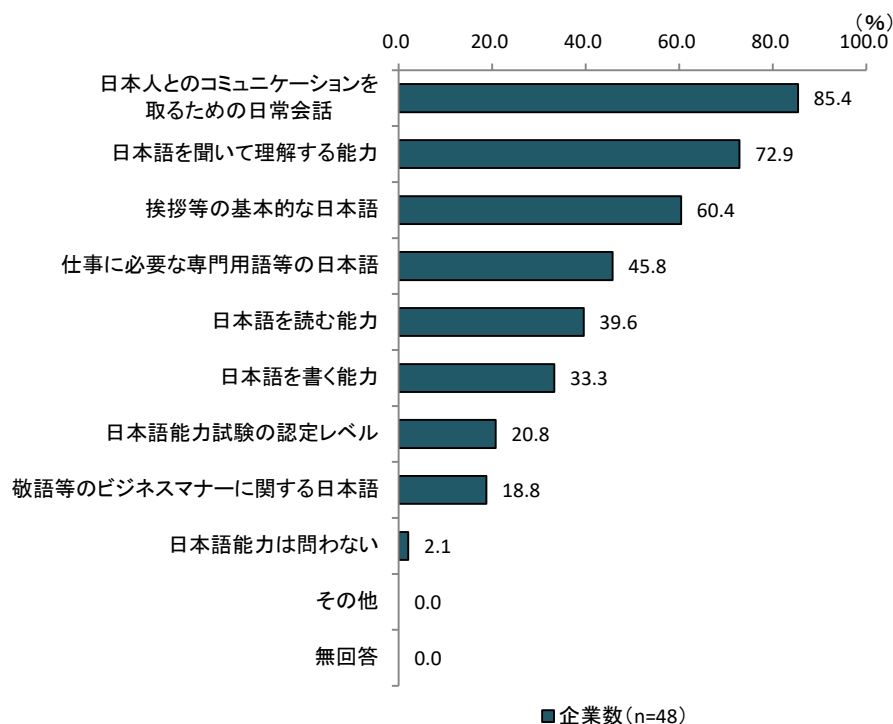
	サ ン プ ル 数	0 人	1 ～ 19 人	20 ～ 39 人	40 ～ 59 人	60 ～ 79 人	80 ～ 99 人	100 人 以 上
永住者	21	1	18	0	2	0	0	0
特別永住者	4	1	3	0	0	0	0	0
日本人の配偶者	16	1	15	0	0	0	0	0
永住者の配偶者	3	1	2	0	0	0	0	0
定住者	8	1	7	0	0	0	0	0
技能実習	23	1	13	3	2	1	1	2
外国籍だったが現在は日本国籍	5	1	4	0	0	0	0	0
その他	20	1	15	2	2	0	0	0

(2) 社内での日本語教室や日本語の研修について

問3 採用時に外国人就業者が働く上での日本語能力について、どのようなことを重要視しますか。
【あてはまるものすべてに○】

外国人就業者が働く上での重要視することについて、「日本人とのコミュニケーションを取るための日常会話」が85.4%と最も高くなっています。ついで、「日本語を聞いて理解する能力」が72.9%、「挨拶等の基本的な日本語」が60.4%となっています。

【全体 図】

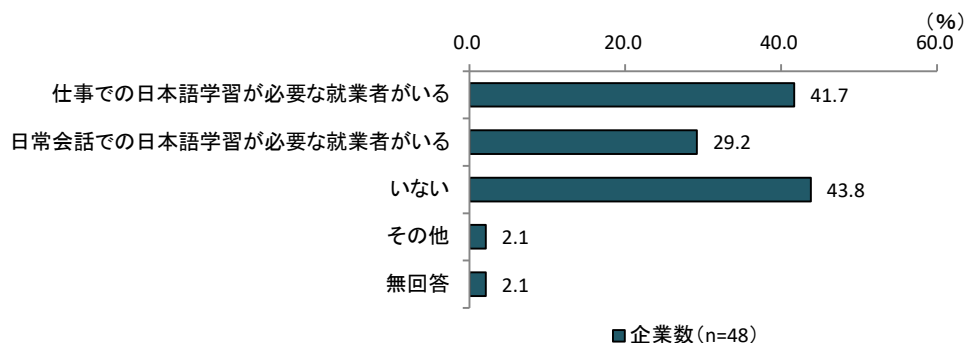


問4 御社の外国人就業者の中に、日本語学習が必要な就業者がいますか。

【あてはまるものすべてに○】

日本語学習が必要な就業者の有無について、「仕事での日本語学習が必要な就業者がいる」が41.7%、「日常会話での日本語学習が必要な就業者がいる」が29.2%となっています。また、「いない」が43.8%となっています。

【全体 図】

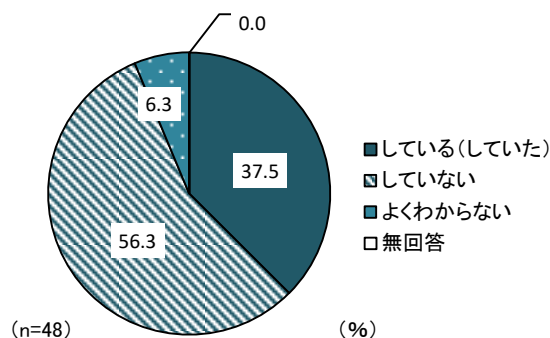


（３）社内での日本語教室や日本語の研修について

問５ 御社では日本語学習が必要な外国人就業者に対して、日本語学習を奨励・実施していますか（いましたか）。【○は１つ】

日本語学習が必要な外国人就業者に対しての日本語学習を奨励・実施について、「していない」が56.3%と最も高くなっています。ついで、「している（していた）」が37.5%となっています。

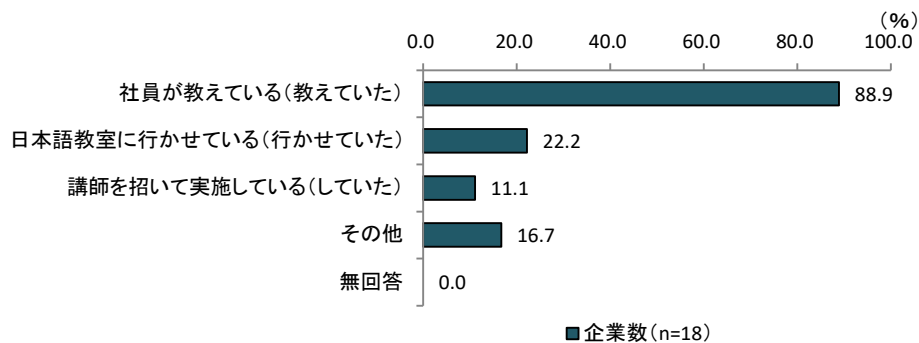
【全体 図】



問６ 御社での日本語教室や日本語の研修（以下、「日本語教室等」といいます。）は、どのように実施していますか（しましたか）。【あてはまるものすべてに○】

日本語教室や日本語の研修の実施状況について、「社員が教えている（教えていた）」が88.9%と最も高くなっています。ついで、「日本語教室に行かせている（行かせていた）」が22.2%、「講師を招いて実施している（していた）」が11.1%となっています。

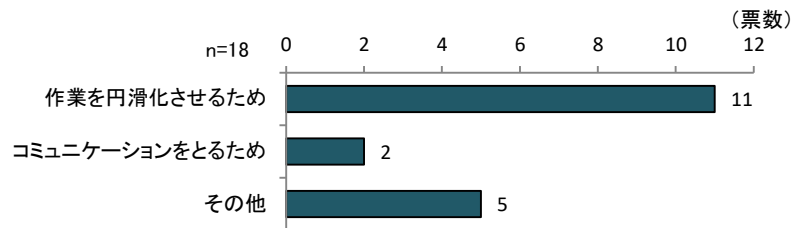
【全体 図】



問7 どのようなことに意義を感じ、御社で「日本語教室等」を実施している（した）のかをお聞かせください。（日本語教育の目的）【自由記述】

「日本語教室等」を実施している（した）意義について、意見を分類し、票数を下図にまとめたところ「作業を円滑化させるため」に分類されるものが11件と最も高くなっています。ついで、「コミュニケーションをとるため」が2件となっています。

【全体 図】



◇作業を円滑化させるため

意見
日本語が読めて、話せないと技術を教えられない為、日本語教室を開いて N2 を目標に教育している。
職員間の円滑なコミュニケーション。本人が今後も日本にて就労していきたい意志があるため。
建設業であるため、現場でケガがないように。また、仕事と覚えてもらうために専門的な用語を。標準語で勉強しているので、広島弁を。
仕事の円滑化。技能実習が終了し母国に帰ったときに、日本語を生かした仕事も選択できるようになってほしい。
業務指示の際必要（チームワーク）業務における報連相を適切に行う必要がある。外国人社員の独立を防ぎ、働きやすい職場環境とするため。
日本語の理解が仕事の理解に役立つと考えて・日本語検定の受験希望の方の支援として。
技能を少しでも、理解・習得してもらうためには、日本語レベルの向上が必要と考えるため。
業務及び日本生活の円滑化、帰国後の就業選定。
外国人観光客の増加にともない（特に台湾）採用しているので、日本人と同じレベルで接客をするため。
日常会話及び業務の為、実習法で定めてあるから。
仕事をよりしやすくなるよう（日本人とのコミュニケーションのため。）日本での生活をより快適にするために。

◇コミュニケーションをとるため

意見
社員が教える場は一定レベルの日本語を話せる社員を対象としており、半分はコミュニケーションの場として開いています。日常生活の様子や社内ですぐに困ったことなども聞ける良い機会です。
仕事、日常生活での不安を取り除くため、他の社員とのコミュニケーションのため。

◇その他

意見
社員が日本語を教えることで仕事上、必要な日本語を教えることが出来る。また、社員が教えていない細かい日本語は日本語教室で補完している。上記の日本語教育を継続することで仕事に必要な日本語を習得でき、将来的に帰国し現地関連企業で就業する際にも指示しやすく、現地の社員に弊社の意向を伝えコンセンサスを取りやすくなることに日本語教育の意義がある。
技能実習生として、実習を行う上での必要となる日本語能力を習得するため。
日本語を習得しなければ日本での実習は大変だと思う。出国時送出国は十分実習生に理解させるべきと思う。入国時受入機関も実習生に教育すべきと思う。
日本語学校の情報提供を行っていたが、教室より会社が実習生に学校の情報提供を行うことは止めてほしい連絡されたため、現在は行っていない。
基本的な生活のうえで必要な会話を理解させる。業務における日本語はそれ以降段階的に考える。

問8 「日本語教室等」の実施回数や曜日、時間についてお聞かせください。

日本語教室等の実施回数について、「1～3回」が7件となっています。ついで、「10回以上」が4件となっています。

実施日時と時間帯について、日時と時間帯を決めて実施している所や仕事の空き時間に実施する等、様々です。

◇日本語教室等の実施回数

1～3回	7件	7～9回	0件
4～6回	1件	10回以上	4件

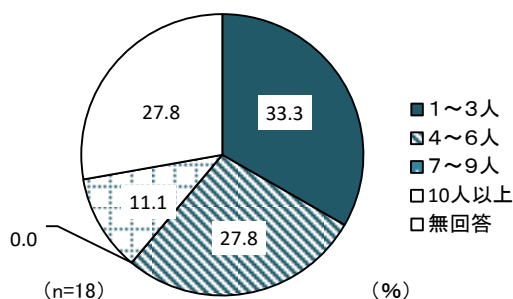
◇実施日時と時間帯

実施日時	時間帯
月曜日～日曜まで	7：20～8：20
主に土曜日に開催	8：00～12：00
火曜日	12：00～13：00
毎週月曜日、木曜日	16：00～17：00
就業時間の終了後、月に1回45分間	17：15～18：00
入社時の3ヶ月間研修を通じ行っている。	
不定期	
土・日の日本語教室参加促進、日本語検定前勉強会	
とくに定めていない	
1日1時間程度	
仕事のあきを見て	
平日、仕事の状況による	

問9 1回あたりの平均参加人数はどれくらいですか（でしたか）。【数字を記入】

1回あたりの平均参加人数について、「1～3人」が33.3%と最も高くなっています。ついで、「4～6人」が27.8%となっています。

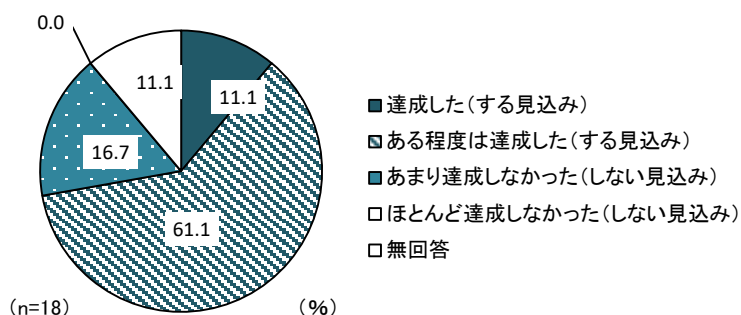
【全体 図】



問10 御社で日本語教室等を実施して、期待していた目的（問7）は達成されたと思われますか。（現在実施中の場合は、見込みでお答えください）。【〇は1つ】

日本語教室等を実施した際の目的達成について、「ある程度は達成した（する見込み）」が61.1%と最も高くなっています。ついで、「あまり達成しなかった（しない見込み）」が16.7%、「達成した（する見込み）」が11.1%となっています。

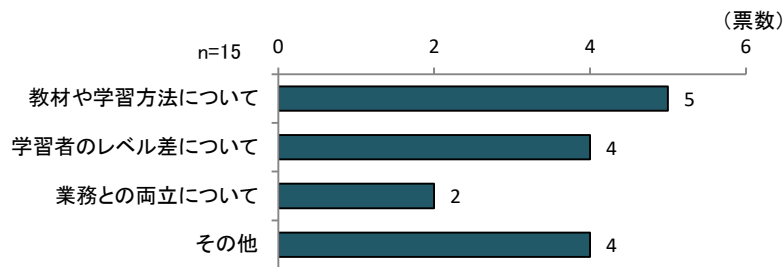
【全体 図】



問11 御社で日本語教室等を実施した際に苦勞したことや問題になったこと、課題等があればお聞かせください。【自由記述】

日本語教室等を実施した際に苦勞したことについて、意見を分類し、票数を下図にまとめたところ「教材や学習方法について」に分類されるものが5件と最も高くなっています。ついで、「学習者のレベル差について」が4件、「業務との両立について」が2件となっています。

【全体 図】



◇教材や学習方法について

意見
日本語教室だけでは不十分で、本人さんの自習も必要になる点。
良い教材が見つからず、苦勞した。
テキストだけでは集中力が続かない。映像コンテンツを含めた読み書き、日本語しりとゲーム等が有効と感じた。
音読により技術習得させるケースがあり、漢字が読めないことから研修全体に遅れが生じている。習得方法を考える必要を感じる。
N2, N3 のレベル別の学習法よく分からず合格者から話を聞いて対応している。(教育技術の選定)

◇学習者のレベル差について

意見
1人1人のレベルが違うので使うテキストなど迷うことはありますが、全員のコミュニケーションの場にしたいので全レベル同じ時間に実施します。
実習生によって、日本語を習得するレベルや意欲に差があるため当社が期待する日本語の習得レベルに到達しない者もいる。
社内実施レベルに到達するまでの本人の日本語習●
実習生の理解度に個人差がある。

◇業務との両立について

意見
業務の都合（シフト）の問題があり、継続して実施できなかった。
日本語を教える人材が専門部署でなく、兼務で対応したため日常業務との業務量のバランスが困難だった。

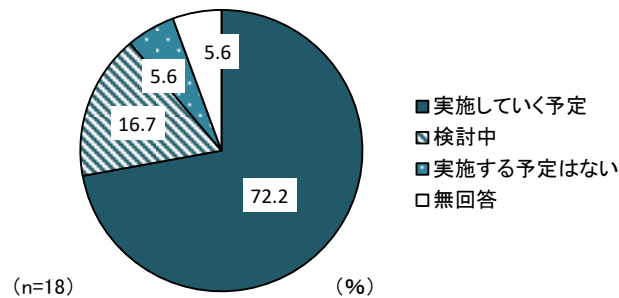
◇その他

意見
外国人就業者との意志の疎通をとることが難しい。
費用の面で苦勞している。
入社教育の際に特に専門用語で説明側も聞く側も苦勞する場面は少なからずある。
社内では指導者の力量的にも限界がある。実習法という立て前のルールでは実習生に意欲がない。

問12 今後、御社で日本語教室等を実施していく予定ですか。実施する理由や実施しない理由、過去に実施していた場合はやめた理由などもお聞かせください。【〇は1つ】

今後の日本語教室等の実施予定について、「実施していく予定」が72.2%と最も高くなっています。ついで、「検討中」が16.7%、「実施する予定はない」が5.6%となっています。

【全体 図】



【今後も日本語教室等を実施していく予定の理由】

意見
新しく入国したメンバーには、継続して実施していく必要があるため。
日本語能力試験合格のため。
着実に日本語のレベルが上がっているため。
入社時研修は必須としているため。
日本語検定受験への支援として続ける。
これまでと同様に、技能を習得してもらうために、日本語レベルの向上を図るため。
法律やルールの範囲内で行う コスト・時間共に余裕はない。
今後、外国人採用の予定ありのため。

【日本語教室等を実施する予定はない理由】

意見
適切な講師がいない。
今は個人で休日を利用して公民館などで日本語を勉強していると聞いている。その為 N3 合格者もいる。

問13 御社で日本語教室を実施している（していた）場合、またはすると仮定した場合、どの日本語能力を重視しますか。優先順位（1～8）を書いてください。【数字を記入】

日本語能力を重視する優先順位について、「【仕事での】聞く」が 6.81 点と最も高くなっています。ついで、「【日常会話での】聞く」が 6.23 点、「【仕事での】話す」が 6.00 点となっています。

仕事や日常会話での差は見られず、どちらも『日本語を聞く』能力を重要視しています。

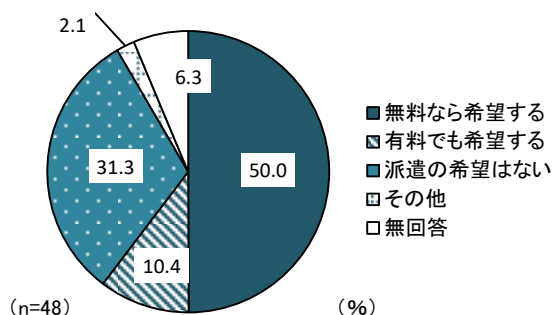
※選択された 1～8 位までの各項目の票数に対して、1 位：8 点、2 位 7 点、3 位：6 点、4 位：5 点、5 位：4 点、6 位：3 点、7 位 2 点、8 位：1 点の得点をかけ合わせ、合計得点を算出した後、平均値で順位付けを行いました。

順位	項目	平均値
1 位	【仕事での】聞く	6.81 点
2 位	【日常会話での】聞く	6.23 点
3 位	【仕事での】話す	6.00 点
4 位	【日常会話での】話す	5.50 点
5 位	【仕事での】読む	3.93 点
6 位	【日常会話での】読む	3.50 点
7 位	【仕事での】書く	2.33 点
8 位	【日常会話での】書く	1.96 点

問14 御社で日本語教室を実施している（していた）場合、またはすると仮定した場合、日本語教師の派遣について、どう思われますか。【○は1つ】

日本語教師の派遣について、「無料なら希望する」が 50.0%と最も高くなっています。ついで、「派遣の希望はない」が 31.3%、「有料でも希望する」が 10.4%となっています。

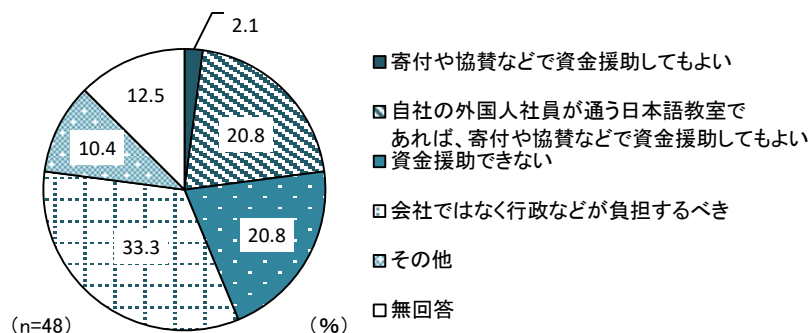
【全体 図】



問15 地域の日本語教室への資金などの援助について、どう思われますか。【〇は1つ】

地域の日本語教室への資金などの援助について、「会社ではなく行政などが負担すべき」が 33.3%と最も高くなっています。ついで、「自社の外国人社員が通う日本語教室であれば、寄付や協賛などで資金援助してもよい」と「資金援助できない」が 20.8%、「寄付や協賛などで資金援助してもよい」が 2.1%となっています。

【全体 図】



問16 他の団体（県，市，ひろしま国際センター・広島平和文化センター，日本語教育機関，日本語教室等）との連携や交流をしている取組等があればお聞かせください。【自由記述】

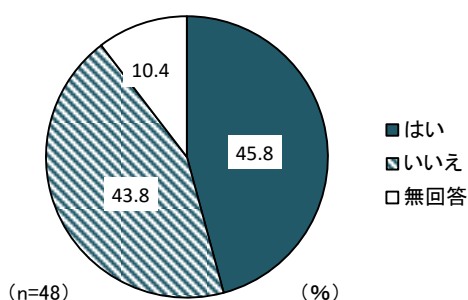
他の団体との連携や交流をしている取組等について、下記の通りとなっています。

他の団体との連携や交流をしている取組等
広島タイ交流協会の懇親会に出席させている。
外国人技能実習生受け入れ機関と連携し、日常生活等のサポートを実施。
中国にある子会社から来た実習生の何人かはひろしま国際センターで日本語を勉強しているが、寮から通うのが大変で毎週行くのが無理な所もある。もっと近所に勉強でき場所があったから助かる。
セミナー等に参加している。

問17 日本語教育において、他の団体（県，市，ひろしま国際センター・広島平和文化センター，日本語教育機関，日本語教室等）の情報があれば、積極的に活用し、連携や交流をしたいと思いますか。また、その理由をお聞かせください。【〇は1つ】

他団体との連携や交流希望について、「はい」が 45.8%となっています。ついで、「いいえ」が 43.8%となっています。

【全体 図】



【他団体との連携や交流を希望する理由】

◇日本語教育力向上のため

意見
日本語教育のノウハウを勉強したい。
日本語能力の向上は、仕事をする上で有用である。
ノウハウを活用したい。
日本語で話せない方への教育のため。
日本語力向上は双方にとって重要なことと考えるため。

◇会社では限界があるため

意見
自社では、難しいため。
一つの企業で行うにはノウハウがないため。
仕事上教えられるレベルに限度があるため。

◇日本の文化学習のため

意見
ひろしまの歴史を少しでも学習してもらいたい。
日本の文化や日本語を広めたい。

◇日本語学習の情報を知るため

意見
地域ごとに、日本語教室等が開催されるのであれば、そこで他社の方と、情報交換を実施する場になると思うから。
日本語教育が必要又は希望する者への情報として。

◇その他

意見
取り組みの内容やコストパフォーマンスによっては、連携や交流をしたい。
本人が自主的に参加できるため。
今後、外国人労働者を必要とする事前計画。

【他団体との連携や交流を希望しない理由】

◇連携や交流の必要性を感じないため

意見
現状必要性なし。
必要性を感じない為。
現時点では必要ではないため。
現在必要としていない。
緊急性がないため。
仕事上でのコミュニケーションが最優先なのでそこまでの必要を感じない。

◇外国人雇用者がいないため

意見
会社に日本語教育が必要な外国人がいない。
外国人の雇用の予定がないため。
現状、外国人就業者がいない為。

◇その他

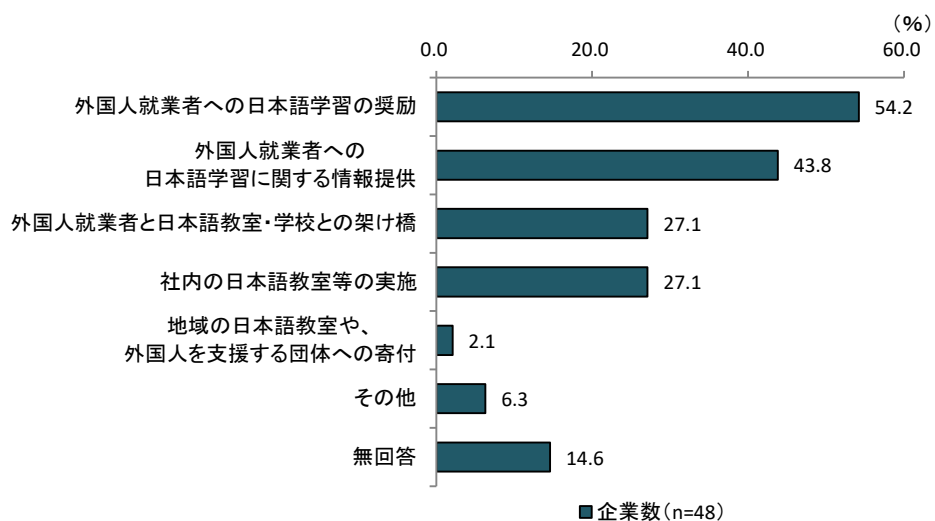
意見
不良日本人、外国人と話すとう失踪の原因になる。
学生アルバイトなので既にコミュニケーションが取れる人しか採用していない。
企業側からすれば業務が出来れば日本語能力は関係ない実習生制度に関しては、積極的に日本語教育を行おうとする企業は少ないのでは？

問18 企業は日本語教育に対してどのような役割を果たすべきだと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

企業の日本語教育に対しての役割について、「外国人就業者への日本語学習の奨励」が 54.2%と最も高くなっています。ついで、「外国人就業者への日本語学習に関する情報提供」が 43.8%、「外国人就業者と日本語教室・学校との架け橋」と「社内の日本語教室等の実施」が 27.1%となっています。

【全体 図】



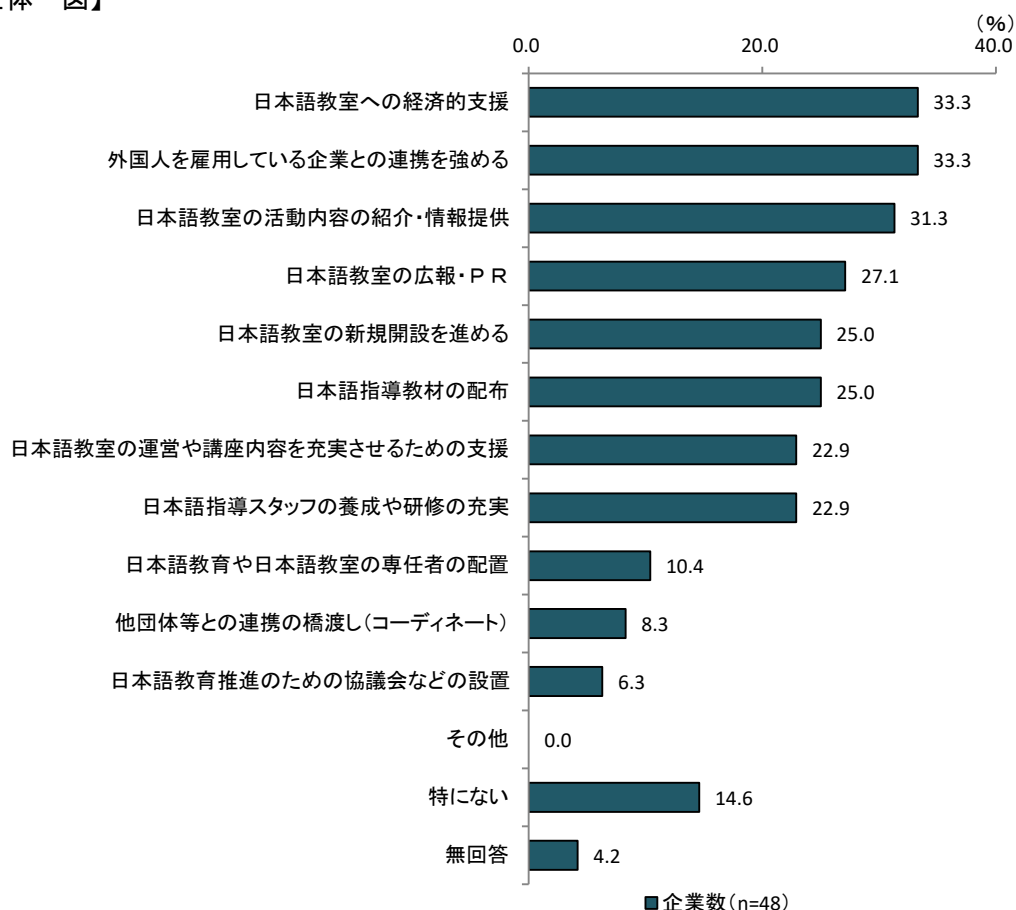
（４）広島市に期待することや市の日本語教育推進計画への期待について

問19 今後、広島市内の日本語教育について、市にどのような施策を期待しますか。

【あてはまるものすべてに○】

市に期待する施策について、「日本語教室への経済的支援」と「外国人を雇用している企業との連携を強める」が 33.3%と最も高くなっています。ついで、「日本語教室の活動内容の紹介・情報提供」が 31.3%、「日本語教室の広報・PR」が 27.1%となっています。

【全体 図】



問20 広島市における日本語教育推進計画の策定に期待することがあればお書きください。

【自由記述】

広島市における日本語教育推進計画の策定に期待することについて、下記の通りとなっています。

広島市における日本語教育推進計画の策定に期待すること
技能実習生の場合、N4 程度が話せる人材以外は入国させない様にしてほしい。パスポートを持たない（失踪者）外国人が母国語しか話せない実習生に失踪をそそのかす為。
研修生を受け入れるにあたり、思ったよりコストがかかるので、できれば行政などからの補助を期待する。
日本語教室について、勤務時間外（休日や夜間）などの開設。費用も低価格で本人負担しやすいと良いと思う。
現在も、地域のボランティアでの日本語教室へ通っている実習生がおります。そういう教室がどこにあり、いつ授業をしているか調査して教えて欲しい。
実習生に関してだが、企業は「労働力確保」、実習生は「出稼ぎ」、国・行政は「税収」が目的だと思う。そこに日本語教育と言って誰が必要だと思うのでしょうか？上記目的だけで言えば日本語は必要ではないのです。受入側の環境整備をすれば。特に中小零細企業において、売手市場、働き方改革等経営環境が悪化している中で、日々の業務を遂行するだけで精一杯。外国人への日本語教育を考える余裕はない事を国・行政は理解すべき。

2. 日本語学校

(1) 貴機関（日本語学校）の概要について

問1 貴機関の概要についてお答えください。

◇講座の対象者

講座の対象者	留学生 1 位（3 件）
--------	--------------

◇学習者の男女別人数【全講座合計】※2019 年 9 月 1 日時点

男性		女性		計	
1～49人	1 件	1～49人	2 件	1～49人	1 件
50～99人	2 件	50～99人	2 件	50～99人	1 件
100人以上	1 件	100人以上	0 件	100人以上	2 件

◇学習者の国籍別・年齢別人数【全講座合計】※2019 年 9 月 1 日時点

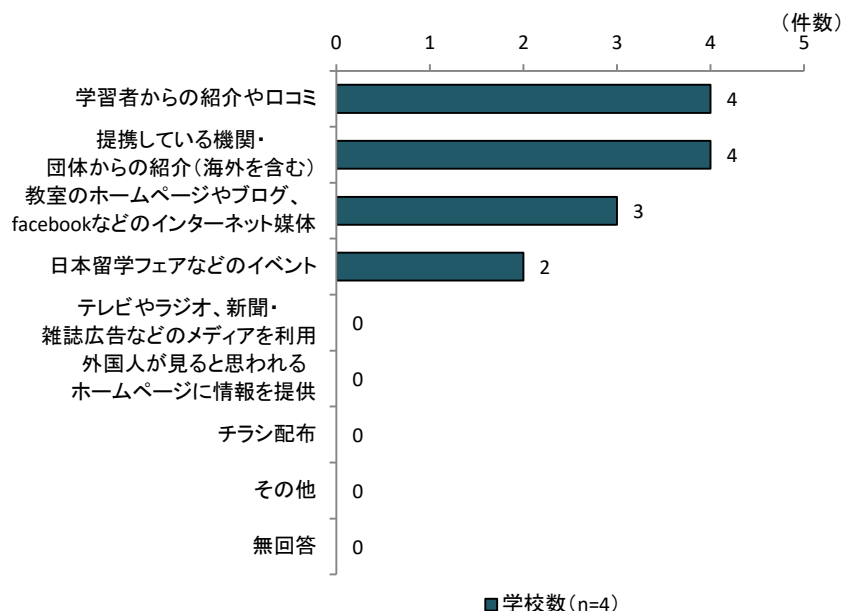
国籍	1～9 人	10～19 人	20～49 人	50～99 人	100～149 人	150 人以上
中国	2 件				1 件	
韓国	1 件					
ベトナム			2 件	1 件	1 件	
アメリカ	1 件					
タイ	1 件					
インド	2 件					
インドネシア	1 件					
ネパール	2 件	1 件				
台湾	1 件	1 件				
イギリス	1 件					
その他	2 件					
合計			1 件	1 件		2 件

※回答がない箇所は削除しています。

問2 学習者の募集方法を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

学習者の募集方法について、「学習者からの紹介や口コミ」と「提携している機関・団体からの紹介（海外を含む）」が4件となっています。

【全体 図】



問3 貴機関が掲げる日本語教育の目的（理念・方針）について教えてください。【自由記述】

貴機関の日本語教育の目的（理念・方針）について、下記の通りとなっています。

貴機関の日本語教育の目的（理念・方針）
日常会話から大学受験まで、知識はもちろん、実践を通じて使える日本語を習得する。
他者との学び合いを通じ、物事を様々な角度から考えられる人を育てる。異文化を尊重できる心を育てる。
国籍や民族が異なる学習者が尊い個人として日本を理解し、日本の文化に触れ、日本の社会に一時的であれ、溶けこんでいけることを最終目標としている。
目標 1. 自分自身の再発見 2. 国際的な感覚の養成 3. 夢の実現のサポート

問4 貴機関の特色（強み）を教えてください。【自由記述】

貴機関の特色（強み）について、下記の通りとなっています。

貴機関の特色（強み）
各自のゴールを設定し、アットホームな雰囲気の中で自己実現を目指す。先生達が熱心で親切、チームワークがいい。併設校の日本人高校生や地域の方々との交流を通じて生きた日本語・広島弁に触れる。ネイティブスタッフと教職員による学生へのサポート体制が充実、徹底されている。地域活動、課外活動が充実している・学生募集の際、本校スタッフが現地まで行き、本人のみならず保護者とも面談するため、入学者、エージェントの質が高い。日本語能力が不足していると感じる意欲の高い学生に対して、日本語学科卒業後、さらに日本語能力を一年かけて強化する環境が提供できる。
レベル別のクラスで、自分に合ったレベルのクラスで学べる。
非漢字圏の学生が多くなり、毎日漢字のマスターに力を入れている。

問5 貴機関では、現在の「外国人への日本語教育（特に成人向け）」にはどのような課題があると認識されていますか。【自由記述】

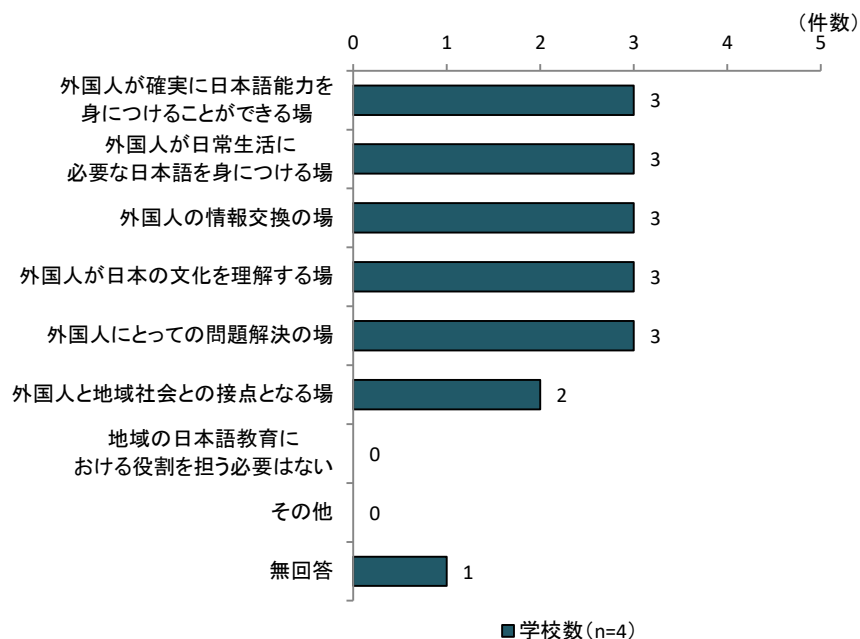
「外国人への日本語教育（特に成人向け）」への課題について、下記の通りとなっています。

「外国人への日本語教育（特に成人向け）」への課題
アルバイトとの両立。計画的ではない妊娠。学生にとって勉学と授業料を捻出するためのアルバイトのバランスをとることは難しい。留学生が日本の生活に慣れるため、様々な指導を行っているが、受け入れる側の日本人、日本社会にその準備、覚悟がないように思う。もっと留学生と地域の人に触れ合える機会が増えれば。頻繁に変わる国や受け入れ先の制度。こちらが注意していないと変わったことに気づかず、学生が不利益を被ることも。日本語学校で学ぶ留学生が実践的に習った日本語を使う場面が限られていること。市町村などを連携して、定期的に日本語を使う機会を創設できないか。
ニーズの多様性。日本語力の向上。
日本語教師の教授法の向上。

問6 日本語教育機関（大学，日本語学校等）が地域の日本語教育において果たす役割にはどのようなものがあるとお考えですか。【あてはまるものすべてに○】

日本語教育機関が果たす役割について、「外国人が日本語を身につけることができること」や「外国人の情報交換・日本の文化を理解する場」，が目的として挙げられています。

【全体 図】



(2) 実施体制と日本語教師のスキルアップ等について

問7 貴機関で活動されている日本語教師、運営・事務スタッフの人数を教えてください。

※2019年9月1日時点【数字を記入】

日本語教師、運営・事務スタッフの人数について、「10～19人」が3件となっています。

国籍	合計		有償無資格者		有償有資格者	
日本語教師 (日本人)	1～9人		1～9人		1～9人	
	10～19人	3件	10～19人		10～19人	3件
	20～29人		20～29人		20～29人	
	30人以上	1件	30人以上		30人以上	1件
日本語教師(外国人)	1～9人	1件	1～9人		1～9人	1件
	10～19人		10～19人		10～19人	
	20～29人		20～29人		20～29人	
	30人以上		30人以上		30人以上	
運営・事務局スタッフ	1～9人	4件	1～9人	4件	1～9人	
	10～19人		10～19人		10～19人	
	20～29人		20～29人		20～29人	
	30人以上		30人以上		30人以上	
合計	1～9人		1～9人		1～9人	
	10～19人	1件	10～19人		10～19人	
	20～29人	2件	20～29人		20～29人	
	30人以上	1件	30人以上		30人以上	

※無償無資格者と無償有資格者のスタッフ該当なし。

問8 日本語教師のスキルアップのために、貴機関として行っていることがあれば教えてください。

【自由記述】

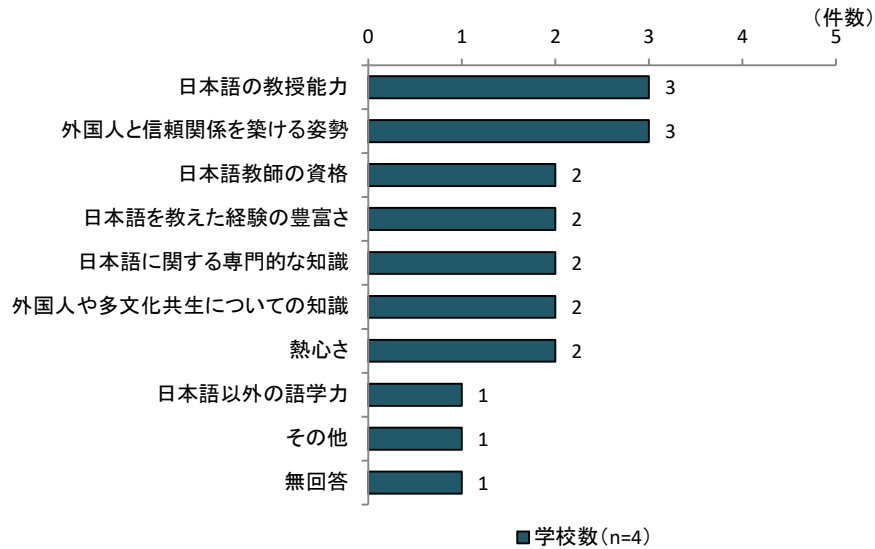
日本語教師のスキルアップのため行っていることについて、下記の通りとなっています。

日本語教師のスキルアップのため行っていること
春休みと夏休みに OJT につなげる研修を行っています。
学内での研修実施 (ITC, 読解授業について)。学外の研修参加を積極的に行っている。
研修会への参加

問9 日本語教師に求める能力や姿勢などについて教えてください。【あてはまるものすべてに○】

日本語教師に求める能力や姿勢について、「日本語の教授能力」と「外国人と信頼関係を築ける姿勢」が3件となっています。

【全体 図】

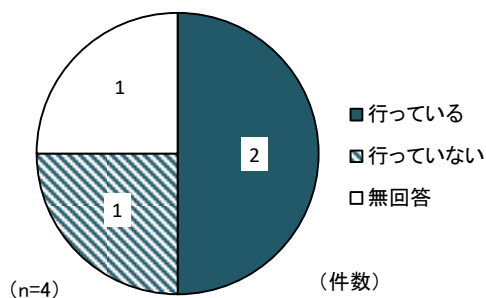


（３）他団体との連携や今後について

問10 日本語教育に関して、他の団体（県，市，企業，大学，NPO，日本語教室等）との連携や交流を行っていますか。【〇は1つ】

他の団体（県，市，企業，大学，NPO，日本語教室等）との連携や交流について、「行っている」が2件となっています。

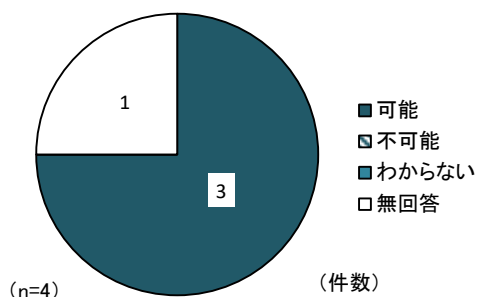
【全体 図】



問11 今後、地域の日本語教室等，他団体から連携や交流，もしくは何らかの協力の依頼があった場合，応じることは可能ですか。【〇は1つ】

協力依頼の可・不可について、「可能」が3件となっています。

【全体 図】

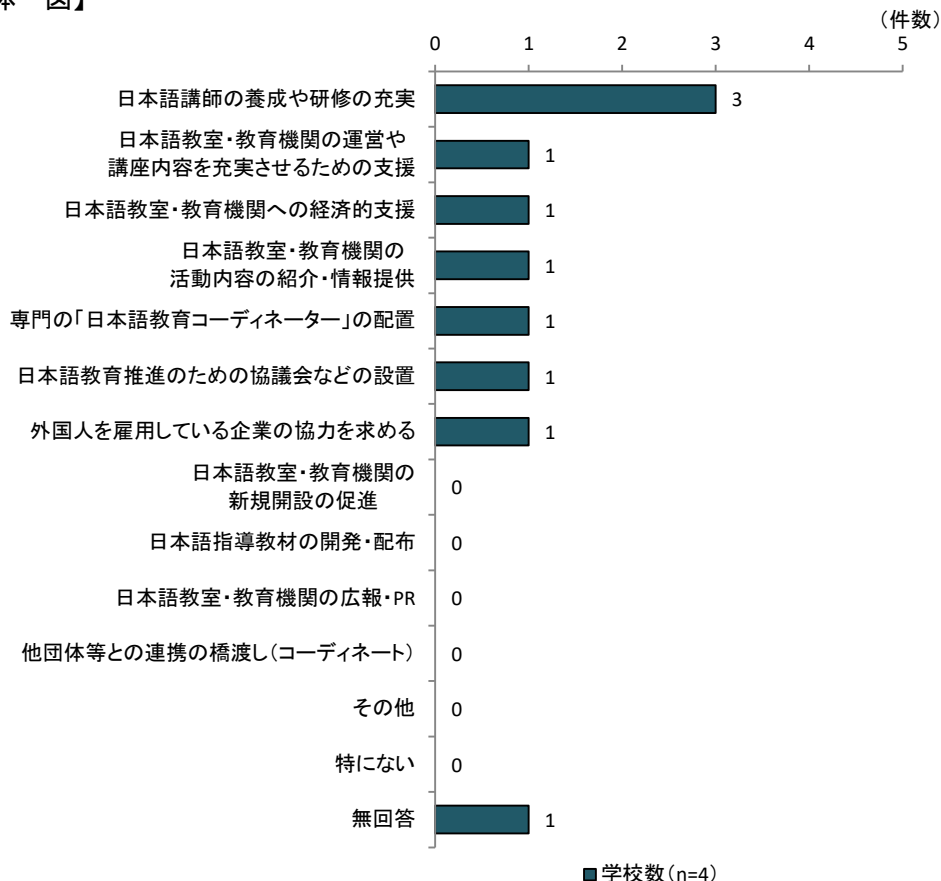


（４）広島市に期待することや市の日本語教育推進計画への期待について

問12 今後、広島市内の日本語教育について、市にどのような施策を期待しますか。
【あてはまるものすべてに○】

市に期待する施策について、「日本語講師の養成や研修の充実」が3件となっています。

【全体 図】



問12-1 問12で8.9.に○をされた方へ 日本語教育コーディネーターに期待することは何ですか。【自由記述】

日本語教育コーディネーターに期待することについて、下記の通りとなっています。

日本語教育コーディネーターに期待すること
日本語学校との協力体制 留学生以外の日本語教育を必要とする広島市民の洗い出しと日本語教育の対策 外国人受け入れを検討している企業へのアドバイザー業務 外国人受け入れをしている企業のカウンセリング業務など
日本語教育についての専門的な知識を持っていること。地域の日本語教室について理解し、問題解決やアドバイスができること

問13 広島市における日本語教育推進計画の策定に期待することがあればお書きください。【自由記述】

日本語教育推進計画の策定に期待することについて、下記の通りとなっています。

日本語教育推進計画の策定に期待すること
これから増える外国人が「広島は住みやすい町である」と思えるような施策を講じるべき。そのためには、体制作りも重要だが、広島市民の外国人に対する理解を促進する役割も担ってほしい。
ボランティアができることには限界がありますので、地域の日本語教育が持続できるシステムを作ってほしい。

3. 日本語教師養成機関

(1) 貴機関の日本語教師養成講座概要について

問1 貴機関の日本語教師養成講座概要についてお答えください。	
(1) 講座開設時期	当時のスタッフがおらず不明確ですが20年以上前から開講しております。
(2) 講座の内容 (授業科目数, 授業時間, 代表的な授業名, 教員数等)	420H 単位 (109回 × 3 時間) (日本語教師養成総合講座)
(3) 受講者の年齢別人数 ※2019年9月1日時点	トータルで150名。(年齢別人数は不明。)

問2 受講者の募集方法を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

回答	1. ホームページやブログ, facebook などのインターネット媒体 2. テレビやラジオ, 新聞, 雑誌広告などメディアを利用 5. 学習者からの紹介や口コミ
----	--

(2) 貴機関の日本語教師養成講座目的等について

問3 貴機関が掲げる日本語教師養成の目的(理念・方針)について教えてください。【自由記述】	
自由記述	現場にたつための実践力をみにつけるため教授法をバランスよく学習ができると思います。理論と実践を同時に学んでいきますので知識習得だけでなく実際の場面でどのようにいさせるのか体系的に学べる所が特徴だと思います。

問4 貴機関が養成しようとしている日本語教師とはどのような教師ですか。【自由記述】

自由記述	日本語教育で求められる判断力, 対応力, 柔軟性をもちあわせている教師。
------	--------------------------------------

問5 日本語教師養成機関が地域の日本語教育において果たす役割とはどのようなものだと思いますか。【自由記述】

自由記述	広島も年々, 外国の方の人口が増えており「日本語教師」の需要も注目されてきていると思います。広島で外国の方がよりよい生活ができるためのサポートができる役割だと考えます。
------	--

(3) 他団体との連携や今後について

問6 日本語教育に関して, 他の団体(県, ひろしま国際センター・広島平和文化センター, 企業, 大学, NPO, 日本語教室等)との連携や交流を行っていますか。【○は1つ】	
回答	2. 行っていない
その理由	校舎としては行ってませんが, 受講生, 修了生は行っています。

(4) 広島市に期待することや市の日本語教育推進計画への期待について

問7 今後, 広島市内の日本語教育について, 市にどのような施策を期待しますか。 【あてはまるものすべてに○】	
回答	1. 日本語教室・教育機関の新規開設の促進 3. 日本語教室・教育機関への経済的支援 11. 外国人を雇用している企業の協力を求める

4. 日本語教室

(1) 教室の概要について

問1 教室の概要についてお答えください。

学習者の男女別人数について、『男女合計数』では「1～19人」と「20～39人」が7件となっています。

学習者の国籍別・年齢別人数について、「中国（1～9人）」が9件となっています。ついで、「フィリピン（1～9人）」が7件となっています。

◇学習者の男女別人数【全講座合計】※2019年9月1日時点

男性		女性		計	
1～19人	13件	1～19人	8件	1～19人	7件
20～39人	1件	20～39人	6件	20～39人	7件
40人以上	1件	40人以上	1件	40人以上	2件

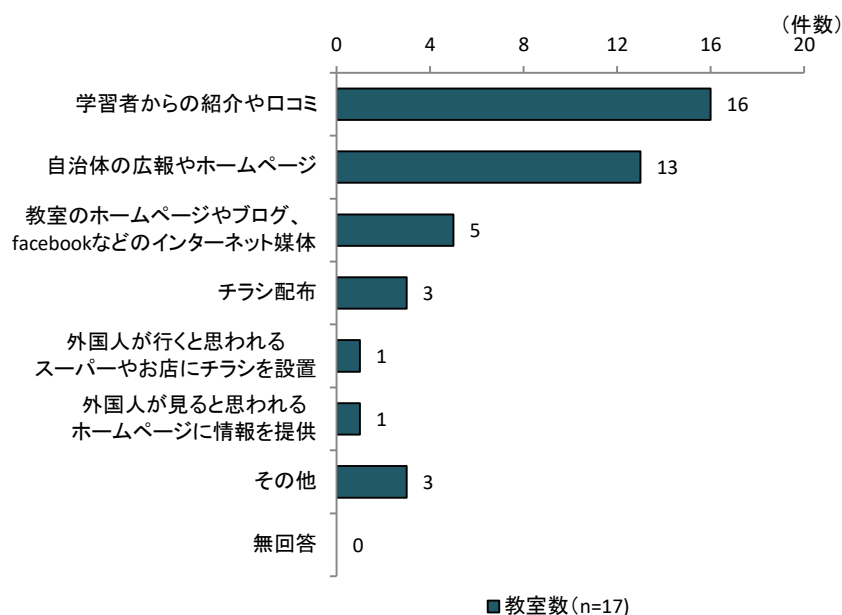
◇学習者の国籍別・年齢別人数【全講座合計】※2019年9月1日時点

国籍	1～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100～149人	150人以上	合計値
中国	9件	1件	1件				114人
韓国	5件						20人
ベトナム	5件	1件	2件				139人
フィリピン	7件		1件				53人
ブラジル	2件						3人
アメリカ	4件	1件					19人
タイ	5件						22人
インド	5件		1件				40人
インドネシア	5件						11人
ネパール	1件	1件					20人
ペルー	2件						5人
台湾	6件						17人
イギリス	2件						5人
その他	8件		1件				64人
不明	1件	1件					13人
合計	2件	4件	6件			1件	545人

問2 学習者の募集方法を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

学習者の募集方法について、「学習者からの紹介や口コミ」が16件となっています。ついで、「自治体の広報やホームページ」が13件、「教室のホームページやブログ、facebookなどのインターネット媒体」が5件となっています。

【全体 図】



問3 貴日本語教室の実施日時についてお答えください。

教室実施日時と時間帯について、平日の午前中に実施している教室が多くなっています。

◇教室実施日時と時間帯

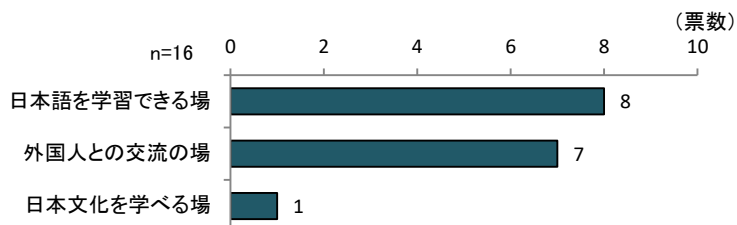
教室実施日時	時間帯		件数
日曜日	午前	9 : 30～12 : 30	
		10 : 00～12 : 00	
水曜日	午前	9 : 30～12 : 30	
		10 : 00～12 : 00	2 件
	午後	13 : 30～15 : 30	
木曜日	夜	18 : 30～20 : 00	
金曜日	午前	10 : 00～12 : 00	
		10 : 30～13 : 00	
	夜	18 : 00～19 : 30	
土曜日	午前	10 : 00～11 : 30	
		10 : 00～12 : 00	2 件
	午後	13 : 00～16 : 00	
		13 : 30～15 : 30	
		13 : 30～16 : 30	
	夜	18 : 00～21 : 00	
留学生は各学校授業時間・広島市福祉センター	午前	10 : 00～12 : 00	

（２）貴日本語教室について

問４ 貴日本語教室が掲げる目的（理念・方針）について教えてください。【自由記述】

貴日本語教室が掲げる目的（理念・方針）について、意見を分類し、票数を下図にまとめたところ「日本語を学習できる場」に分類されるものが８件と最も多くなっています。ついで、「外国人との交流の場」が７件、「日本文化を学べる場」が１件となっています。

【全体 図】



◇日本語を学習できる場

意見
日本語学習を必要とする外国人に、学びの場/機会を提供する。
日本語を母語としない人達への日本語支援及び日常生活に対する支援、地域市民として日本の社会生活に馴染む様に、企業の実習生には日本語検定 N4. 3. 2. 1 各受験の為の対応など。
日本に暮らす外国人が必要とする言葉などを手助けする。日常生活に必要な情報の発信。
毎日の生活ですぐに使える日本語を楽しく学ぶ。すべてのレベルに対応し、学習屋のニーズに合わせて学習できる環境。
近隣地域に定住又は滞在する外国人の日本語修得をサポートし、日常生活の支援を目指す。
日本語を母語としない人を対象とした日本語指導および支援活動。一日も早く日本の生活に慣れ地域に溶け込んでいけるようサポートする。
日本語圏を広める。学習者とボランティアは対等な立場。留学生が日本滞在を密とするようサポートする。
草の根の国際交流を目指すボランティア活動として、地域に在住する外国人に対し、日本語の習得を手助けしながら、相互認識と理解を深めることを目的とする。

◇外国人との交流の場

貴日本語教室が掲げる目的（理念・方針）
日本語で楽しくコミュニケーション。地域の人々との会話を楽しもう。
広島で生活する外国人の日本語学習支援。多文化交流の推進。
地域の日本語学習者を支援し、交流する。その活動を通じて、地域の多文化共生に寄与する。
広島に在住する外国人等を対象に、日本語指導員及び日本文化の紹介を通じて、外国の人達と交流し、相互理解を図る。
「出会い、ふれ合い、学びあい」
外国人を対象に日本語指導と日本文化の紹介を通して外国の人々と交流し相互理解を深めることを目標にする。
日常会話、日本の習慣の勉強。学習者が孤独にならないよう、コミュニケーションをとる。

◇日本文化を学べる場

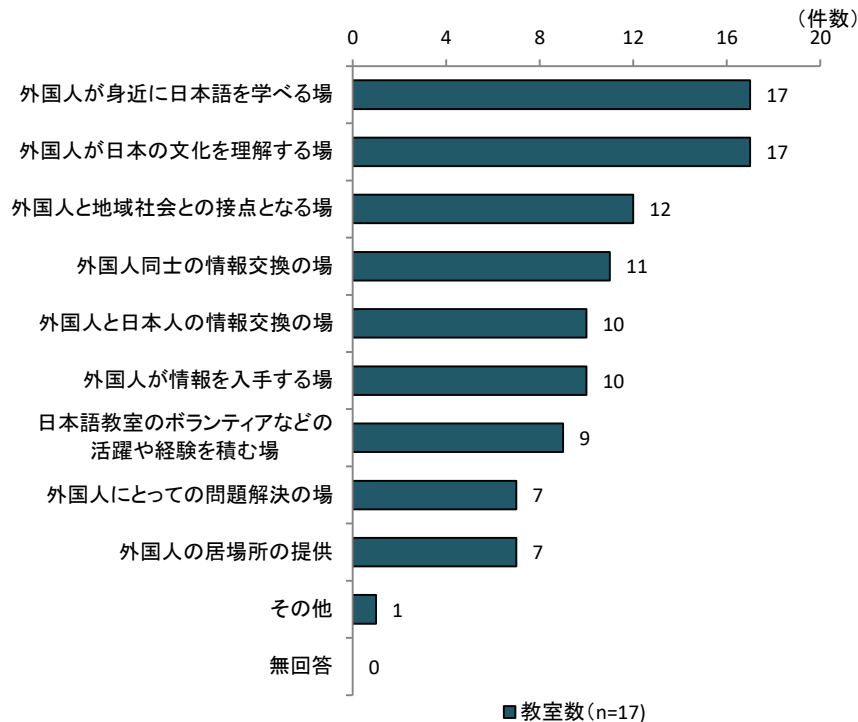
貴日本語教室が掲げる目的（理念・方針）
日本文化及び日本人への理解。

問5 貴日本語教室に求められている役割とはどのようなものだと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

貴日本語教室に求められている役割について、「外国人が身近に日本語を学べる場」と「外国人が日本の文化を理解する場」が17件となっています。ついで、「外国人と地域社会との接点となる場」が12件、「外国人同士の情報交換の場」が11件となっています。

【全体 図】

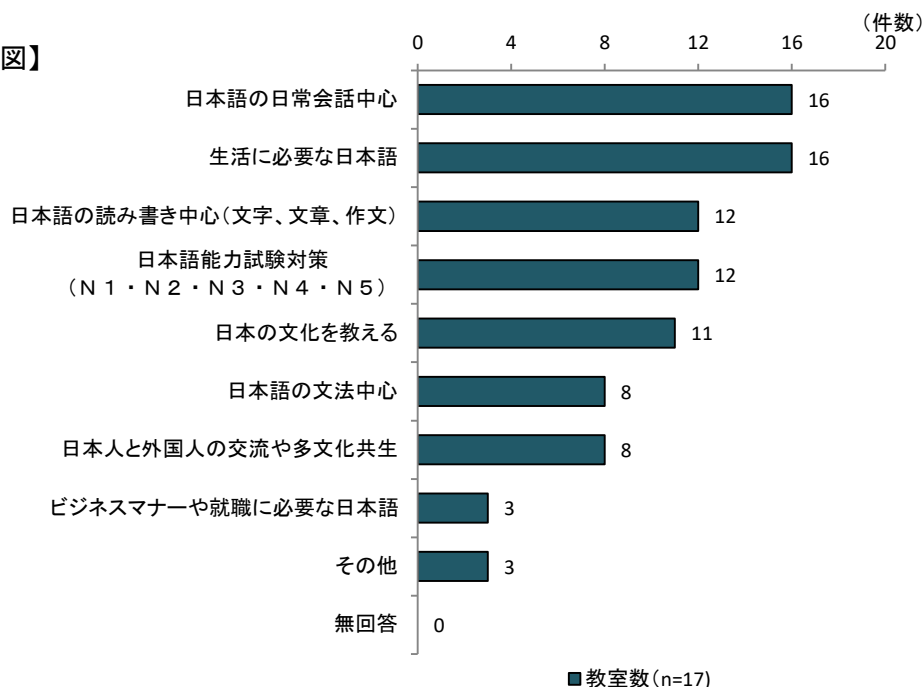


(3) 活動内容と学習者の日本語の上達度合いの判断について

問6 教室の活動内容を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

教室の活動内容について、「日本語の日常会話中心」と「生活に必要な日本語」が16件となっています。ついで、「日本語の読み書き中心（文字、文章、作文）」と「日本語能力試験対策（N1・N2・N3・N4・N5）」が12件となっています。

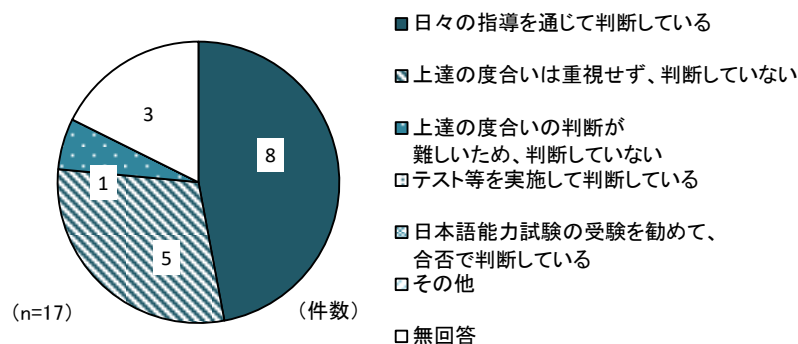
【全体 図】



問7 日々の学習において、学習者の日本語の上達度合いをどのように判断していますか。【〇は1つ】

学習者の日本語の上達度合いについて、「日々の指導を通じて判断している」が8件となっています。ついで、「上達の度合いは重視せず、判断していない」が5件となっています。

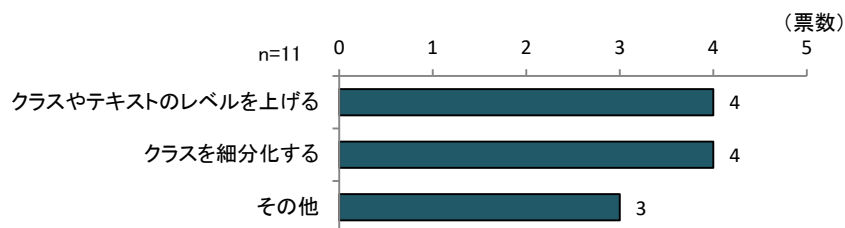
【全体 図】



問8 上達の度合いを判断した後、どのような対応をしていますか。【自由記述】

上達の度合いを判断した後の対応について、意見を分類し、票数を下図にまとめたところ「クラスやテキストのレベルを上げる」と「クラスを細分化する」に分類されるものが4件となっています。

【全体 図】



◇クラスやテキストのレベルを上げる

意見
上のレベルのクラスに上げる。
市販のテキストを応用し高度を上げている。
ニーズに応じて課題に取り組む、次のステップに進む。
上級クラスのテキストに移る。

◇クラスを細分化する

意見
レベル、ニーズ、学習者の希望を考えて、小グループに分かれて学習している。
3つのクラス（レベル別）にわけける。
「日々の指導を通じて判断している」に印をつけたが、判断する基準やテストがあるわけではなく担当したボランティアが、様子を見ながら次の課に進めているというのが現状。「上達の度合いは重視せず、判断していない」の状態にあると言ってもいいかもしれない。
クラスが①ビギナー（上・下クラス）②初級③中級と実質4つあるのでそれぞれの先生方が判断し移動させる。（上クラスへと）

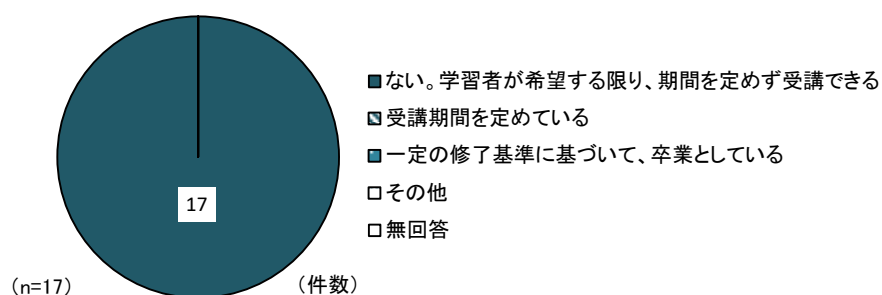
◇その他

意見
日本語能力試験に挑戦して貰いその対策をする。
カリキュラムに合っているか、再度カリキュラムのチェックをします。
本人の希望を聞き、復習や、さらに進んだ学習をする。

問9 教室には、修了（卒業）の基準がありますか。【○は1つ】

修了（卒業）の基準について、「ない。学習者が希望する限り、期間を定めず受講できる」が17件となっています。

【全体 図】



(4) 貴日本語教室の実施体制と日本語ボランティアスタッフのスキルアップ等について

問10 貴日本語教室で活動されている日本語ボランティアスタッフの人数を教えてください。

※2019年9月1日時点【数字を記入】

日本語ボランティアスタッフの人数について、『男性』は「1～4人」が11件、『女性』は「5～9人」が9件となっており、男性と比べて女性スタッフの人数がやや多くなっています。

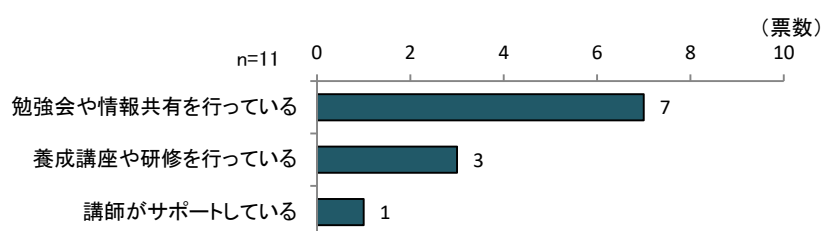
◇日本語ボランティアスタッフの人数※2019年9月1日時点

	合計			
男性	1～4人	11件	5人以上	1件
女性	1～4人	2件	5～9人	9件
	10～19人	3件	20人以上	2件

問11 日本語ボランティアスタッフのスキルアップのために、教室として行っていることがあれば教えてください。【自由記述】

スタッフのスキルアップのために行っていることについて、意見を分類し、票数を下図にまとめたところ「勉強会や情報共有を行っている」に分類されるものが7件となっています。ついで、「養成講座や研修を行っている」が3件となっています。

【全体 図】



◇勉強会や情報共有を行っている

意見
定期的に教室内で研修をしている。ベテランスタッフが講師役になり、新しいスタッフが模擬授業をしてそれに対してみんなで意見を出し合う形で進めている。(具体的な教え方を学べる場がないので、最近、始めたばかり)
わからない時はお互いに教え合う。日本語の講座がある時などの情報の提供。
自主勉強会を実施。(2回/月、文法中心に指導方法の再確認)
入会時の研修と入会後の勉強会。会員どうしでの問題提起。
学習時間が終わったあとのミーティングでわからなかったことなどを話し、知恵を出し合う。
月1回の学習会
毎回1時間のミーティングをして、当日の学習者さんの様子を報告。それぞれのクラス担当者が授業報告をする。不明な所があれば、お互いに意見を交換し、知識をたかめる。

◇養成講座や研修を行っている

意見
広島市平和文化センターの養成講座に参加。令和元年8月4、10、17、24、31日の5回教室にて養成講座開催。現在までに養成講座を98、01、02、03、06年の5回開催。
広島平和文化センター主催の研修に参加。
教室でスキルアップの講習をしている。

◇講師がサポートしている

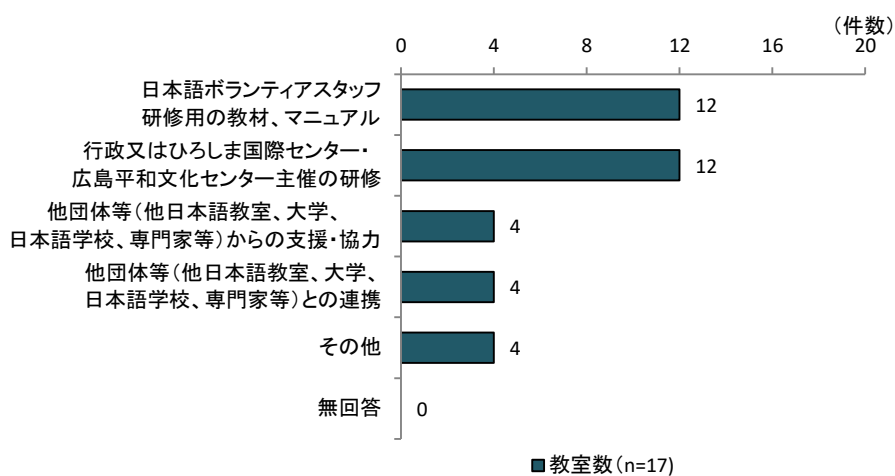
意見
教室内で教えているボランティアを YMCA 講師がサポートしています。教室が終わった後も、質問などに答えて、新人ボランティアさんも困らないようにサポートしています。

問12 日本語ボランティアスタッフのスキルアップのためにあると望ましいと思うものはありますか。

【あてはまるものすべてに○】

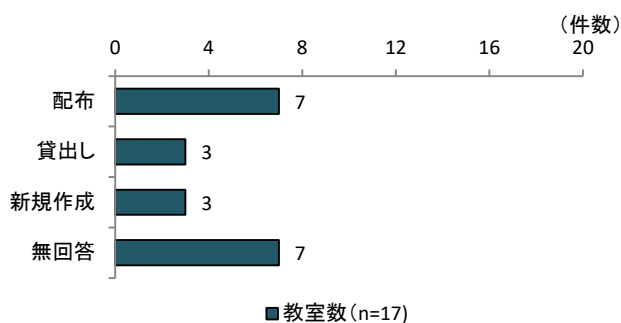
スタッフのスキルアップのために望ましいと思うことについて、「日本語ボランティアスタッフ研修用の教材、マニュアル」と「行政又はひろしま国際センター・広島平和文化センター主催の研修」が 12 件となっています。

【全体 図】



◇日本語ボランティアスタッフ研修用の教材、マニュアルについて

研修用の教材やマニュアルについて、「配布」が 7 件となっています。

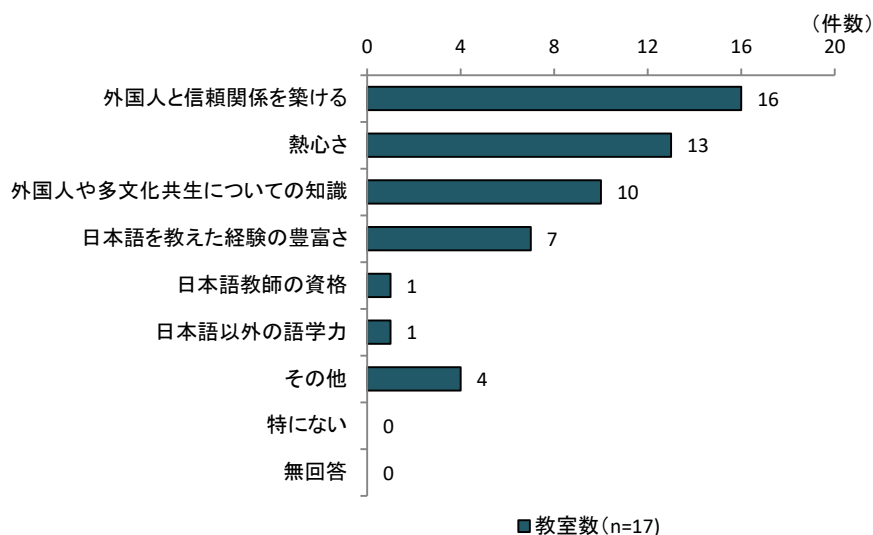


問13 日本語ボランティアスタッフに求める能力や姿勢などについて教えてください。

【あてはまるものすべてに○】

スタッフに求める能力や姿勢について、「外国人と信頼関係を築ける」が16件となっています。ついで、「熱心さ」が13件、「外国人や多文化共生についての知識」が10件となっています。

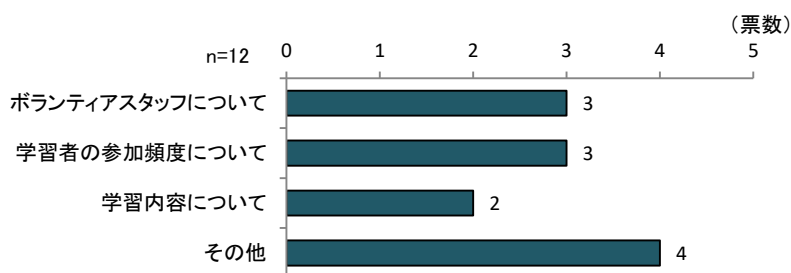
【全体 図】



問14 日本語を教えていて困っていることがあればお書きください。【自由記述】

日本語を教えていて困っていることについて、意見を分類し、票数を下図にまとめたところ「ボランティアスタッフについて」と「学習者の参加頻度について」に分類されるものが3件となっています。

【全体 図】



◇ボランティアスタッフについて

意見
ボランティアの中には「キャリアの肩書」が降ろせなくて「上から目線」の人。教材が高く購入が大変。指導するのではなく共に学び、共に楽しむと云う基準が備わっていない人。
ボランティアスタッフの人員。
ボランティア、学習者ともに流動的で定着しない。

◇学習者の参加頻度について

意見
生徒が仕事を持っているので毎週教室に来られない。
学習者が長続きしない。ある程度（3～6ヶ月）位で少しことばを習得すると来なくなる。必要性がうすれるのか又仕事が多忙になるのか？
学習者が固定しないので、その日の出席状況によって、グループ分け、担当者の決定などあわせてる状況が多々ある。日本語のレベルに応じた指導をするために必要な力量の不足。簡単な単語を使ってわかり易く説明するのが難しい。

◇学習内容について

意見
日本語の何が分からないのか、アンケートを取りたい
基本的な文法（外国の人にこれだけは伝えたいもの）を教えてほしい。一番基礎的なもので、教え方を学びたい以上のことがわからないので、常に悩む。

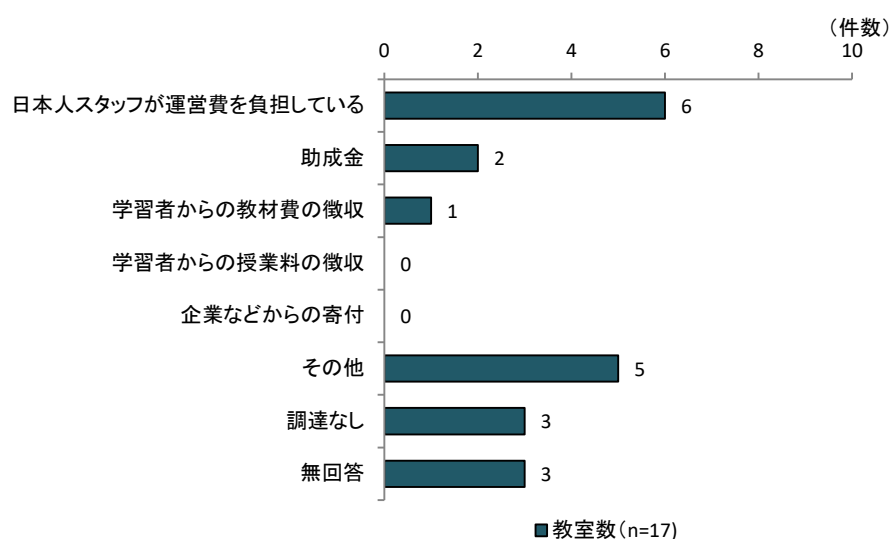
◇その他

意見
日本語を教える上で難しいとされる、ビギナー学習者を指導できるスタッフが不足している。コピー代/その他絵カードなどの教材費、スタッフの交通費などすべてボランティア負担で行政からは何の援助もない。
教室の予約が取りにくい。（12月は1回も予約が取れず教室を開く事が出来ない）教室の確保。
レベル別の教室の中でも、レベルが違うので、そこをどう指導するかで悩んでいる。
1）会場の確保（朝9：00に留学生会館に電話するが、かなり大変である。又、会館側の都合で教室予約ができない時、休講にするしかない。）2）せめてコピー代くらいの予算がとれないか。3）又、駐車場代も大変。4）教材代が少しでもあれば、ずい分助かる。

問15 運営費をどのように調達していますか。

運営費の調達方法について、「日本人スタッフが運営費を負担している」が6件となっています。

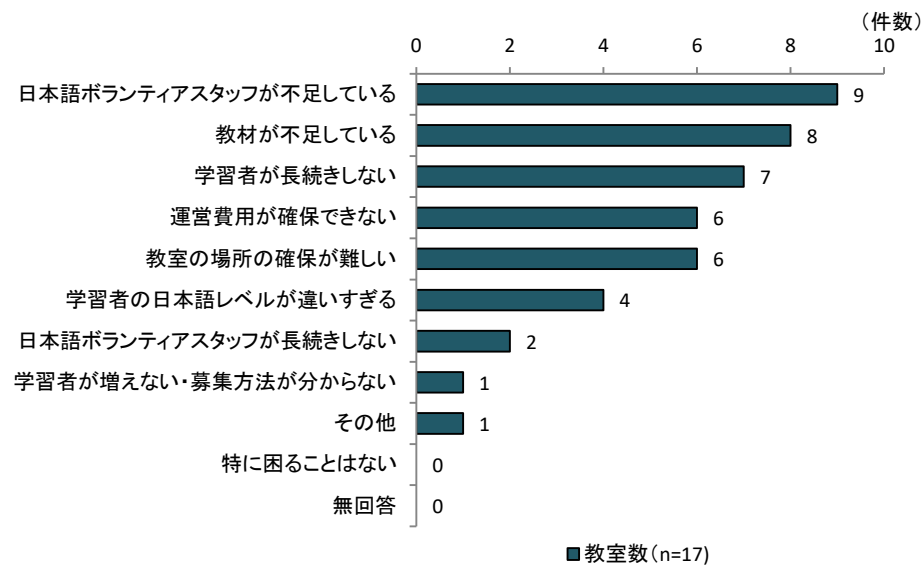
【全体 図】



問16 教室の運営で、困っていることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

教室の運営で困っていることについて、「日本語ボランティアスタッフが不足している」が9件となっています。ついで、「教材が不足している」が8件、「学習者が長続きしない」が7件となっています。

【全体 図】

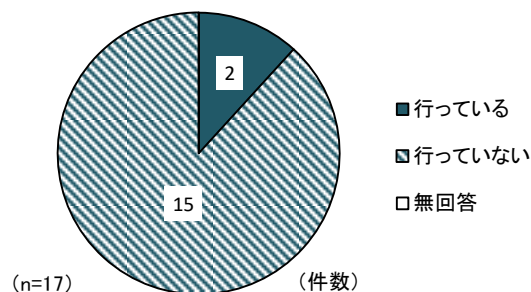


（５）他団体との連携や今後について

問17 他の団体や日本語教室との連携や交流を行っていますか。【○は1つ】

他の団体や日本語教室との連携や交流について、「行っていない」が15件となっています。

【全体 図】



【連携や交流を行っている】

◇連携を行っている団体や交流内容

意見
①広島平和文化センター（養成講座参加及び教室紹介）②伴，伴東学区連合子供会，児童，保護者，学習者ボランティア，イベント参加者等約80～100名，国際交流会
昔，日本語ボランティア協力員会という集まりがあり，そこで知り合った方。個人的な情報交換程度ですが，他グループが開催する研修会に参加することもある。

【連携や交流を行っていない理由】

◇時間が取れないため

意見
スタッフが活動日以外で交流のための時間をとるのが難しいため。
時間がとれないため。

◇連携や交流の必要性を感じないため

意見
ボラの人数も少なく，その必要性を感じない。
学校内での活動の為。
特に理由はない。強いて言えば必要と感じたことがないから。

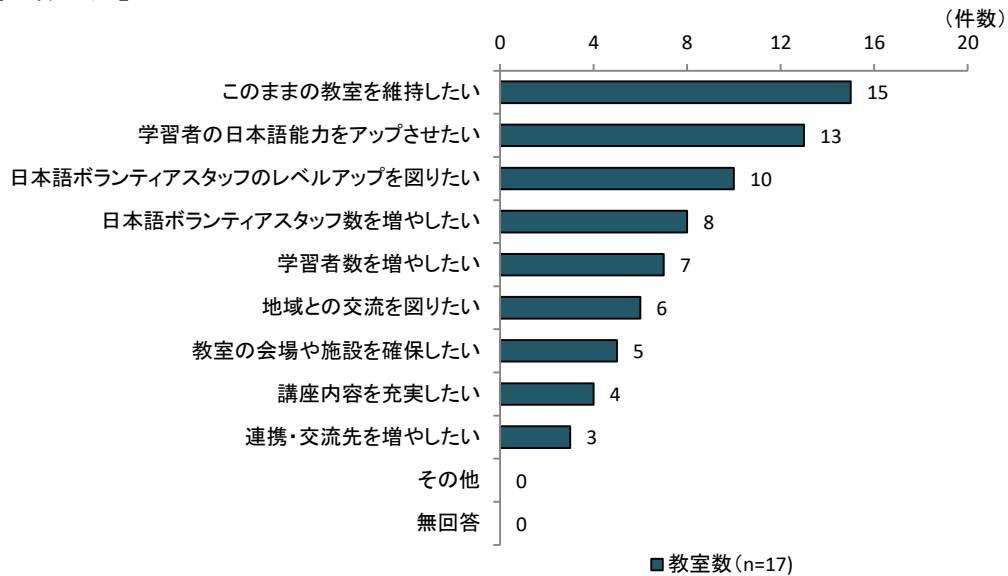
◇連携や交流の機会がないため

意見
機会がない。
以前は交流があったが，担当者が変わり交流なし。

問18 今後、教室をどのようにしていきたいとお考えですか。【あてはまるものすべてに○】

今後の教室の運営について、「このままの教室を維持したい」が 15 件となっています。ついで、「学習者の日本語能力をアップさせたい」が 13 件、「日本語ボランティアスタッフのレベルアップを図りたい」が 10 件となっています。

【全体 図】



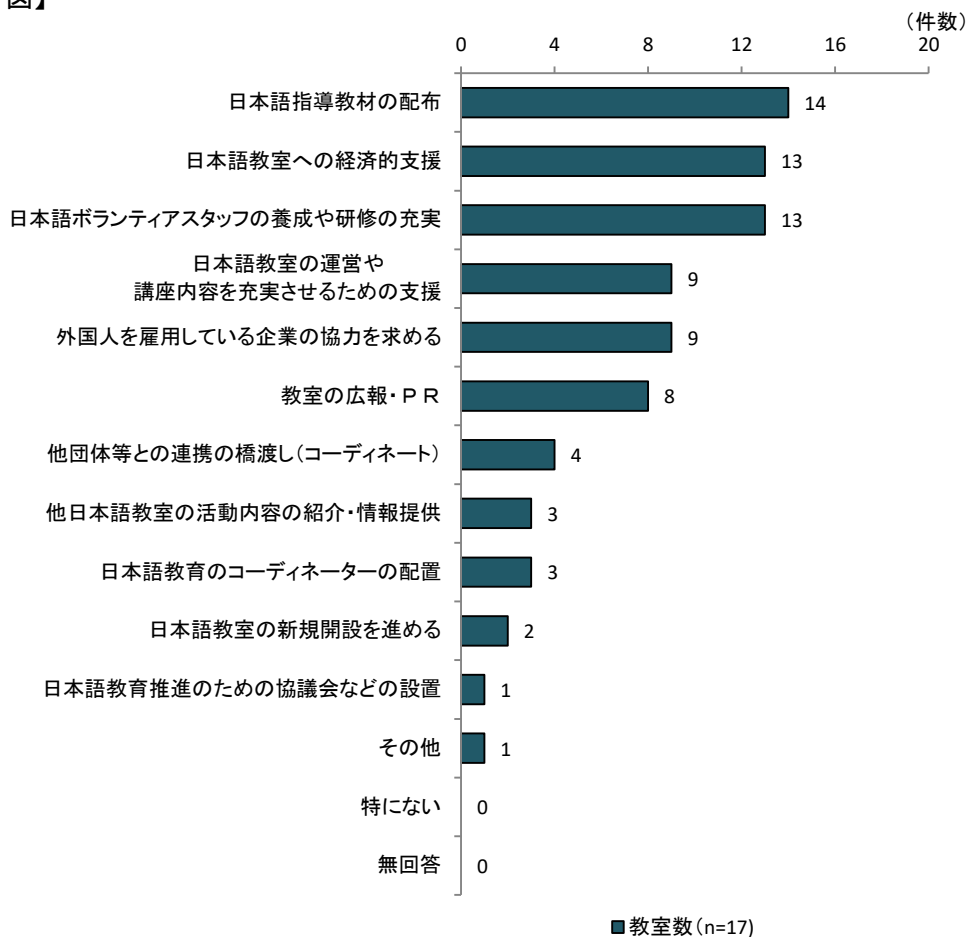
（６）広島市に期待することや市の日本語教育推進計画への期待について

問19 今後、広島市内の日本語教室について、市にどのような施策を期待しますか。

【あてはまるものすべてに○】

市に期待する施策について、「日本語指導教材の配布」が 14 件となっています。ついで、「日本語教室への経済的支援」と「日本語ボランティアスタッフの養成や研修の充実」が 13 件となっています。

【全体 図】



問19-1 問19で8.9.に○をされた方へ 日本語教育コーディネーターに期待することは何ですか。【自由記述】

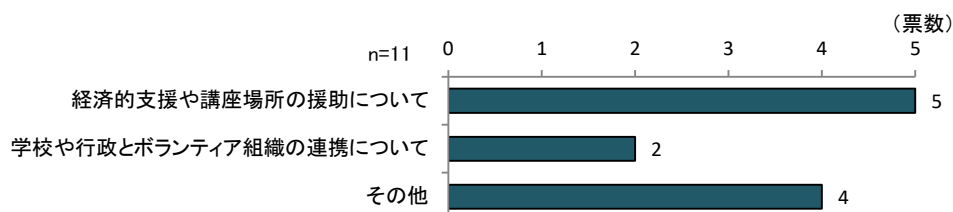
日本語教育コーディネーターに期待することについて、下記の通りとなっています。

日本語教育コーディネーターに期待すること
教え方がわからないボランティア（団体）のために、講師を派遣するなど。
他教室や企業に対する橋渡しの役割と地域住民との接点（例えばイベント等）を開催して住民の理解を深める様に。
他教室のやり方或いは成功した事例紹介など。継続的なモチベーション。
日本語教育のコーディネーターは中立で平等であって欲しい。人の心が読める方を希望します。
もし、コーディネーターが配置されるなら…外国人児童の学習支援の場を作ったり、学校とも連絡をとって休みの日や夏休みなどの居場所づくりをしったりしてほしい。実習生の日本語支援の場をつくる。

問20 広島市における日本語教育推進計画の策定に期待することがあればお書きください。【自由記述】

日本語を教えていて困っていることについて、意見を分類し、票数を下図にまとめたところ「経済的支援や講座場所の援助について」に分類されるものが5件と最も高くなっています。ついで、「学校や行政とボランティア組織の連携について」が2件となっています。

【全体 図】



◇経済的支援や講座場所の援助について

意見
コピー代や教本代など、経済的支援をしてほしい。実際の活動の場に見学に来て、現場でのボランティアの意見をきいてほしい。
教室の開設場所の援助を継続して欲しい。
経済的支援、公民館でのコピー代無料。
日本語教室に対して補助金。
ボランティアではあるが、コピー代、交通費などの支援があれば助かる。ほとんどのボランティアが試行錯誤しながら教えている。全員をある程度以上のレベルに押し上げる研修を望む。全くの素人からやっているの、常に壁にぶちあたる。プロが教えている現場を見学させてもらえる研修があったら大いに参考になるので実施してほしい。

◇学校や行政とボランティア組織の連携について

意見
地域における日本語教育の主体は今のところボランティア組織が主体であるのが実態と考えます。行政とボランティア組織の適切な連携を期待します。
学校と連携をとって外国人児童生徒、そして学校に来ていない学齢期の外国人の子供の学習支援や、居場所づくりに目をむけてほしい。広島市在住外国人のよりどころ、居場所になるところをつくってほしい。

◇その他

意見
無償でボランティア教室に頼りすぎない環境作り、制度作り。
子ども（児童・生徒）には、日本語教育を学習支援を手厚くしてほしい。各小学校に決まったプログラムを確保していただきたい。
日本語教育は急務です。ボランティア指導者の育成（研修、定期的なフォローアップ）、指導教材（特に初級者向け）拡充を期待します。
日本語ボランティアは、市民活動として認めて頂きたい。文法や試験に比重が片寄ると本来の市民活動からかけ離れるのではないかと心配しています。

2章 ヒアリング調査

I 調査概要

1 調査目的

本市における日本語教育に係る実態調査を行い実態や課題等を把握し、今後の対応方針を明確化して、本市としての日本語教育に係る具体的な計画を策定することを目的とします。

2 調査対象者

- ①企業ヒアリング調査：外国人を雇用している広島市内企業
- ②日本語教室ヒアリング調査：広島市内で実施している日本語教室に通っている外国人市民

3 調査期間

- ①企業ヒアリング調査：令和元年 11 月 22 日（金）～令和元年 12 月 3 日（火）
- ②日本語教室ヒアリング調査：令和元年 11 月 16 日（土）～令和元年 12 月 14 日（土）

4 調査方法

- ①企業ヒアリング調査：個別面接法
- ②日本語教室ヒアリング調査：個別面接法及び集団面接法

5 回答状況

調査区分	対象企業/教室	参加者数(外国人市民)
企業ヒアリング調査	10 社	-
日本語教室ヒアリング調査	8 教室	36 人

Ⅱ 企業ヒアリング調査

1. 実施概要

①調査対象の分類

アンケート調査結果の外国人就業者数及び日本語学習の実施状況から、調査対象の企業を4つに分類を行い、A、B、C、Dから10社を抽出しました。

分類	内容	ヒアリング件数
A	外国人就業者が多く（5人以上）、日本語学習を実施している企業	3件
B	外国人就業者が多いが（5人以上）、日本語学習を実施していない企業	2件
C	外国人就業者が少ないが（5人未満）、日本語学習を実施している企業	1件
D	外国人就業者が少なく（5人未満）、日本語学習を実施していない企業	4件

②実施状況

ヒアリング実施日・時間	分類	業種	就労している 外国人の同席
11月22日13:00～	A	製造業	
11月22日14:15～	A	ビルメンテナンス等	
11月22日16:00～	B	店舗販売	○
11月28日11:00～	B	施設管理、清掃	
11月28日13:00～	C	工場内設備メンテナンス等	○
11月29日10:00～	D	Webサービス	○
11月29日14:00～	D	飲食店	
12月3日13:15～	A	農業	
12月3日15:00～	D	製造業	○
12月4日13:15～	D	ソフトウェア受託開発・ 医療機器製造販売	
FAXでの回答	A	製造業	-
	B	宿泊業	-

Ⅲ 日本語教室ヒアリング調査

1. 実施概要

番号	ヒアリング実施日・時間	参加者数	参加者の主な国籍
1	11月16日11:00～	4人	ベトナム インド
2	11月20日10:30～	1人	中国
3	12月1日11:00～	4人	中国 ベトナム
4	12月6日12:30～	10人	中国 韓国 ニュージーランド
5	12月7日10:00～	10人	ベトナム インドネシア
6	12月11日13:30～	1人	中国
7	12月14日11:00～	6人	韓国 ベトナム インド
－	12月7日15:00～	－	ボランティアスタッフ

参考資料

1. 外国人市民

JPN

あなた自身のことについて

問1 あなたの性別は次のどれですか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 答えたくない |
|------|------|-----------|

問2 あなたの年代は次のどれですか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. ～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70歳～ | |

問3 あなたの出身は次のどれですか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

- | | | | |
|---------|-------------|------------|---------|
| 1. 中国 | 2. 韓国・朝鮮 | 3. フィリピン | 4. ブラジル |
| 5. ベトナム | 6. 米国（アメリカ） | 7. ペルー | 8. タイ |
| 9. ネパール | 10. 台湾 | 11. その他（ ） | |

問4 あなたの在留資格は次のどれですか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 特別永住者 | 2. 永住者 | 3. 留学 |
| 4. 技能実習 | 5. 定住者 | 6. 日本人の配偶者等 |
| 7. 家族滞在 | 8. 人文知識・国際業務 | 9. 技術 |
| 10. 技能 | 11. 特定活動 | 12. 永住者の配偶者等 |
| 13. その他（ ） | | |

問5 あなたはどのくらい日本で生活していますか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

- | | | |
|--------------|-----------------|----------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上～12か月未満 | 3. 1年以上～3年未満 |
| 4. 3年以上～5年未満 | 5. 5年以上～10年未満 | 6. 10年以上～15年未満 |
| 7. 15年以上 | | |

問6 あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

- | | | |
|--------------|-----------------|--------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上～12か月未満 | 3. 1年以上～3年未満 |
| 4. 3年以上～5年未満 | 5. 5年以上 | 6. 住み続ける |
| 7. まだ決めていない | | |

問7 仕事をしていますか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

- | |
|-------------------|
| 1. している |
| 2. していない（今、探している） |
| 3. していない（探していない） |

日本語学習について

問8 あなたは日本語を学んだことがありますか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

1. ある
2. ない

問9 あなたは、今、日本語を学んでいますか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

1. 学んでいる
2. 学んでいない

問10・11 へ

問12 へ

問10～11は、問9で「1. 学んでいる」を選んだ人（現在、日本語を学んでいる人）にお聞きします。

問10 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 独学で（教科書やテレビ等） | 2. 独学で（インターネットやアプリ等） |
| 3. 通信教育で | 4. 無料の日本語教室で |
| 5. 有料の日本語教室で | 6. 家族から学んでいる |
| 7. 職場で学んでいる | 8. 友達（日本人）から学んでいる |
| 9. 友達（日本人以外）から学んでいる | 10. 周りの会話を聞いて覚えている |
| 11. その他（ ） | |

問11 あなたは何のために日本語を学んでいますか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 日本で生活していくために必要だから | 2. 日本人との付き合いを広げるため |
| 3. 仕事で必要だから | 4. より良い条件の仕事を探するため |
| 5. 進学や勉強のため | 6. その他（ ） |

問11を回答した人は問15にお進みください。

問12～14は、問9で「2. 学んでいない」を選んだ人（現在、日本語を学んでいない人）にお聞きします。

問12 日本語を学びたいですか。【あてはまる数字1つに○をつけてください】

1. 日本語を学びたい
2. 日本語を学びたいとは思わない

問12-1 へ

問13・14 へ

問12で「1. 日本語を学びたい」を選んだ人にお聞きします。

問12-1 学びたい日本語は次の①～⑫のどの内容ですか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

- ・ 日常生活（買い物や近所付き合いなどでの日常会話）で使うための日本語
〔 ① 聞く ② 話す ③ 読む ④ 書く 〕を学びたい
- ・ 仕事で使うための日本語〔 ⑤ 聞く ⑥ 話す ⑦ 読む ⑧ 書く 〕を学びたい
- ・ 日本語検定試験などに受かるための日本語〔 ⑨ 聞く ⑩ 話す ⑪ 読む ⑫ 書く 〕を学びたい

問13・14 へ

問13 現在、日本語を学んでいないのはなぜですか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

1. もう十分に日本語ができるから
2. 日本語を使う必要がないから（日本語以外の言語で十分生活ができるから）
3. 育児や介護のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから
4. 仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから
5. 日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから
6. 日本語教室の情報がないから
7. 日本語教室の時間が合わないから
8. 日本語教室が遠くて通うことができないから
9. 日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから
10. どうやって勉強したらいいかわからないから
11. 学ぶ意欲が湧かないから

問14 どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

1. 時間的な余裕があれば学びたい
2. 金銭的な余裕があれば学びたい
3. 無料の日本語教室があれば学びたい
4. 日本語教室と時間が合えば学びたい
5. 日本語教室が近くにあれば学びたい
6. 自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい
7. 良い教科書があれば学びたい
8. 日本語学習用のテレビ番組があれば学びたい
9. 日本語学習用のインターネットのページやアプリのプログラムがあれば学びたい
10. 日本語学習用の通信教育のプログラムがあれば学びたい

日本語の使用状況について

みなさんにお聞きします。

問15 あなたが、今、日本語を使っている場面を次から選んでください。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 近所付き合いで | 2. 電車やバスに乗るとき |
| 3. 日常生活や買い物で | 4. 役所の手続きで |
| 5. 郵便局・銀行の手続きで | 6. 仕事を探するとき |
| 7. 仕事で | 8. 病気になったとき |
| 9. 学校の先生と話すとき | 10. その他（ ） |

問16 あなたが日本語を使いたい場面を次から選んでください。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 近所付き合いで | 2. 電車やバスに乗るとき |
| 3. 日常生活や買い物で | 4. 役所の手続きで |
| 5. 郵便局・銀行の手続きで | 6. 仕事を探するとき |
| 7. 仕事で | 8. 病気になったとき |
| 9. 学校の先生と話すとき | 10. その他（ ） |

問17 次のようなとき、あなたは日本語が使えなくて、困ったことがありますか。
最近1年間に困った経験があるものを選んでください。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 近所付き合いで | 2. 電車やバスに乗るとき |
| 3. 日常生活や買い物で | 4. 役所の手続で |
| 5. 郵便局・銀行の手続で | 6. 仕事を探すとき |
| 7. 仕事で | 8. 病気になったとき |
| 9. 学校の先生と話するとき | 10. その他（ ） |
| 11. 困ったことはない | |

問18 あなたは日本語が使えなくて困ったとき、どうしていますか。【あてはまる数字すべてに○をつけてください】

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 友人・知人に聞く | 2. 学校・協会に聞く |
| 3. 子どもや家族に聞く | 4. SNS (Facebook, WeChat, LINE など) で聞く |
| 5. インターネットで調べる | 6. 外国人相談窓口聞く |
| 7. 分からないままにする(何もしない) | 8. その他（ ） |
| 9. これまで困ったことがない | |

問19 あなたは日本語がどのくらいできますか。

- [聞く] 【あてはまる数字1つに○をつけてください】
1. テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる
 2. 相手の言うことを聞いて、大体理解できる
 3. 相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる
 4. 単語だけ聞き取れる
 5. ほとんど聞き取れない
- [話す] 【あてはまる数字1つに○をつけてください】
1. 自分の言いたいことが問題なく話せる
 2. 自分の言いたいことが大体話せる
 3. 簡単な日常会話ができる
 4. 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる
 5. ほとんど話せない
- [読む] 【あてはまる数字1つに○をつけてください】
1. 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる
 2. 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる
 3. 新聞や雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる
 4. 絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる
 5. ほとんど読めない
- [書く] 【あてはまる数字1つに○をつけてください】
1. 仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる
 2. 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる
 3. 職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる
 4. 名前や国名、住所などが書ける
 5. ほとんど書けない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2. 企業

御社の外国人就業者について

問1 御社で働く外国人就業者の国籍とその人数をお聞かせください。

※正社員の他、技能実習生、研修なども含めてください。

就業者の国籍別人数 ※2019年9月1日時点 【数字を記入】	中国	(	人)	韓国	(	人)
	朝鮮	(	人)	ベトナム	(	人)
	フィリピン	(	人)	ブラジル	(	人)
	アメリカ	(	人)	タイ	(	人)
	インド	(	人)	インドネシア	(	人)
	ネパール	(	人)	ペルー	(	人)
	台湾	(	人)	イギリス	(	人)
	その他	(	人)	不明	(	人)

問2 外国人就業者の在留資格とその人数をお聞かせください。

就業者の在留資格別人数 ※2019年9月1日時点 【数字を記入】	永住者	(	人)
	特別永住者	(	人)
	日本人の配偶者	(	人)
	永住者の配偶者	(	人)
	定住者	(	人)
	技能実習	(	人)
	外国籍だったが現在は日本国籍	(	人)
	その他	(	人)

仕事での日本語及び就業者の日本語能力について

問3 採用時に外国人就業者が働く上での日本語能力について、どのようなことを重要視しますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 挨拶等の基本的な日本語	2. 日本人とのコミュニケーションを取るための日常会話
3. 日本語を聞いて理解する能力	4. 日本語を読む能力
5. 日本語を書く能力	6. 仕事に必要な専門用語等の日本語
7. 敬語等のビジネスマナーに関する日本語	8. 日本語能力試験の認定レベル
9. 日本語能力は問わない	10. その他()

問4 御社の外国人就業者の中に、日本語学習が必要な就業者がいますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 日常会話での日本語学習が必要な就業者がいる	2. 仕事での日本語学習が必要な就業者がいる
3. いない	4. その他()

問 11 御社で日本語教室等を実施した際に苦労したことや問題になったこと、課題等があればお聞かせください。

--

問12 今後、御社で日本語教室等を実施していく予定ですか。実施する理由や実施しない理由、過去に実施していた場合はやめた理由などもお聞かせください。【○は1つ】

1. 実施していく予定
2. 検討中
3. 実施する予定はない
その理由：

問 13 御社で日本語教室を実施している（していた）場合、またはすると仮定した場合、どの日本語能力を重視しますか。優先順位（1～8）を書いてください。【数字を記入】

日常会話での	聞く (位)	話す (位)	読む (位)	書く (位)
仕事での	聞く (位)	話す (位)	読む (位)	書く (位)

問 14 御社で日本語教室を実施している（していた）場合、またはすると仮定した場合、日本語教師の派遣について、どう思われますか。【○は1つ】

1. 無料なら希望する 2. 有料でも希望する（1回_____円まで）
3. 派遣の希望はない 4. その他（_____）

問 15 地域の日本語教室への資金などの援助について、どう思われますか。【〇は1つ】

1. 寄付や協賛などで資金援助してもよい 3. 資金援助できない 5. その他（	2. 自社の外国人社員が通う日本語教室であれば、寄付や協賛などで資金援助してもよい 4. 会社ではなく行政などが負担するべき
--	---

問 16 他の団体（県、市、ひろしま国際センター・広島平和文化センター、日本語教育機関、日本語教室等）との連携や交流をしている取組等があればお聞かせください。

--

問 17 日本語教育において、他の団体（県、市、ひろしま国際センター・広島平和文化センター、日本語教育機関、日本語教室等）の情報があれば、積極的に活用し、連携や交流をしたいと思われ
ますか。また、その理由をお聞かせください。【○は1つ】

1. はい
2. いいえ
その理由：

問 18 企業は日本語教育に対してどのような役割を果たすべきだと思われますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 社内の日本語教室等の実施	2. 外国人就業者と日本語教室・学校との架け橋
3. 外国人就業者への日本語学習の奨励	4. 外国人就業者への日本語学習に関する情報提供
5. 地域の日本語教室や、外国人を支援する 団体への寄付	6. その他（ ）

広島市に期待することや市の日本語教育推進計画への期待について

問 19 今後、広島市内の日本語教育について、市にどのような施策を期待しますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 日本語教室の新規開設を進める	2. 日本語教室の運営や講座内容を充実さ せるための支援
3. 日本語教室への経済的支援	4. 日本語指導スタッフの養成や研修の充実
5. 日本語指導教材の配布	6. 日本語教室の広報・PR
7. 日本語教室の活動内容の紹介・情報提供	8. 他団体等との連携の橋渡し（コーディネート）
9. 日本語教育や日本語教室の専任者の配置	10. 日本語教育推進のための協議会などの設置
11. 外国人を雇用している企業との連携を強める	12. その他（ ）
13. 特になし	

問 20 広島市における日本語教育推進計画の策定に期待することがあればお書きください。

--

アンケートはこれで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

3. 日本語学校

貴機関（日本語学校）の概要について

問1 貴機関の概要についてお答えください。

(1) 設立時期 【数字を記入】	西暦（ ）年（ ）月						
(2) 講座の対象者 【多い順に順位を記入】	() 留学生 () 定住者 () 永住者 () 短期滞在者 () 技能実習生 () その他〔 〕						
(3) 学習者の男女別人数 【全講座合計】 ※2019年9月1日時点 【数字を記入】	男性	女性	計				
	人	人	人				
(4) 学習者の国籍別・年齢別人数【全講座合計】 ※2019年9月1日時点【数字を記入】							
国籍	合計	16歳未満	16～19歳	20～39歳	40～59歳	60歳以上	不明
中国							
韓国							
朝鮮							
ベトナム							
フィリピン							
ブラジル							
アメリカ							
タイ							
インド							
インドネシア							
ネパール							
ペルー							
台湾							
イギリス							
その他							
不明							
合計							

問2 学習者の募集方法を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

1. 教室のホームページやブログ、facebook などのインターネット媒体
2. テレビやラジオ、新聞・雑誌広告などのメディアを利用
3. 外国人が見ると思われるホームページに情報を提供
4. チラシ配布（配布場所： ）
5. 学習者からの紹介や口コミ
6. 日本留学フェアなどのイベント
7. 提携している機関・団体からの紹介（海外を含む）
8. その他（ ）

問3 貴機関が掲げる日本語教育の目的（理念・方針）について教えてください。

--

問4 貴機関の特色（強み）を教えてください。

--

問5 貴機関では、現在の「外国人への日本語教育（特に成人向け）」にはどのような課題があると認識されていますか。

--

問6 日本語教育機関（大学、日本語学校等）が地域の日本語教育において果たす役割にはどのようなものがあるとお考えですか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 外国人が確実に日本語能力を身につけることができる場 | 2. 外国人が日常生活に必要な日本語を身につける場 |
| 3. 外国人と地域社会との接点となる場 | 4. 外国人の情報交換の場 |
| 5. 外国人が日本の文化を理解する場 | 6. 外国人にとっての問題解決の場 |
| 7. 地域の日本語教育における役割を担う必要はない | 8. その他（ ） |

実施体制と日本語教師のスキルアップ等について

問7 貴機関で活動されている日本語教師、運営・事務スタッフの人数を教えてください。

※2019年9月1日時点【数字を記入】

国籍	合計	無償 無資格者	無償 有資格者	有償 無資格者	有償 有資格者
日本語教師（日本人）					
日本語教師（外国人）					
運営・事務局スタッフ					
合計					

※「有資格者」とは、

1. 大学で日本語教育を主専攻または副専攻して修了した人
2. 日本語教育能力検定試験に合格した人
3. 日本語教師養成講座 420 時間を修了した人

問 8 日本語教師のスキルアップのために、貴機関として行っていることがあれば教えてください。

問 9 日本語教師に求める能力や姿勢などについて教えてください。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 日本語教師の資格 | 2. 日本語の教授能力 |
| 3. 日本語を教えた経験の豊富さ | 4. 日本語に関する専門的な知識 |
| 5. 外国人や多文化共生についての知識 | 6. 日本語以外の語学力 |
| 7. 外国人と信頼関係を築ける姿勢 | 8. 熱心さ |
| 9. その他（ | ） |

他団体との連携や今後について

問 10 日本語教育に関して、他の団体（県、市、企業、大学、NPO、日本語教室等）との連携や交流を行っていますか。【○は1つ】

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 行っている
（連携を行っている団体：
交流内容： | ） |
| 2. 行っていない
（その理由： | ） |

問 11 今後、地域の日本語教室等、他団体から連携や交流、もしくは何らかの協力の依頼があった場合、応じることは可能ですか。【○は1つ】

- | |
|----------|
| 1. 可能 |
| 2. 不可能 |
| 3. わからない |

広島市に期待することや市の日本語教育推進計画への期待について

問 12 今後、広島市内の日本語教育について、市にどのような施策を期待しますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 日本語教室・教育機関の新規開設の促進
2. 日本語教室・教育機関の運営や講座内容を充実させるための支援
3. 日本語教室・教育機関への経済的支援
4. 日本語講師の養成や研修の充実
5. 日本語指導教材の開発・配布
6. 日本語教室・教育機関の広報・PR
7. 日本語教室・教育機関の活動内容の紹介・情報提供
8. 他団体等との連携の橋渡し（コーディネート） → 問 12-1 へ
9. 専門の「日本語教育コーディネーター」の配置 → 問 12-1 へ
10. 日本語教育推進のための協議会などの設置
11. 外国人を雇用している企業の協力を求める
12. その他（
13. 特にない

問 12-1 問 12 で 8. 9. に○をされた方へ 日本語教育コーディネーターに期待することは何ですか。

問 13 広島市における日本語教育推進計画の策定に期待することがあればお書きください。

アンケートはこれで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

4. 日本語教師養成機関

貴機関の日本語教師養成講座概要について

問1 貴機関の日本語教師養成講座概要についてお答えください。

(1) 講座開設時期 【数字を記入】	西暦（ ）年（ ）月
(2) 講座の内容 (授業科目数、授業時間、 代表的な授業名、教員数等)	
(3) 受講者の年齢別人数 【全講座合計】	～19 歳 (人) 20～39 歳 (人) ※2019 年 9 月 1 日時点 40～59 歳 (人) 60 歳～ (人)

問2 受講者の募集方法を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

1. ホームページやブログ、facebook などのインターネット媒体
2. テレビやラジオ、新聞、雑誌広告などメディアを利用
3. 外国人が見ると思われるホームページに情報を提供
4. チラシ配布（配布場所： ）
5. 学習者からの紹介や口コミ
6. その他（ ）

貴機関の日本語教師養成講座目的等について

問3 貴機関が掲げる日本語教師養成の目的（理念・方針）について教えてください。

問4 貴機関が養成しようとしている日本語教師とはどのような教師ですか。

問5 日本語教師養成機関が地域の日本語教育において果たす役割とはどのようなものだと思いますか。

他団体との連携や今後について

問6 日本語教育に関して、他の団体（県、ひろしま国際センター・広島平和文化センター、企業、大学、NPO、日本語教室等）との連携や交流を行っていますか。【○は1つ】

1. 行っている

（連携を行っている団体：

交流内容：

）

2. 行っていない

（その理由：

）

広島市に期待することや市の日本語教育推進計画への期待について

問7 今後、広島市内の日本語教育について、市にどのような施策を期待しますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 日本語教室・教育機関の新規開設の促進

2. 日本語教室・教育機関の運営や講座のための支援

3. 日本語教室・教育機関への経済的支援

4. 日本語講師の養成や研修の充実

5. 日本語指導教材の開発・配布

6. 日本語教室・教育機関の広報・PR

7. 日本語教室・教育機関の活動内容の紹介・情報提供

8. 他団体等との連携の橋渡し（コーディネート） → 問7-1へ

9. 専門の「日本語教育コーディネーター」の配置 → 問7-1へ

10. 日本語教育推進のための協議会などの設置

11. 外国人を雇用している企業の協力を求める

12. その他（

）

13. 特になし

問7-1 問7で8、9に○をされた方へ 日本語教育コーディネーターに期待することは何ですか。

問8 広島市における日本語教育推進計画の策定に期待することがあればお書きください。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

5. 日本語教室

教室の概要について

問1 教室の概要についてお答えください。

(1) 教室の設立時期 【数字を記入】	西暦（ ）年（ ）月						
(2) 主催団体名							
(3) 学習者の男女別人数 ※2019年9月1日時点 【数字を記入】	男性	女性	計				
	人	人	人				
(4) 学習者の国籍別・年齢別人数 ※2019年9月1日時点【数字を記入】							
国籍	合計	16歳未満	16～19歳	20～39歳	40～59歳	60歳以上	不明
中国							
韓国							
朝鮮							
ベトナム							
フィリピン							
ブラジル							
アメリカ							
タイ							
インド							
インドネシア							
ネパール							
ペルー							
台湾							
イギリス							
その他							
不明							
合計							

問2 学習者の募集方法を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

1. 教室のホームページやブログ、facebook などのインターネット媒体 2. 自治体の広報やホームページ 3. 外国人が行くと思われるスーパーやお店にチラシを設置 4. 外国人が見るとと思われるホームページに情報を提供 5. チラシ配布（配布場所： 6. 学習者からの紹介や口コミ 7. その他（	))
---	--------------------------------

問3 貴日本語教室の実施日時についてお答えください。

教室実施日時 【曜日や日にちを記入】	
時間帯【数字を記入】	(:) ~ (:)

貴日本語教室について

問4 貴日本語教室が掲げる目的（理念・方針）について教えてください。

問5 貴日本語教室に求められている役割とはどのようなものだと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 外国人が身近に日本語を学べる場 | 2. 外国人と地域社会との接点となる場 |
| 3. 外国人同士の情報交換の場 | 4. 外国人と日本人の情報交換の場 |
| 5. 外国人が日本の文化を理解する場 | 6. 外国人が情報を入手する場 |
| 7. 外国人にとっての問題解決の場 | 8. 外国人の居場所の提供 |
| 9. 日本語教室のボランティアなどが活躍する場、経験を積む場 | 10. その他（ ） |

活動内容と学習者の日本語の上達度合いの判断について

問6 教室の活動内容を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 日本語の日常会話中心 | 2. 日本語の読み書き中心（文字、文章、作文） |
| 3. 日本語の文法中心 | 4. 日本語能力試験対策（N1・N2・N3・N4・N5） |
| 5. 生活に必要な日本語 | 6. ビジネスマナーや就職に必要な日本語 |
| 7. 日本人と外国人の交流や多文化共生 | 8. 日本の文化を教える |
| 9. その他（ ） | |

問7 日々の学習において、学習者の日本語の上達度合いをどのように判断していますか。【○は1つ】

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 上達の度合いは重視せず、判断していない
→ 問9へ | 2. 上達の度合いの判断が難しいため、判
断していない → 問9へ |
| 3. 日々の指導を通じて判断している | 4. テスト等を実施して判断している |
| 5. 日本語能力試験の受験を勧めて、可否で判
断している | 6. その他（ ） |

問8 上達の度合いを判断した後、どのような対応をしていますか。

問9 教室には、修了（卒業）の基準がありますか。【○は1つ】

1. ない。学習者が希望する限り、期間を定めず受講できる
2. 受講期間を定めている
3. 一定の修了基準に基づいて、卒業としている
4. その他（

貴日本語教室の実施体制と日本語ボランティアスタッフのスキルアップ等について

問 10 貴日本語教室で活動されている日本語ボランティアスタッフの人数を教えてください。

※2019年9月1日時点【数字を記入】

	19 歳以下	20～39 歳	40～59 歳	60 歳以上	不明	合計
男性	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人

問 11 日本語ボランティアスタッフのスキルアップのために、教室として行っていることがあれば教えてください。

--

問 12 日本語ボランティアスタッフのスキルアップのためにあると望ましいと思うものはありますか。 【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1. 日本語ボランティアスタッフ研修用の教材、マニュアル
〔 貸出し ・ 配布 ・ 新規作成 〕 | |
| 2. 行政又はひろしま国際センター・広島平和文化センター主催の研修 | 3. 他団体等（他日本語教室、大学、日本語学校、専門家等）からの支援・協力 |
| 4. 他団体等（他日本語教室、大学、日本語学校、専門家等）との連携 | 5. その他（ ） |

問 13 日本語ボランティアスタッフに求める能力や姿勢などについて教えてください。

【あてはまるものすべてに○】

1. 日本語教師の資格 2. 日本語を教えた経験の豊富さ 3. 外国人や多文化共生についての知識
4. 日本語以外の語学力 5. 外国人と信頼関係を築ける 6. 熱心さ
7. その他（ ） 8. 特にない

問 14 日本語を教えていて困っていることがあればお書きください。

問 15 運営費をどのように調達していますか。

調達方法		回収回数 【数字を記入】	金額 【数字を記入】
あてはまるものすべてに○	1. 学習者からの授業料の徴収	回/月	円
	2. 学習者からの教材費の徴収	回/月	円
	3. 日本人スタッフが運営費を負担している	回/月	円
	4. 助成金	回/年	円
	5. 企業などからの寄付	回/年	円
	6. その他（ ）	回/年	円

問 16 教室の運営で、困っていることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 運営費用が確保できない	2. 教室の場所の確保が難しい
3. 日本語ボランティアスタッフが不足している	4. 日本語ボランティアスタッフが長続きしない
5. 教材が不足している	6. 学習者が長続きしない
7. 学習者が増えない・募集方法が分からない	8. 学習者の日本語レベルが違いすぎる
9. その他（ ）	10. 特に困ることはない

他団体との連携や今後について

問 17 他の団体や日本語教室との連携や交流を行っていますか。【○は1つ】

1. 行っている (連携を行っている団体: 交流内容:)
2. 行っていない (その理由:)

問 18 今後、教室をどのようにしていきたいとお考えですか。【あてはまるものすべてに○】

1. このままの教室を維持したい	2. 学習者数を増やしたい
3. 学習者の日本語能力をアップさせたい	4. 日本語ボランティアスタッフ数を増やしたい
5. 日本語ボランティアスタッフのレベルアップを図りたい	6. 講座内容を充実したい
7. 教室の会場や施設を確保したい	8. 連携・交流先を増やしたい
9. 地域との交流を図りたい	10. その他（ ）

広島市に期待することや市の日本語教育推進計画への期待について

問 19 今後、広島市内の日本語教室について、市にどのような施策を期待しますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 日本語教室の新規開設を進める
2. 日本語教室の運営や講座内容を充実させるための支援
3. 日本語教室への経済的支援
4. 日本語ボランティアスタッフの養成や研修の充実
5. 日本語指導教材の配布
6. 教室の広報・PR
7. 他日本語教室の活動内容の紹介・情報提供
8. 他団体等との連携の橋渡し（コーディネート） → 問 19-1 へ
9. 日本語教育のコーディネーターの配置 → 問 19-1 へ
10. 日本語教育推進のための協議会などの設置
11. 外国人を雇用している企業の協力を求める
12. その他（ ）
13. 特になし

問 19-1 問 19 で 8. 9. に○をされた方へ 日本語教育コーディネーターに期待することは何ですか。

--

問 20 広島市における日本語教育推進計画の策定に期待することがあればお書きください。

--

アンケートはこれで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

広島市日本語教育実態調査結果報告書

発行：令和2年（2020年）2月

広島市市民局人権啓発部人権啓発課

〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

電話：082-504-2165 / FAX：082-504-2609

No：広GO－2019－458